

令和7年度川崎市高齢者実態調査

報告書

～ 市民アンケート調査編 ～

令和8年3月
川崎市健康福祉局

はじめに

本市の高齢者人口は、令和6年10月現在、320,117人、高齢化率20.6%となっております。依然として全国平均の高齢化率29.3%と比較すると若い都市ではありますが、令和7年には、いわゆる『団塊の世代』がすべて75歳以上となる節目の年を迎え、本市においても後期高齢者人口が大きく増加するなど、急速に高齢化が進んでおります。今後は、令和32年頃に高齢者人口がピークを迎える見通しであり、高齢者を取り巻く環境の変化に的確に対応することが求められています。

このような中、本市では、誰もが住み慣れた地域や自ら望む場で安心して暮らし続けるための地域の支えあいの仕組みである『地域包括ケアシステム』の取組を、組織横断で推進しております。

高齢者施策においては、令和6年度から令和8年度までを計画期間とする『第9期川崎市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画』を進めており、①高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり、②介護が必要になっても『かわさき』で暮らし続けられる支えあいのまちづくり、を基本目標としています。これらを実現するため、『地域包括ケアシステムの構築に向けた5つの取組』として、いきがい・健康づくり・介護予防等の推進、地域のネットワークづくりの強化、利用者本位のサービスの提供、医療介護連携・認知症施策等の推進、高齢者の多様な居住環境の実現など、様々な施策を展開しております。

今回実施した高齢者実態調査では、介護保険の認定を受けていない一般高齢者、要介護・要支援認定者、特別養護老人ホーム入居希望者を対象とした標本調査に加え、介護保険サービス事業者を対象とした全数調査を行いました。調査の実施にあたっては、高齢者実態調査検討委員会を設置し、有識者のご意見を踏まえながら、調査方法や調査項目・内容等を検討した上で進めております。

これにより、高齢者の状態に応じたニーズや介護保険サービスの提供状況を把握することができ、今後の高齢者保健福祉施策を推進する上での現状と課題を明らかにする貴重な調査結果が得られました。

今後、令和9年度から令和11年度までを計画期間とする、「第10期川崎市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定する中で、この高齢者実態調査を基礎資料とし、関係者や市民の皆様から幅広くご意見やご要望を伺いながら、地域の活力を生かした川崎らしい、利用者本位の福祉サービスを提供できる計画づくりに取組んでまいりたいと考えております。

最後になりましたが、本調査にご協力いただきました市民の皆様、介護保険サービス事業者の皆様、そして日頃から本市の高齢者施策の推進にご理解とご協力をいただいている多くの方々に、心より感謝申し上げます。

令和8年3月

川崎市健康福祉局

目 次

第1章 調査の概要	1
I 調査実施の目的	3
II 調査の全体構成	3
III 各調査の概要	4
IV 調査結果の見方	5
V 標本誤差	6
VI 川崎市の高齢者の状況	7
第2章 一般高齢者調査	11
1 回答者の基本属性	13
2 ご自身の状況について	16
3 住まいについて	20
4 日常生活について	22
5 健康状態について	23
6 就労状況について	50
7 生きがいや交流などについて	54
8 介護保険制度について	65
9 市の高齢者施策などについて	69
10 地域での活動について	82
11 今後の暮らし方について	84
12 介護保険制度や市の高齢者保健福祉サービスについての自由意見の件数	95

第3章 要介護・要支援認定者調査	97
1 回答者の基本属性	99
2 ご自身の状況について	102
3 住まいについて	106
4 健康状態について	109
5 生きがいや交流などについて.....	122
6 介護保険制度について	128
7 介護保険サービス等について.....	136
8 市の高齢者施策などについて.....	149
9 今後の暮らし方について	153
10 介護者について	158
11 介護保険制度や市の高齢者保健福祉サービスについての自由意見の件数	171
第4章 特別養護老人ホーム入居希望者調査.....	173
1 回答者の基本属性	175
2 ご自身の状況について	178
3 特別養護老人ホームの申込みについて.....	180
4 個室利用等について	187
5 在宅生活について	191
6 主な介護者について	197
7 介護保険制度や市の高齢者保健福祉サービスについての自由意見の件数	207
資料編（調査票）	209
1 一般高齢者調査票	211
2 要介護・要支援認定者調査票.....	221
3 特別養護老人ホーム入居希望者調査票.....	231

第1章 調査の概要

I 調査実施の目的

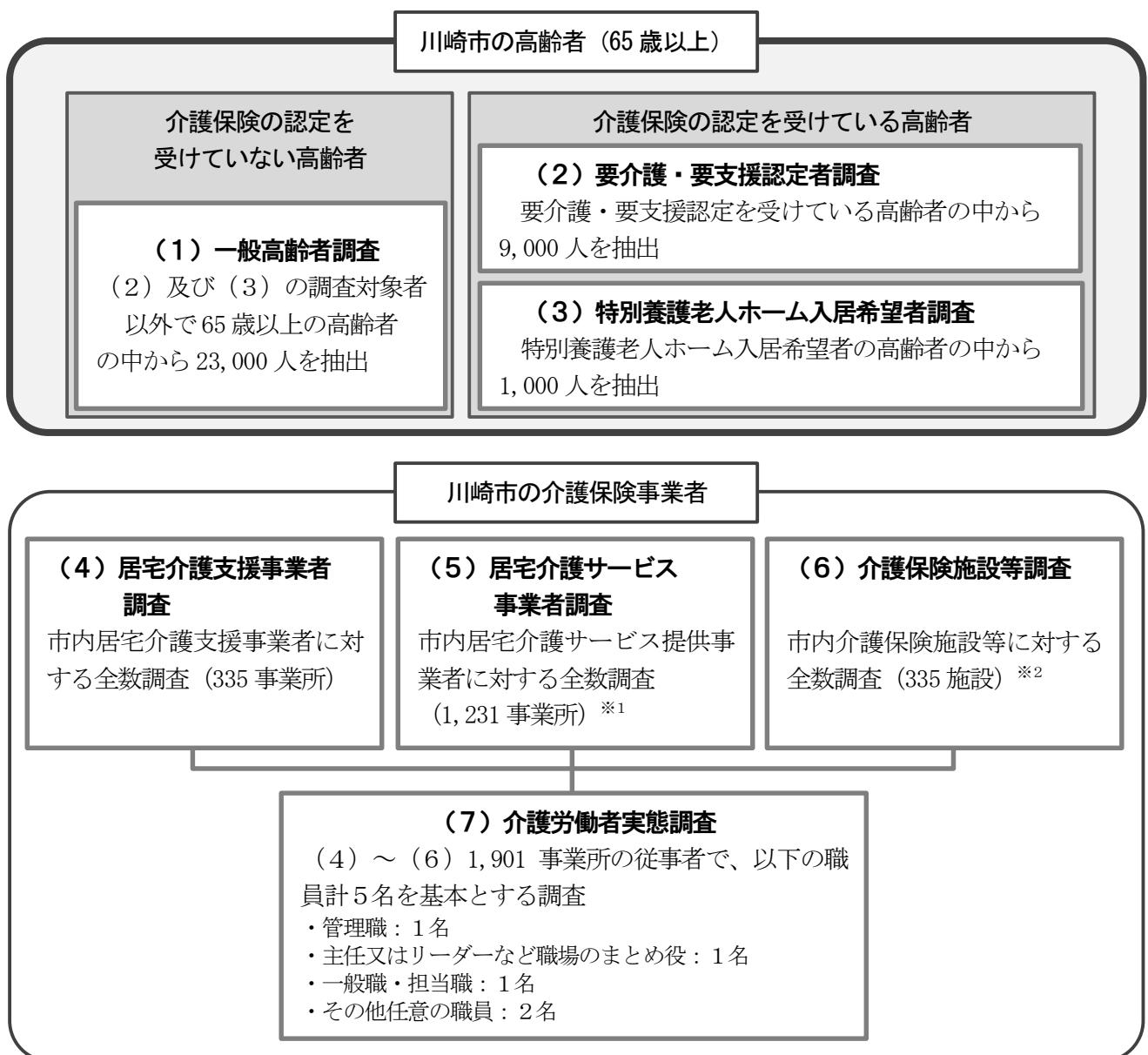
本調査は、川崎市の高齢者の生活実態及び川崎市で介護保険事業を展開する事業者とそこで就労する職員の実態等を把握し、高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の見直しに必要な基礎資料を得ることを目的として実施する。

II 調査の全体構成

本調査は、市民を対象にした「(1) 一般高齢者調査」、「(2) 要介護・要支援認定者調査」、「(3) 特別養護老人ホーム入居希望者調査」、並びに介護保険事業者を対象にした「(4) 居宅介護支援事業者調査」、「(5) 居宅介護サービス事業者調査」、「(6) 介護保険施設等調査」、及び介護保険事業者従事者を対象にした「(7) 介護労働者実態調査」から構成される。

調査の構成は、以下に示すとおりである。

なお、本報告書（市民アンケート調査編）については、市民を対象にした「(1) 一般高齢者調査」、「(2) 要介護・要支援認定者調査」、「(3) 特別養護老人ホーム入居希望者調査」について掲載する。



※1 居宅介護支援事業者、居宅療養管理指導事業者、福祉用具貸与事業者、訪問看護ステーション以外の訪問看護事業者は除く。

※2 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）、特定施設入居者生活介護を含む。

Ⅲ 各調査の概要

市民アンケート調査

	(1) 一般高齢者調査	(2) 要介護・要支援 認定者調査	(3) 特別養護老人ホーム 入居希望者調査
対 象	介護保険の要介護・要支援認定を受けていない市民及び特別養護老人ホームへの入居を希望していない市民	介護保険の要介護認定及び要支援認定を受けている市民	特別養護老人ホームへの入居を希望している市民
年齢区分	65歳～	65歳～	65歳～
標本数	23,000人	9,000人	1,000人
調査基準日	令和7年10月1日		
調査期間	令和7年10月22日～令和7年11月25日（5週間） （未回答者に対し礼状兼督促状1回送付）		
調査方法	郵送配布・郵送回収 及び WEB アンケート 併用		
配布数	23,000通	9,000通	1,000通
回答数	15,766件	5,257件	531件
郵送回答数	13,010件	4,588件	394件
WEB回答数	2,756件	669件	137件
回答率	68.5%	58.4%	53.1%

IV 調査結果の見方

- ・図表中の「n」は各設問に該当する回答者の総数であり、回答率（％）の母数をあらわしている。
- ・回答率は小数点第2位を四捨五入して掲載しているため、合計が100%にならないことがある。また、回答者が2つ以上回答することができる質問（複数回答）の場合、その回答率の合計は100%を超えることがある。
- ・複数回答の図表においては、傾向をよりわかりやすくするために、「その他」「無回答」などを除き、選択肢を回答率（％）の高いものから低いものへと並び替えて表示している場合がある。
- ・クロス集計については、分析の柱となる項目（属性）の「無回答」は掲載を省略している。ただし、「全体」は集計対象の全数を表示しているため、分析の柱となる選択肢の回答者数を合計しても必ずしも全体の数値とは一致しない。
- ・一般高齢者調査と要介護・要支援認定者調査、特別養護老人ホーム入居希望者調査については、地域ごとの分析を行うことを目的に、一定の人数を各地域から抽出して調査している。しかしながら各地域の人口比率や要支援・要介護者数の比率は異なることから、人口が多い地域の回答には、より重み（ウェイト）をつけるなど、実際の高齢者の人口比率や要支援・要介護認定者数の比率に合わせて補正を行っている（ウェイトバック集計）。
- ・クロス集計の表中、回答数が皆無又は該当数値のないものは「-」と表記しているが、グラフにおいては「0.0」と表記している。
- ・調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・「特別養護老人ホーム入居希望者」を「特養希望者」と表記している場合がある。
- ・調査結果について、次のように表記している。

例：5割の場合

「約5割」：（四捨五入して）48%～52%

「5割弱」：（四捨五入して）47%

「5割を超える」：（四捨五入して）53%～56%

「変化はなく」：（四捨五入して）±1%未満の増減

「微増・微減」：（四捨五入して）±1%～±3%未満の増減

「増加・減少」：（四捨五入して）±3%～±10%未満の増減

「大幅に増加・減少」：（四捨五入して）±10%以上の増減

V 標本誤差

(1)～(3)の調査は、対象となる母集団の中から、無作為に選ばれた一部の人(標本)について調査を行う「標本調査」である。標本調査では、標本から母集団における数値を推定する際に誤差がともなう。

調査で生じた標本誤差はおおよそ下表のとおりである。標本誤差の値は、母集団数(N)、比率算出の基数(n)、及び回答の比率(P)によって異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

回答比率(P) n(回答者数)	90%又は 10%前後	80%又は 20%前後	70%又は 30%前後	60%又は 40%前後	50%前後
15,766	± 0.47%	± 0.62%	± 0.72%	± 0.76%	± 0.78%
10,000	± 0.59%	± 0.78%	± 0.90%	± 0.96%	± 0.98%
5,257	± 0.81%	± 1.08%	± 1.24%	± 1.32%	± 1.35%
2,500	± 1.18%	± 1.57%	± 1.80%	± 1.92%	± 1.96%
1,000	± 1.86%	± 2.48%	± 2.84%	± 3.04%	± 3.10%
700	± 2.22%	± 2.96%	± 3.39%	± 3.63%	± 3.70%
531	± 2.55%	± 3.40%	± 3.90%	± 4.17%	± 4.25%
200	± 4.16%	± 5.54%	± 6.35%	± 6.79%	± 6.93%

※この表の計算式の信頼度は95%である。 $\frac{N-n}{N-1} = 1$ として算出している。

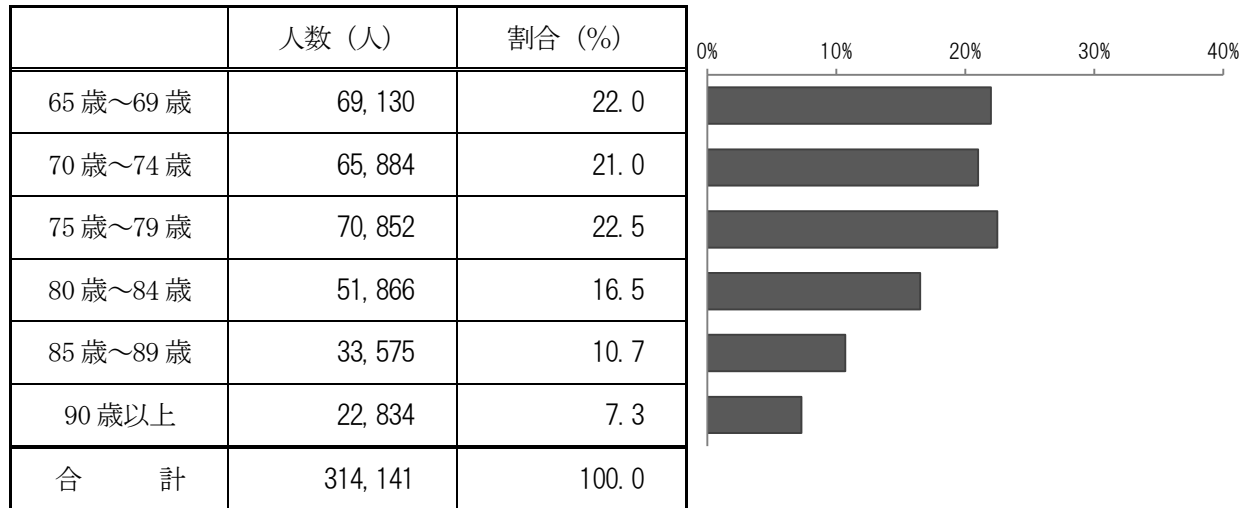
VI 川崎市の高齢者の状況

令和7年9月30日現在の高齢者人口、要介護・要支援認定者、特別養護老人ホーム入居希望者の状況は、以下のとおりである。

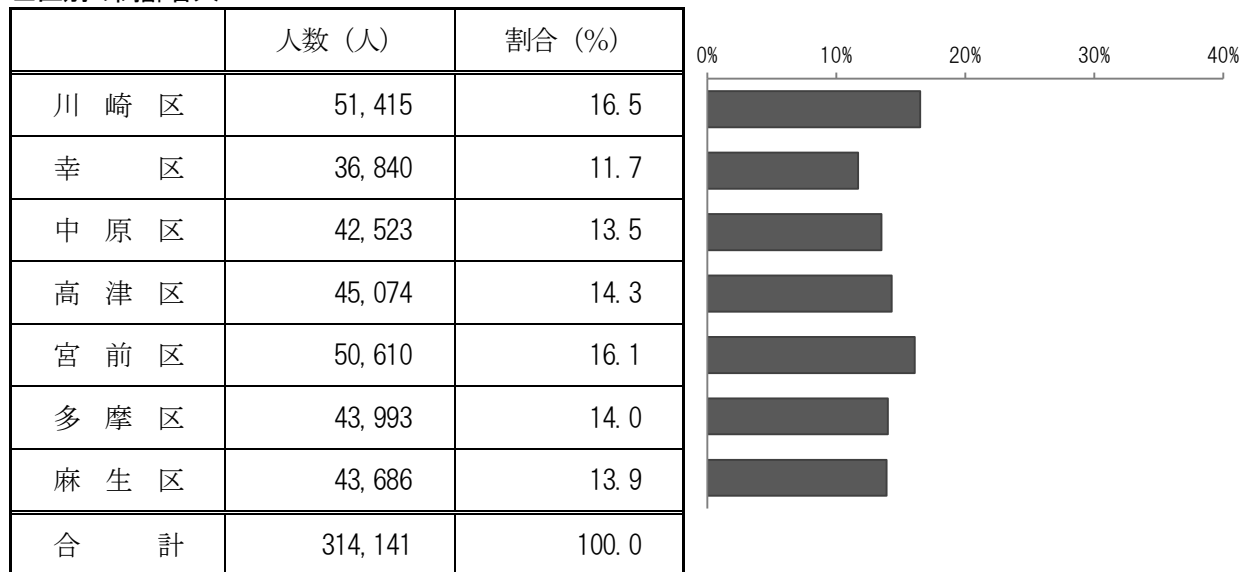
※小数点第2位を四捨五入して掲載しているため、割合の合計が100%にならないことがある。

1 高齢者人口

■年齢5歳区分別の高齢者人口



■区別の高齢者人口

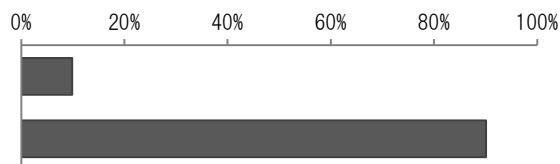


※高齢者人口については、住民基本台帳の人口（日本人・外国人住民）を集計したものである。

2 要介護・要支援認定者（第1号被保険者）

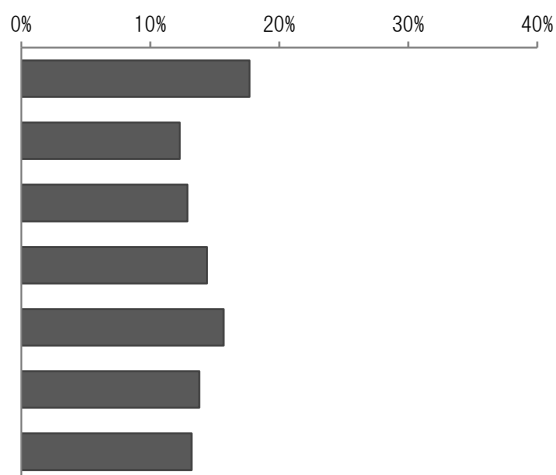
■年齢区別の要介護・要支援認定者数

	人数（人）	割合（%）
65歳～74歳	6,402	9.9
75歳以上	58,490	90.1
合計	64,892	100.0



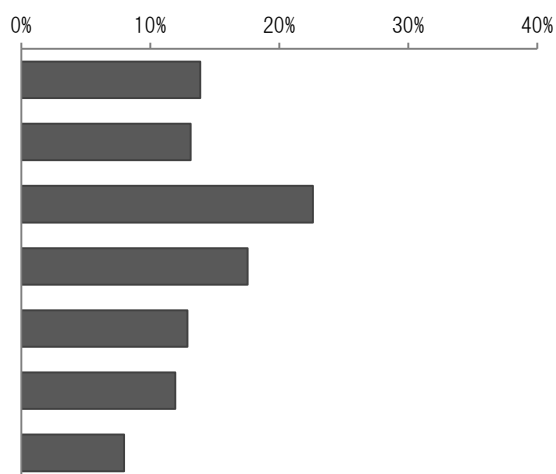
■区別の要介護・要支援認定者数

	人数（人）	割合（%）
川崎区	11,498	17.7
幸区	7,973	12.3
中原区	8,358	12.9
高津区	9,348	14.4
宮前区	10,169	15.7
多摩区	8,949	13.8
麻生区	8,597	13.2
合計	64,892	100.0



■要介護度別の認定者数

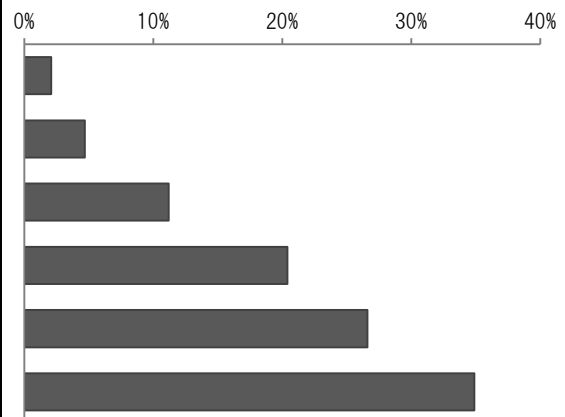
	人数（人）	割合（%）
要支援1	9,008	13.9
要支援2	8,528	13.1
要介護1	14,673	22.6
要介護2	11,395	17.6
要介護3	8,361	12.9
要介護4	7,744	11.9
要介護5	5,183	8.0
合計	64,892	100.0



3 特別養護老人ホーム入居希望者（なるべく早く入居したい）

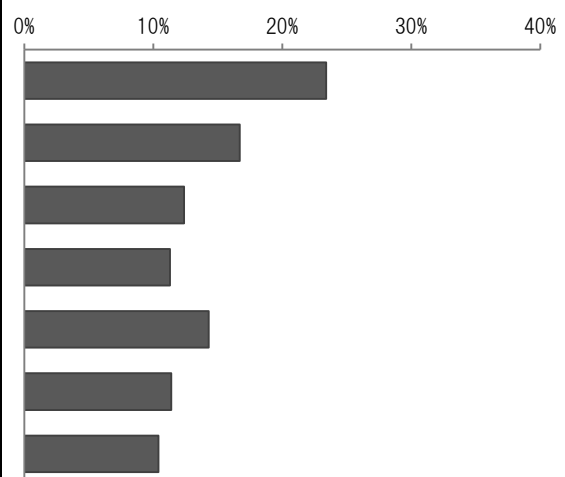
■年齢5歳区分別の入居希望者数

	人数（人）	割合（%）
65歳～69歳	44	2.1
70歳～74歳	100	4.7
75歳～79歳	236	11.2
80歳～84歳	430	20.4
85歳～89歳	561	26.6
90歳以上	735	34.9
合計	2,106	100.0



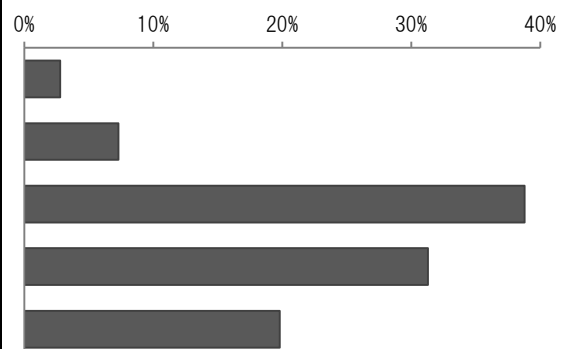
■区別の入居希望者数

	人数（人）	割合（%）
川崎区	492	23.4
幸区	352	16.7
中原区	262	12.4
高津区	239	11.3
宮前区	302	14.3
多摩区	240	11.4
麻生区	219	10.4
合計	2,106	100.0



■要介護度別の入居希望者数

	人数（人）	割合（%）
要介護1	58	2.8
要介護2	153	7.3
要介護3	818	38.8
要介護4	660	31.3
要介護5	417	19.8
合計	2,106	100.0

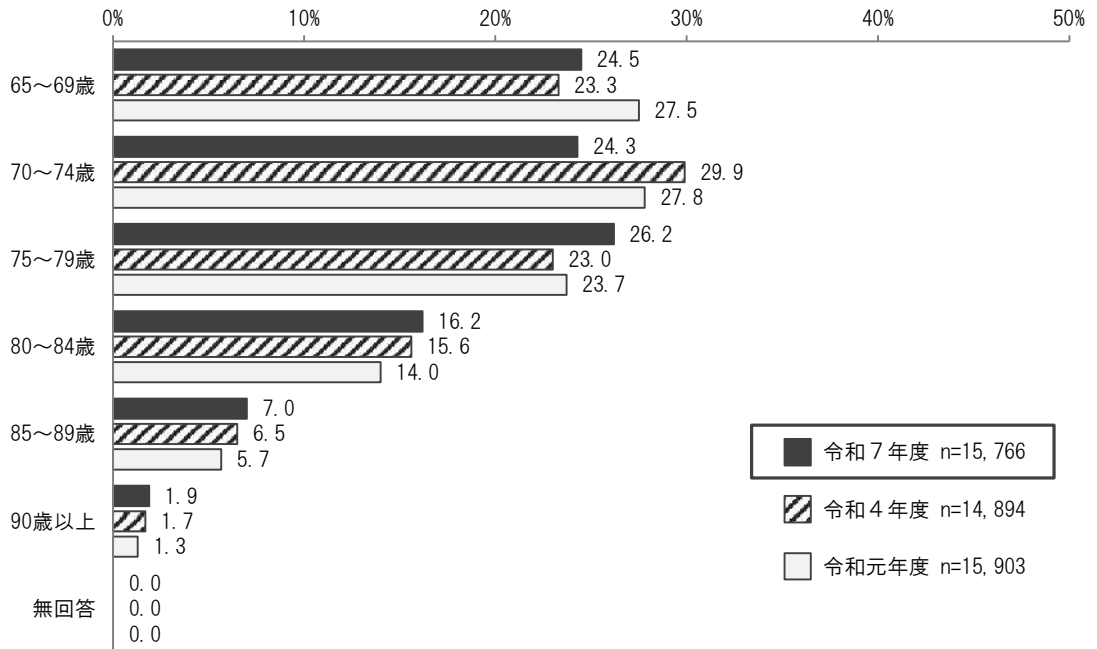


第2章 一般高齡者調査

1 回答者の基本属性

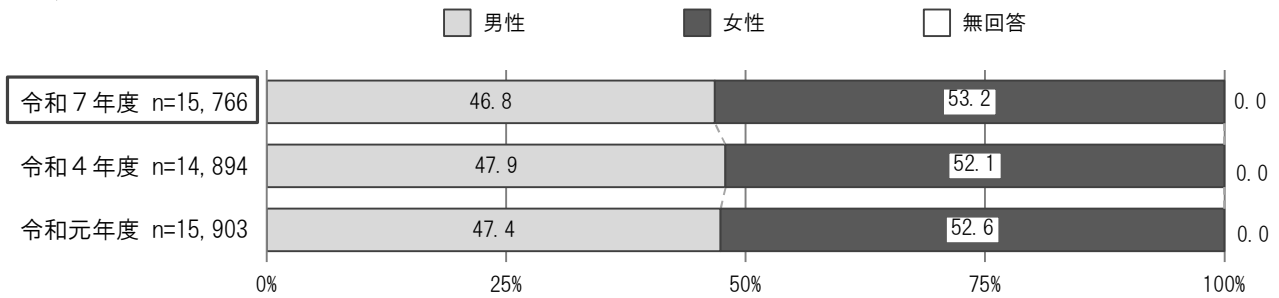
(1) 年齢

図表 2-1-1



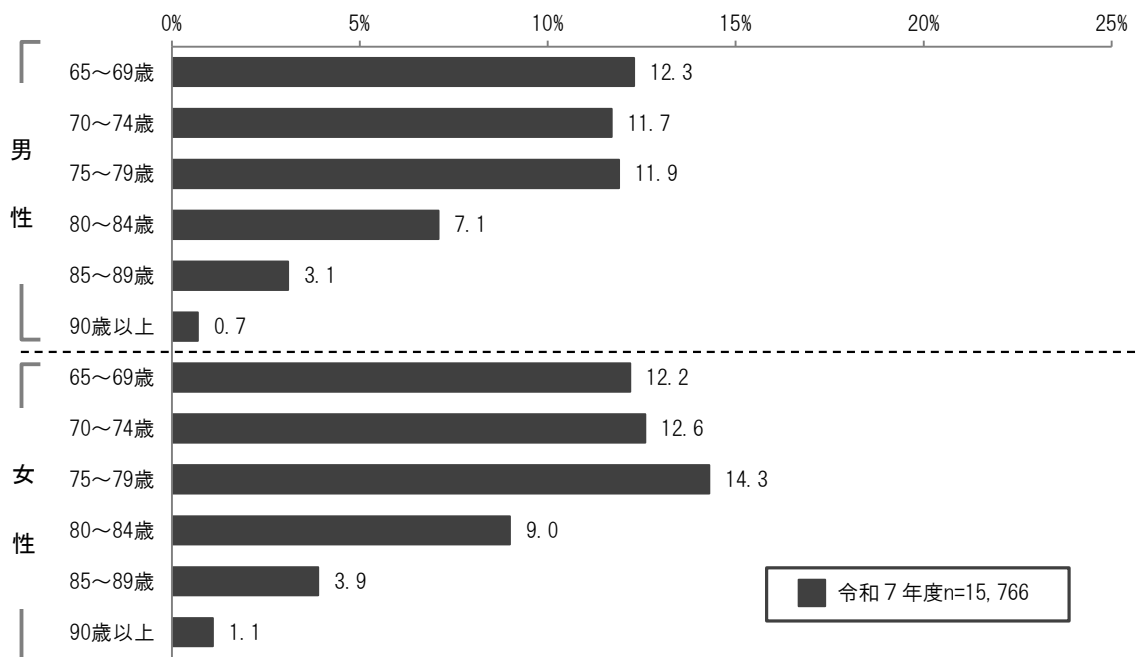
(2) 性別

図表 2-1-2



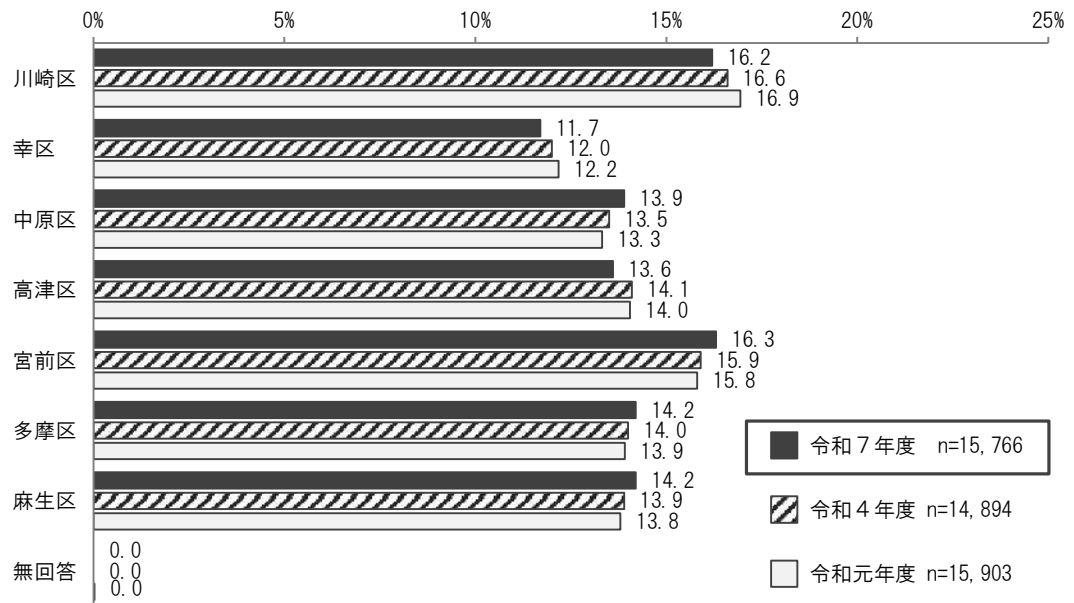
(3) 性別・年齢

図表 2-1-3



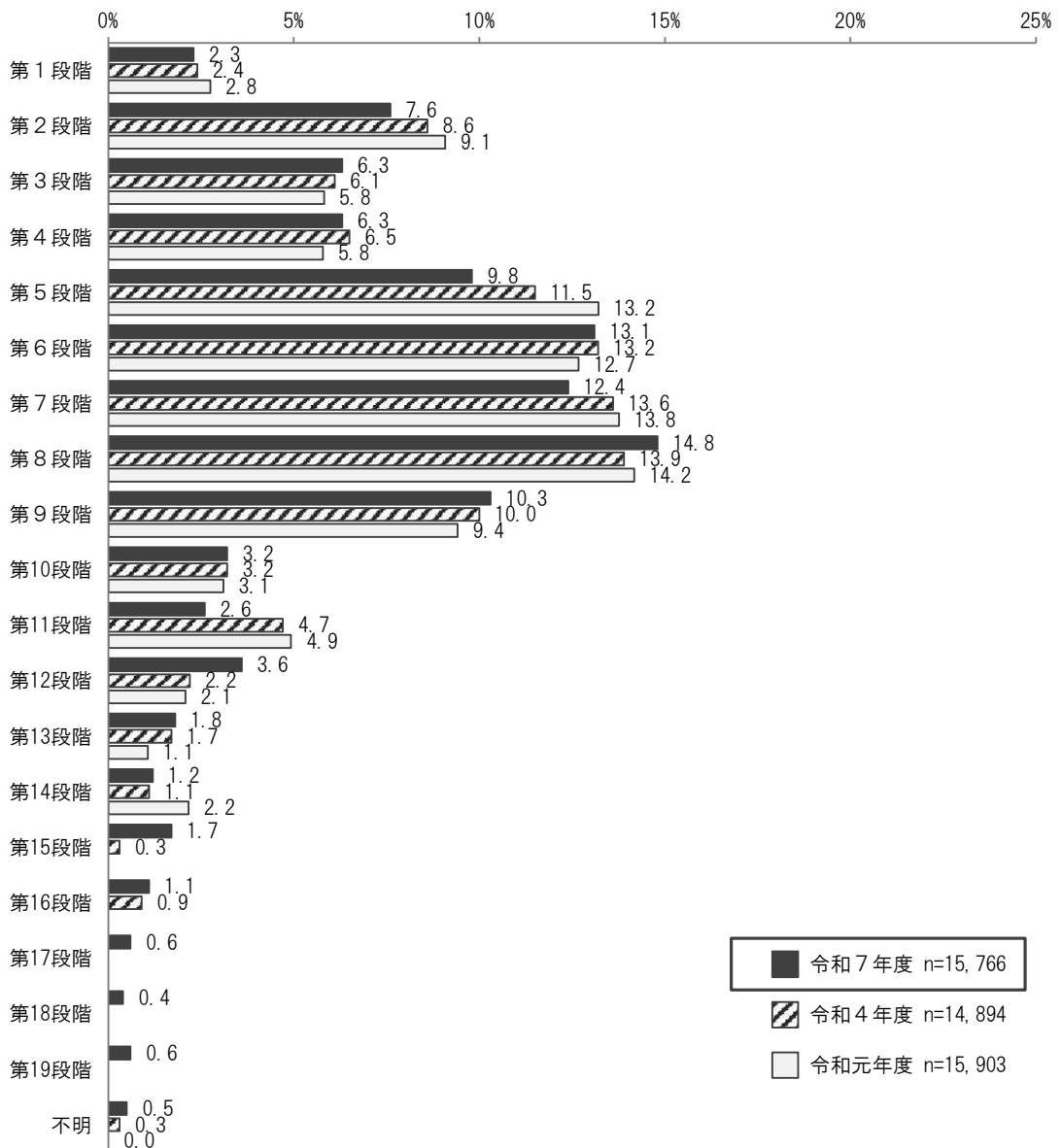
(4) 居住区

図表 2-1-4



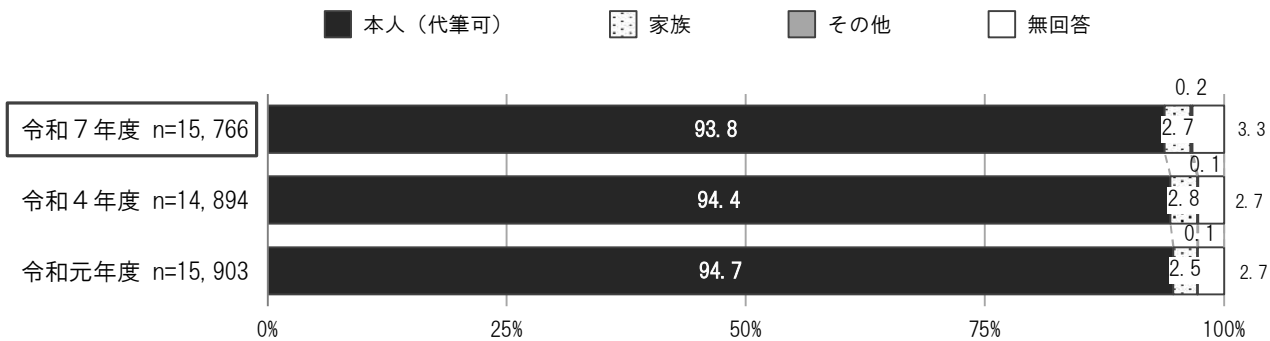
(5) 介護保険料段階

図表 2-1-5



(6) 調査票の回答者

図表 2-1-6

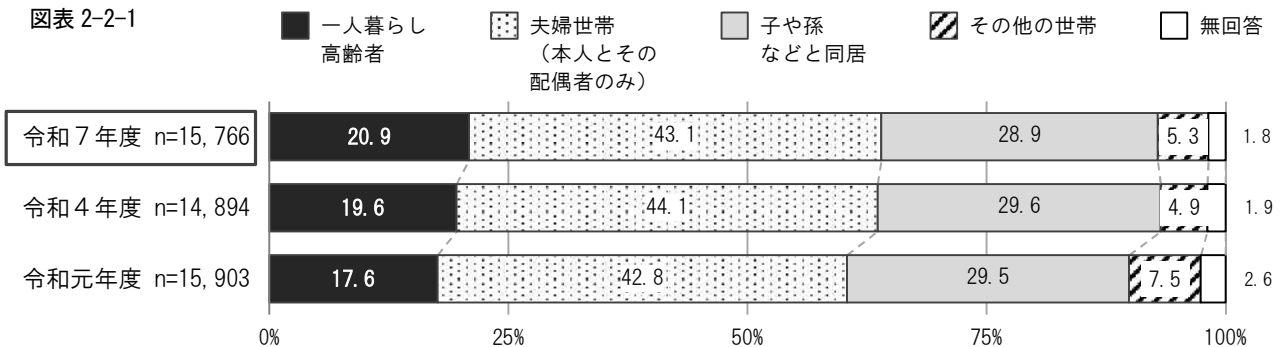


2 ご自身の状況について

問1 あなたのご家族の状況についておうかがいします。(1つを選択)

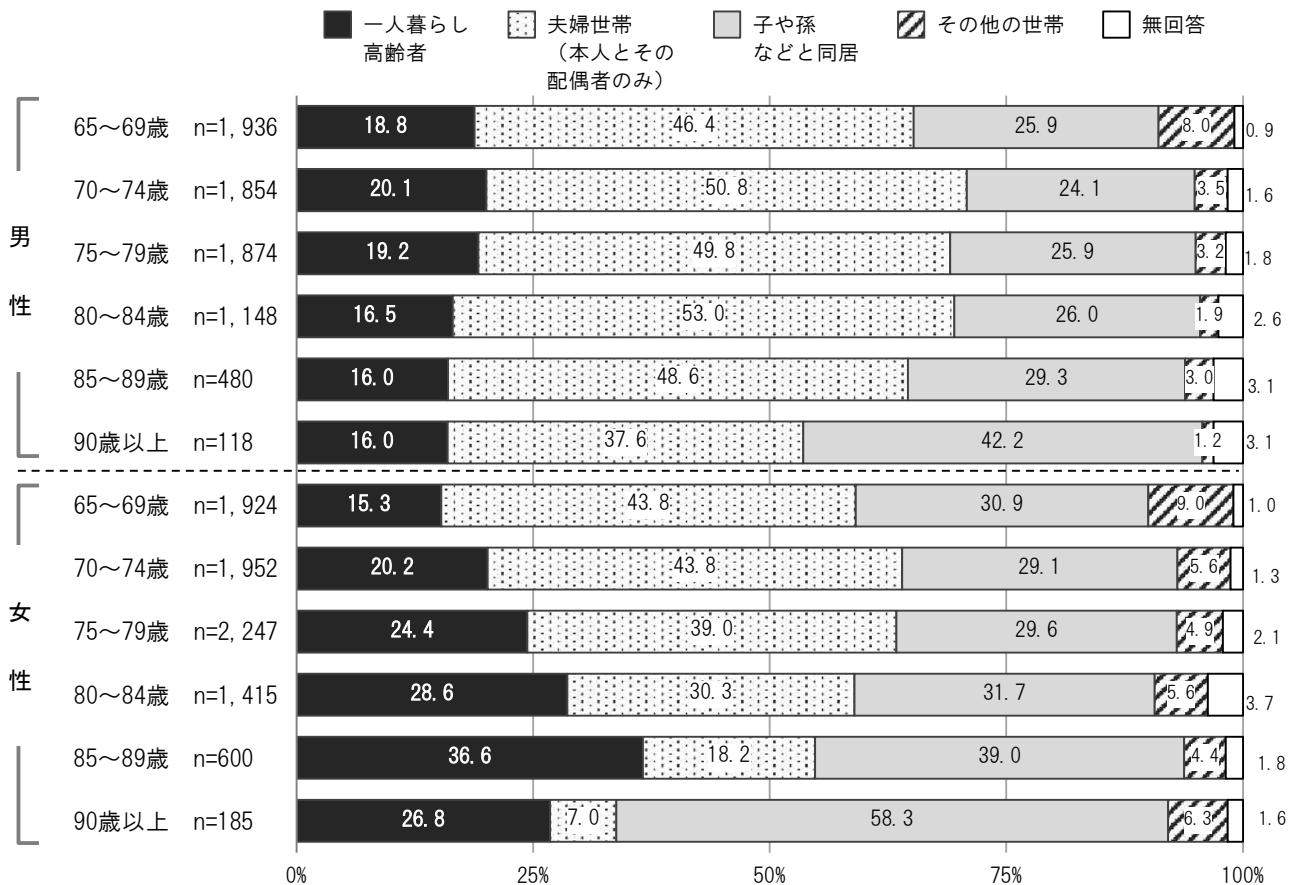
▶ 「一人暮らし高齢者」の割合が増加傾向となっており、約2割となっている

図表 2-2-1



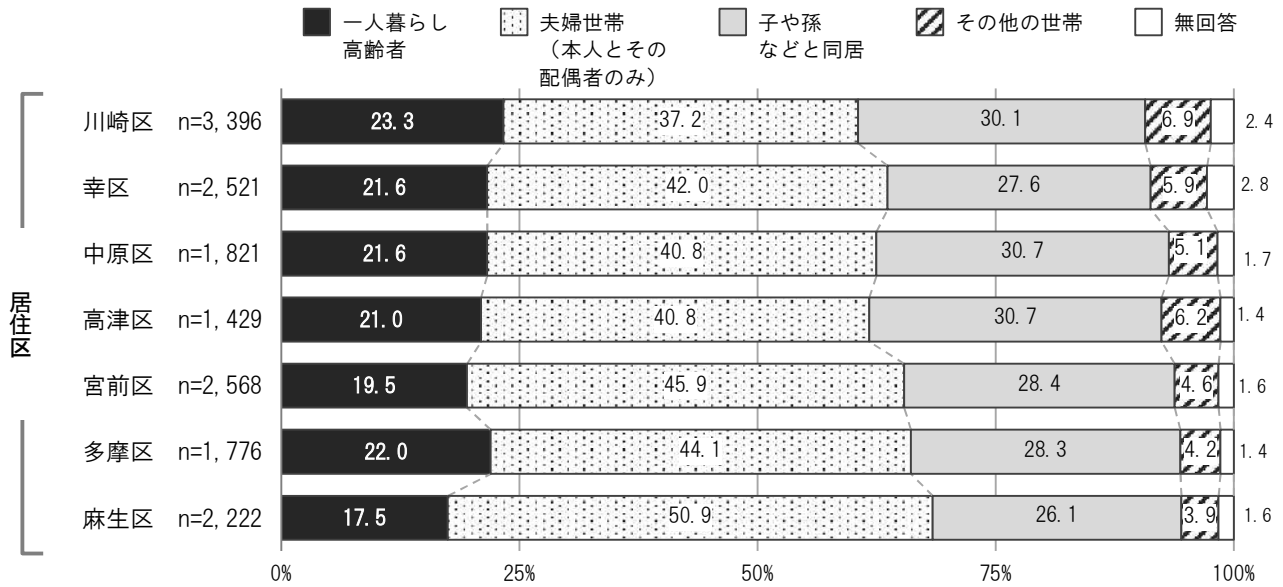
▶ 「一人暮らし高齢者」の割合が男性は70～89歳にかけて減少している一方、女性は70～89歳にかけて増加している

図表 2-2-2



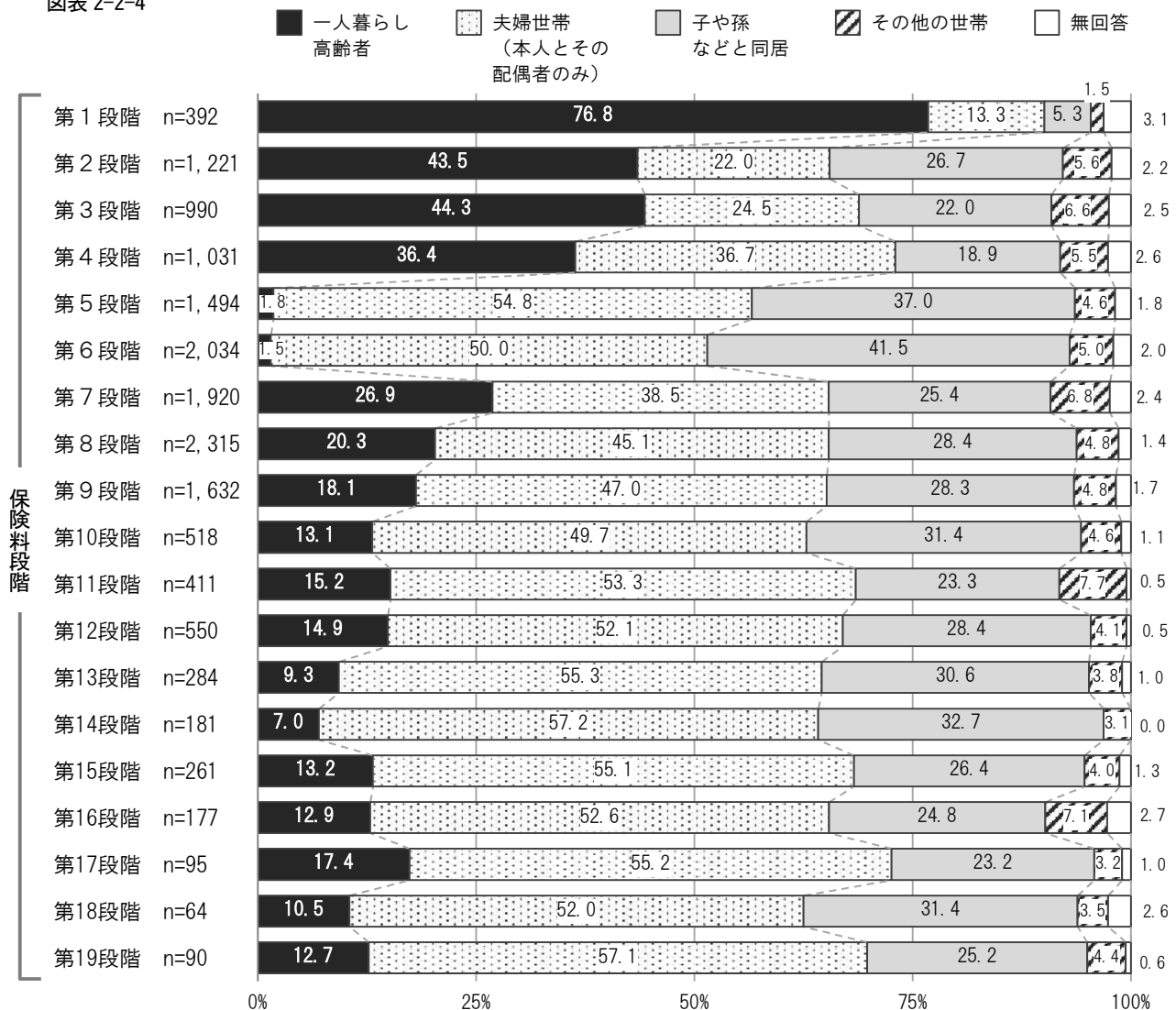
▶ 「一人暮らし高齢者」の割合が「川崎区」は2割を超えて最も高く、「麻生区」が最も低くなっている

図表 2-2-3



▶ 保険料段階の「第1段階」の人について、「一人暮らし高齢者」の割合が8割弱となっている

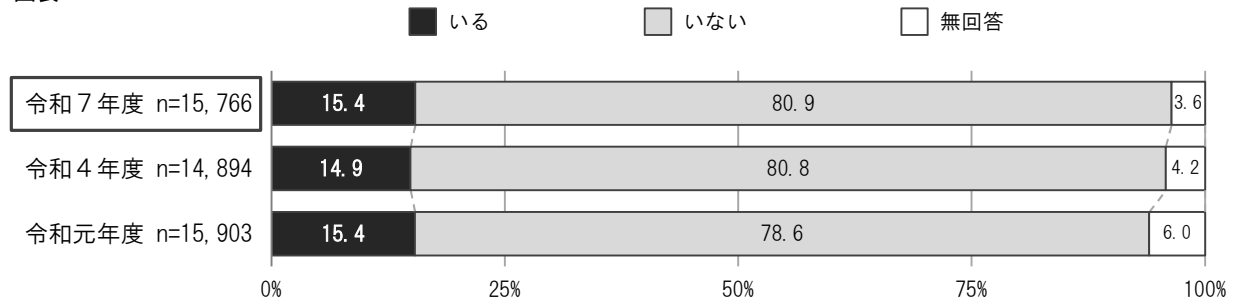
図表 2-2-4



問2 あなたの同居の家族の中には、身のまわりの手助けや見守りを必要とする人がいますか。
(主なもの1つを選択)

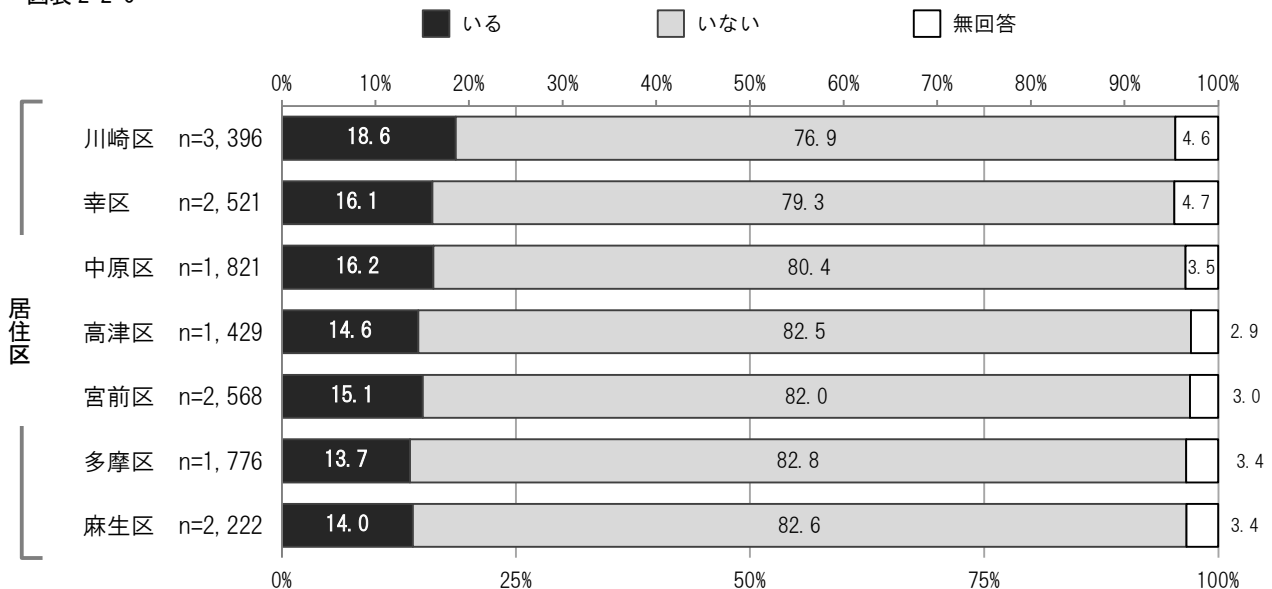
▶ 同居家族に身のまわりの手助けや見守りを必要とする人が「いる」割合は横ばいとなっている

図表 2-2-5



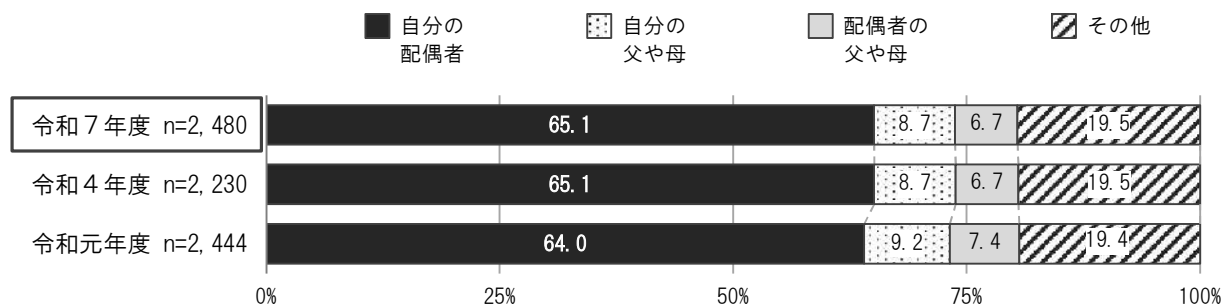
▶ 「川崎区」では同居家族に身のまわりの手助けや見守りを必要とする人が「いる」割合が最も高く、約2割となっている

図表 2-2-6



▶ 手助け等を必要とする人について、「自分の配偶者」の割合が6割を超えている

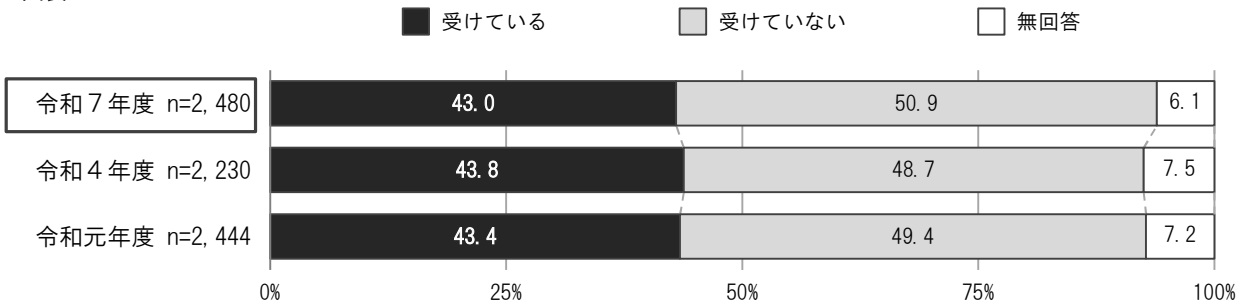
図表 2-2-7 「いる」人の内訳



問2-1 手助けや見守りを必要とする方は、介護保険の認定を受けていますか。(1つを選択)

▶ 手助け等を必要とする人の介護保険の認定を「受けている」割合は前回調査より微減している

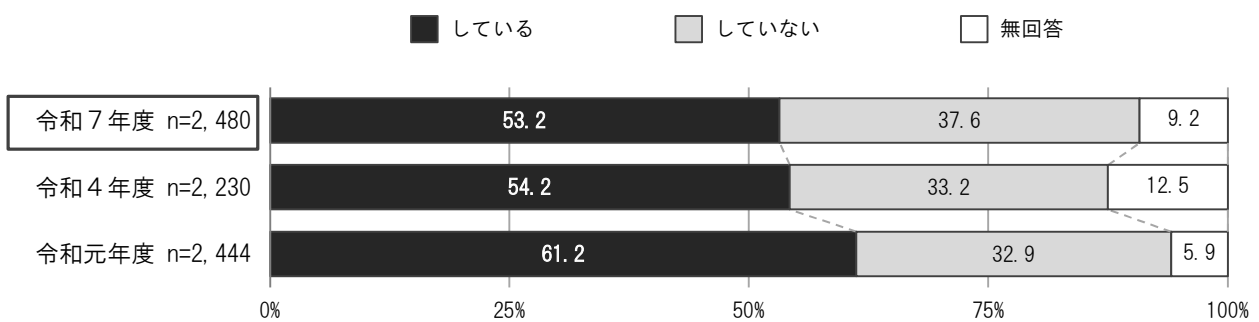
図表 2-2-8



問2-2 あなたが主に手助けや見守りをしていますか。(1つを選択)

▶ 回答者本人が手助け等を行っている割合は減少傾向となっている

図表 2-2-9

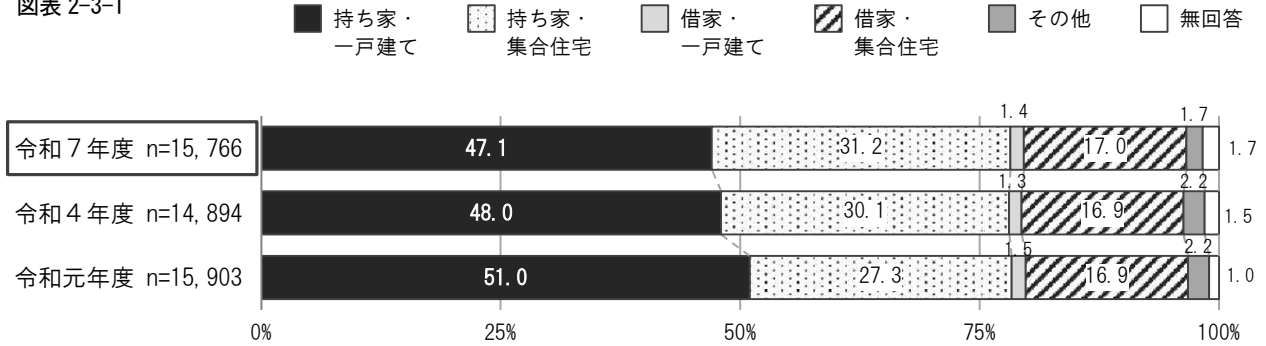


3 住まいについて

問3 あなたの現在のお住まいは次のどれですか。(1つを選択)

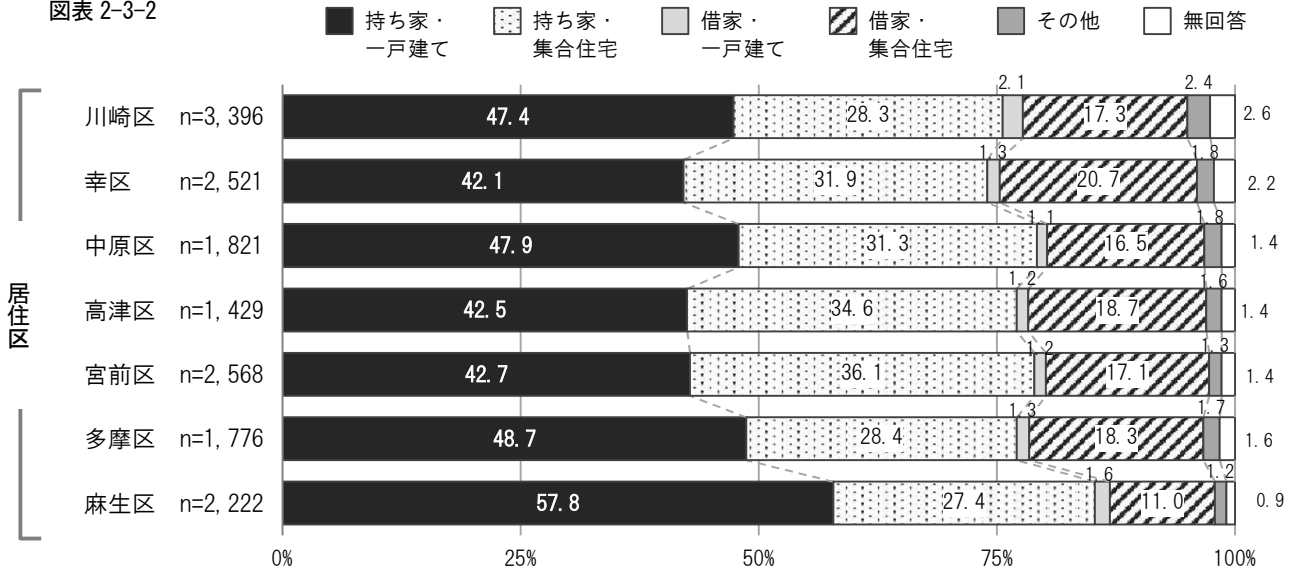
▶ 「持ち家・一戸建て」が5割弱で最も高いが、割合は減少傾向となっている

図表 2-3-1



▶ 「麻生区」では「持ち家・一戸建て」の割合が高く、約6割となっている

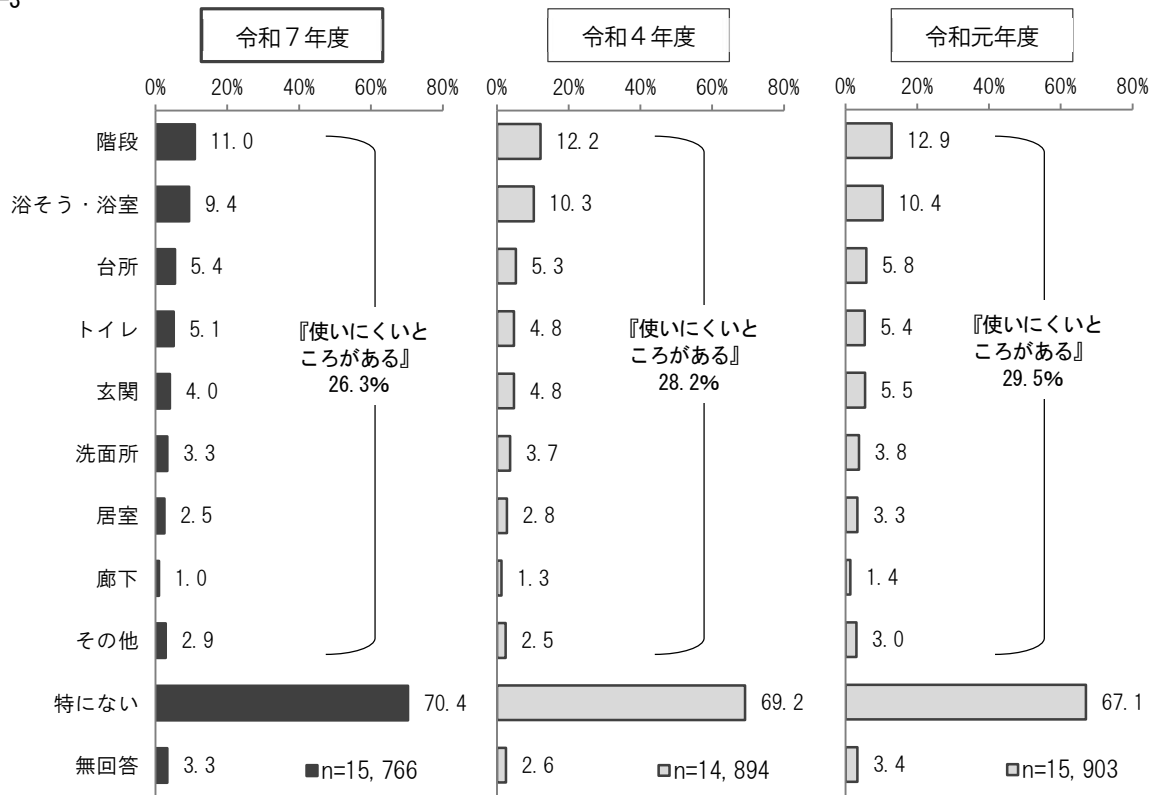
図表 2-3-2



問4 現在のお住まいで、使いにくいところはありますか。(あてはまるものすべてを選択)

▶ 現在のお住まいで、『使いにくいところがある』と感じる人の割合は減少傾向にあるものの、2割を超える人が使いにくいところがあると感じている

図表 2-3-3



※『使いにくいところがある』=100%-「特にない」-「無回答」

図表 2-3-4

単位：%

項目	回答者数(人)	階段	浴そう・浴室	台所	トイレ	玄関	洗面所	居室	廊下	『使いにくいところがある』	
全体	15,766	11.0	9.4	5.4	5.1	4.0	3.3	2.5	1.0	26.3	
家族構成	一人暮らし高齢者	3,338	9.4	10.9	5.7	6.3	3.6	3.7	2.3	1.0	27.3
	夫婦世帯	6,807	11.1	8.6	4.9	4.7	4.1	3.0	2.1	1.0	25.4
	子や孫など同居	4,469	12.1	8.9	6.2	4.8	4.0	3.3	3.3	1.1	26.8
	その他の世帯	835	11.6	13.9	5.3	5.5	5.7	4.2	2.7	1.0	31.4

※「その他」「特にない」「無回答」は掲載を省略

※『使いにくいところがある』=100%-「特にない」-「無回答」

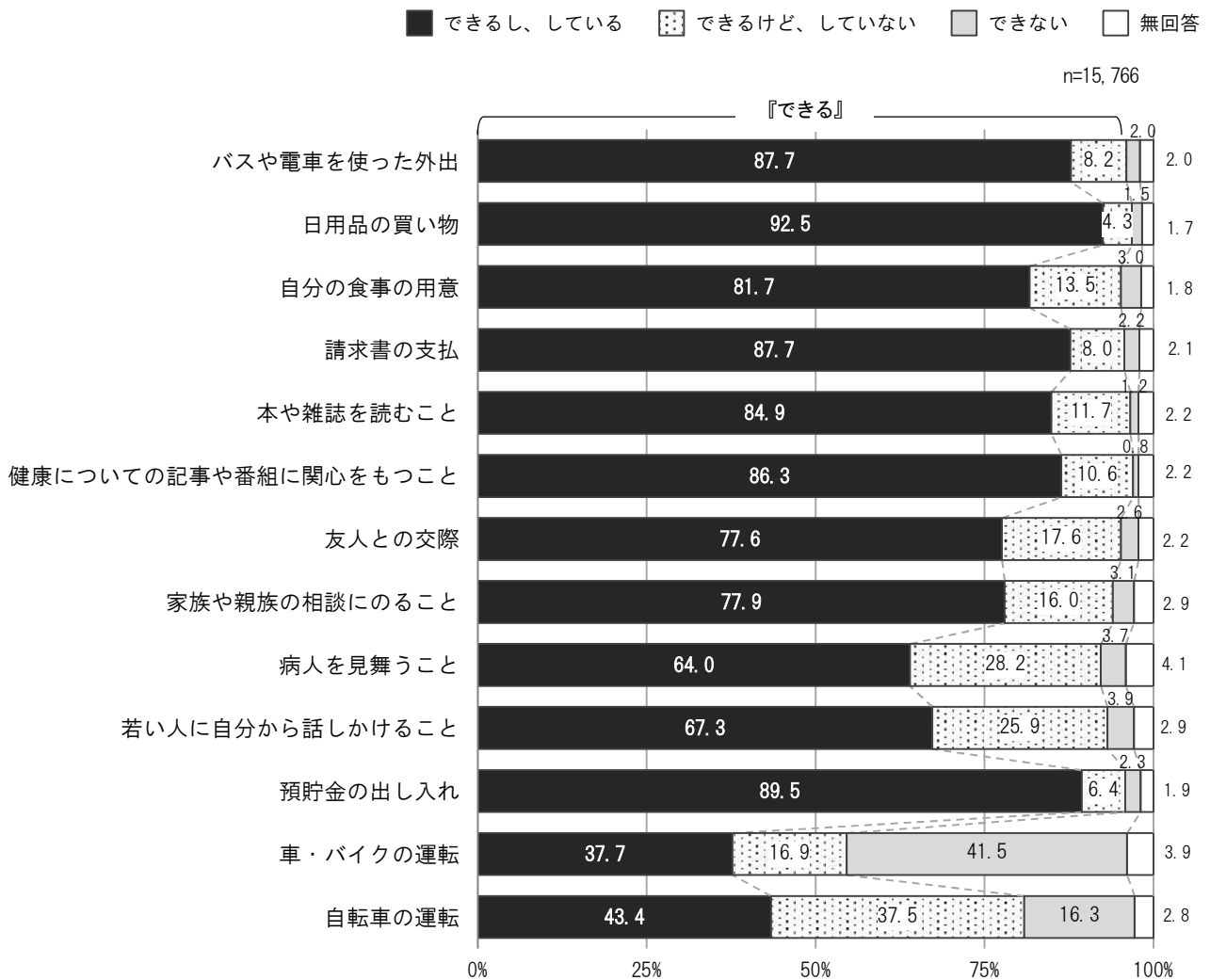
4 日常生活について

問5 次の項目について、あなたが自分一人のできる事・していることはありますか。
 (①～⑬のそれぞれの生活行為ごとに1つを選択)

▶ 「できるし、している」「できるけど、していない」を合わせた『できる』の割合について、「車・バイクの運転」は5割を超え、「自転車の運転」は約8割となっており、その他はおおむね9割が『できる』となっている

図表 2-4-1

令和7年度



※『できる』＝「できるし、している」＋「できるけど、していない」

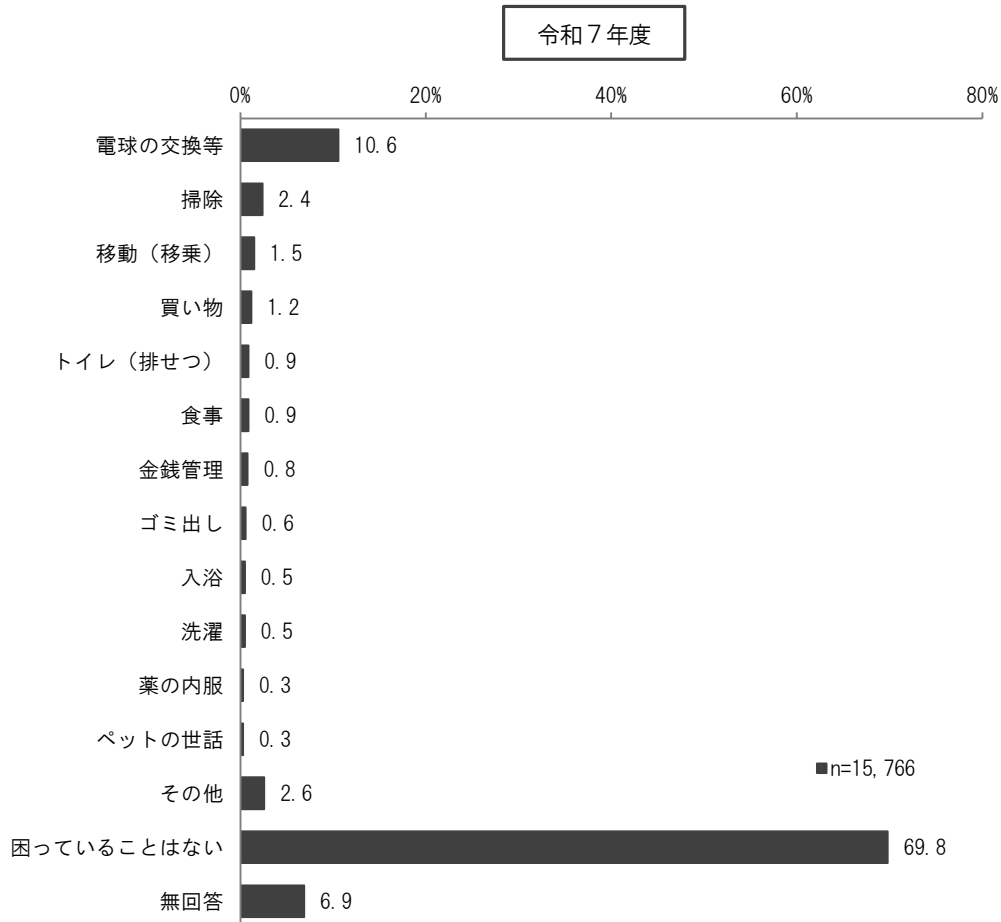
5 健康状態について

【令和7年度新規設問】

問6 自宅での生活であなたがもっともお困りのことについて、ご回答ください。（1つを選択）

▶ 自宅での生活でのお困りごとについて、「電球の交換等」が10.6%と最も高くなっている

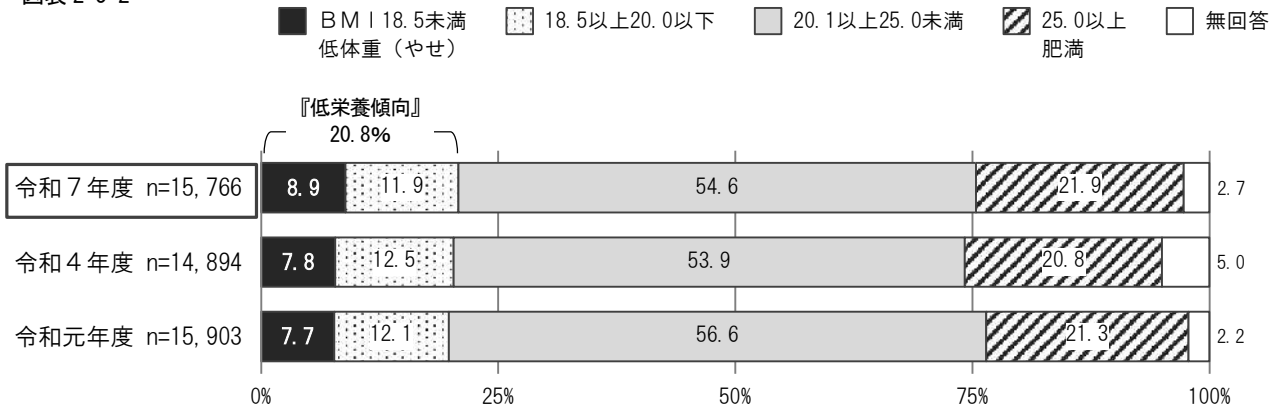
図表 2-5-1



問7 あなたの身長と体重をご回答ください。(数字を記入) ⇒BMI※1の算出

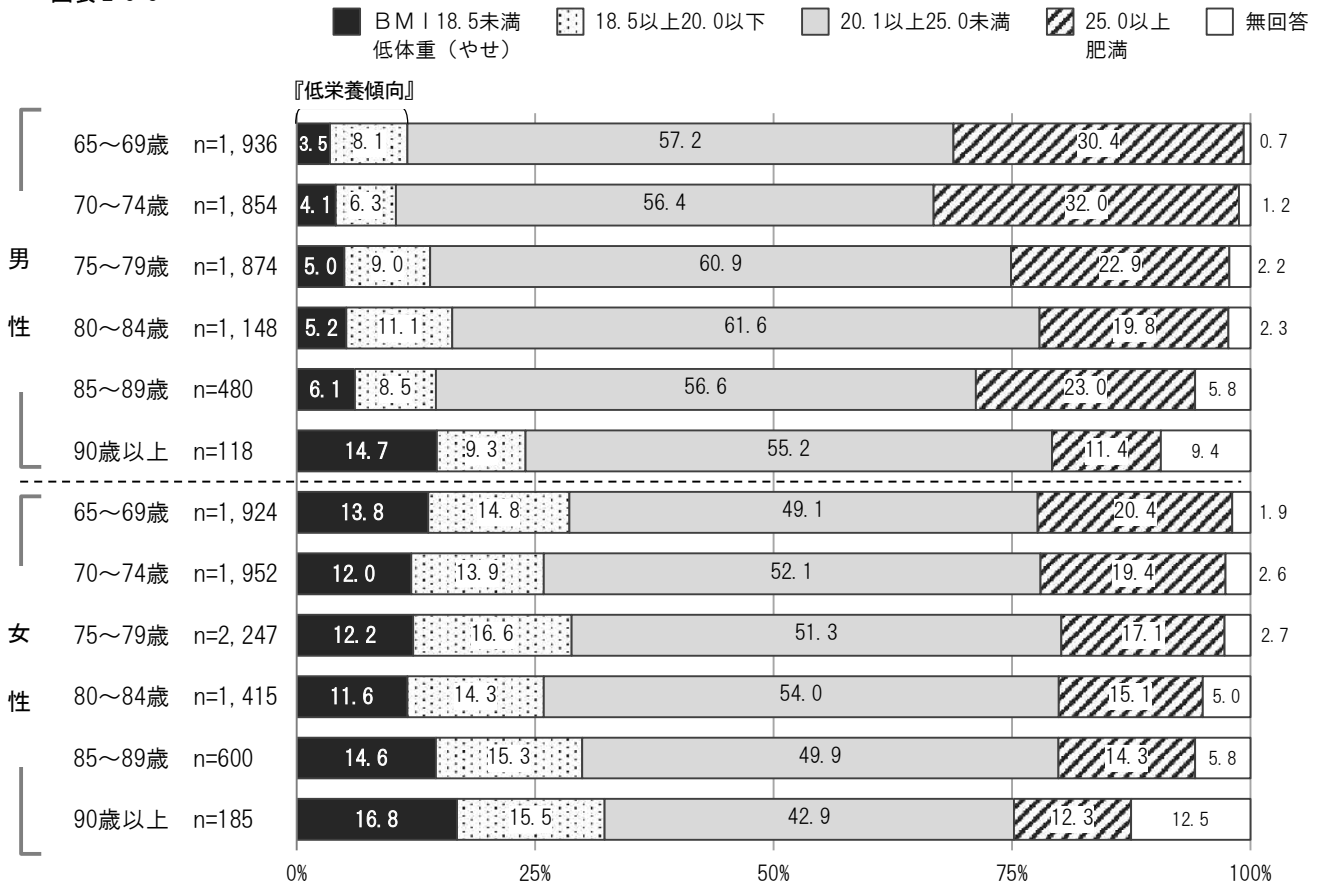
▶ BMIに基づく体格の傾向について、前回調査より大きな変化はなく、BMI 20.0以下の『低栄養傾向※2』及び25.0以上の「肥満」がそれぞれ約2割となっている

図表 2-5-2



▶ 男性より女性の方が『低栄養傾向』の割合が高くなっており、85歳以上の女性は約3割が『低栄養傾向』となっている

図表 2-5-3



※1 BMI : Body Mass Index (ボディマスインデックス)の頭文字をとったもの。体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)で算出される体格指数で、肥満や低体重(やせ)の判定に用いられる。
日本肥満学会の定めた基準では、BMI 18.5未満を「低体重(やせ)」、18.5以上25未満を「普通体重」、25以上を「肥満」としている。

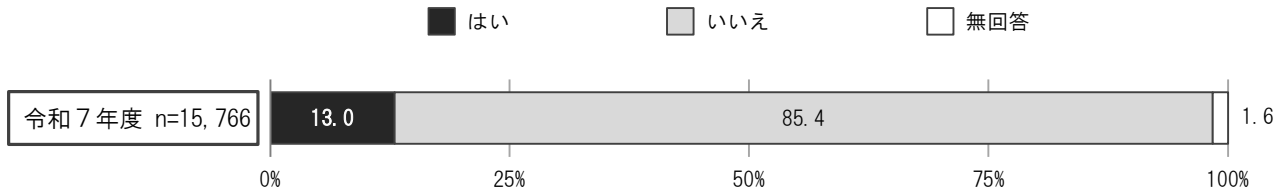
※2 健康日本21第三次ではBMI 20以下を「低栄養傾向」としている。

【令和7年度新規設問】

問8 6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(1つを選択)

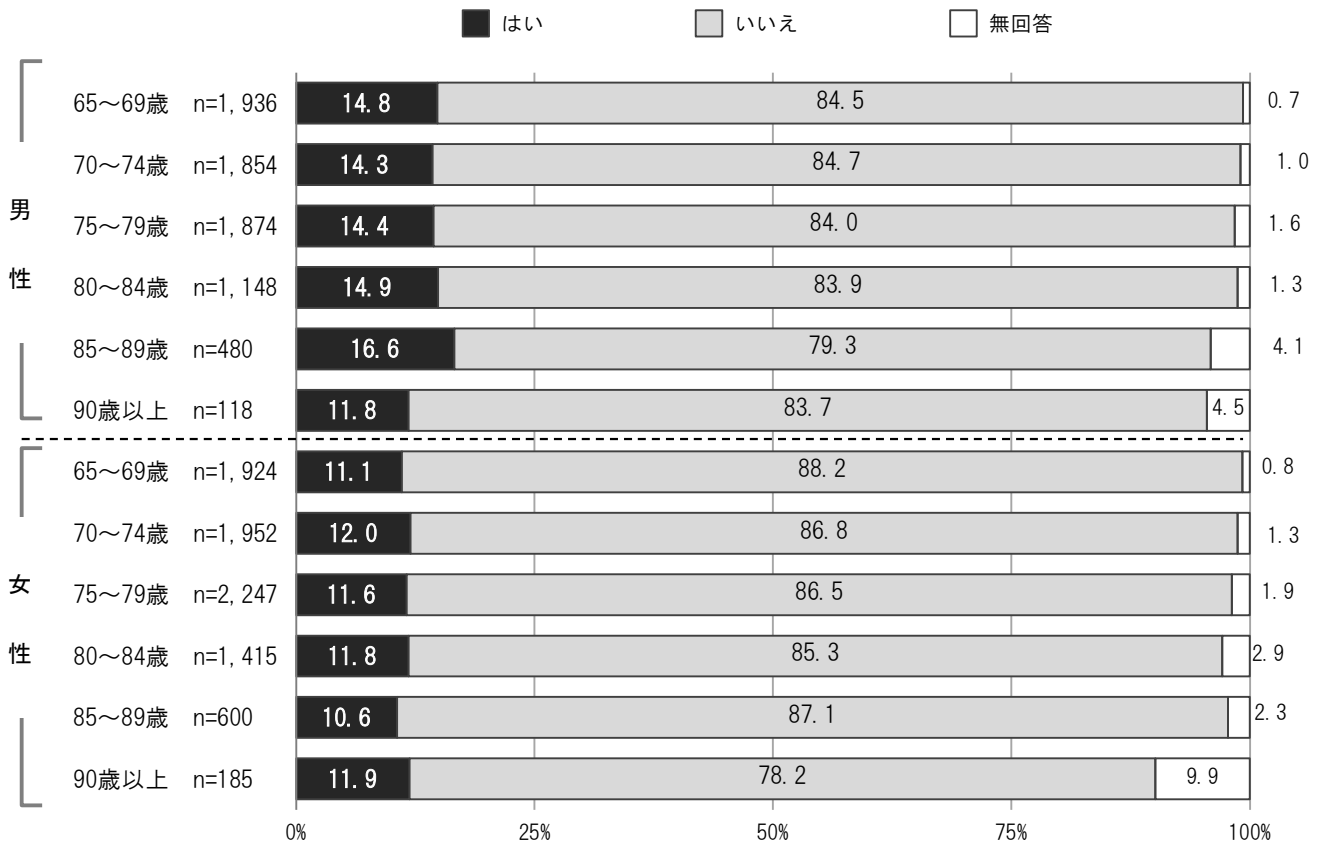
▶ 6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少があった割合は1割を超えている

図表 2-5-4



▶ 85～89歳の男性について、6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少があった割合が2割弱となっている

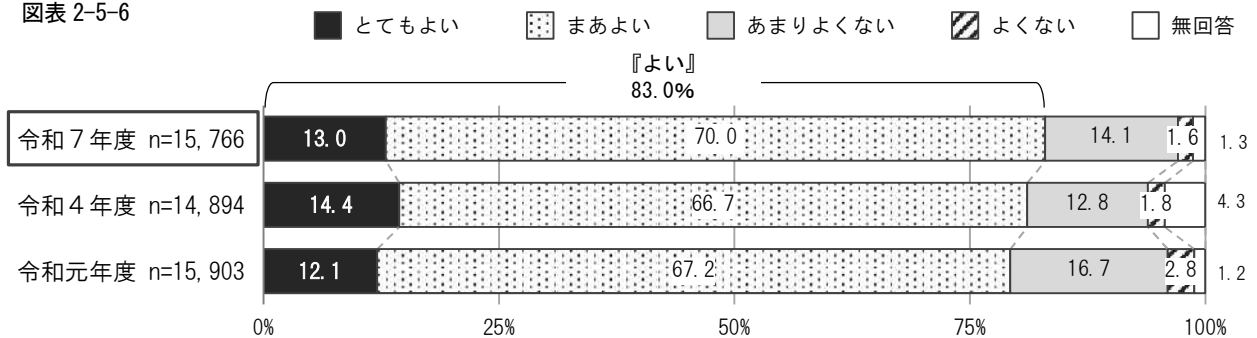
図表 2-5-5



問9 あなたの健康状態はいかがですか。(1つを選択)

▶ 「とてもよい」「まあよい」を合わせた健康状態が『よい』と感じている割合が8割を超えている

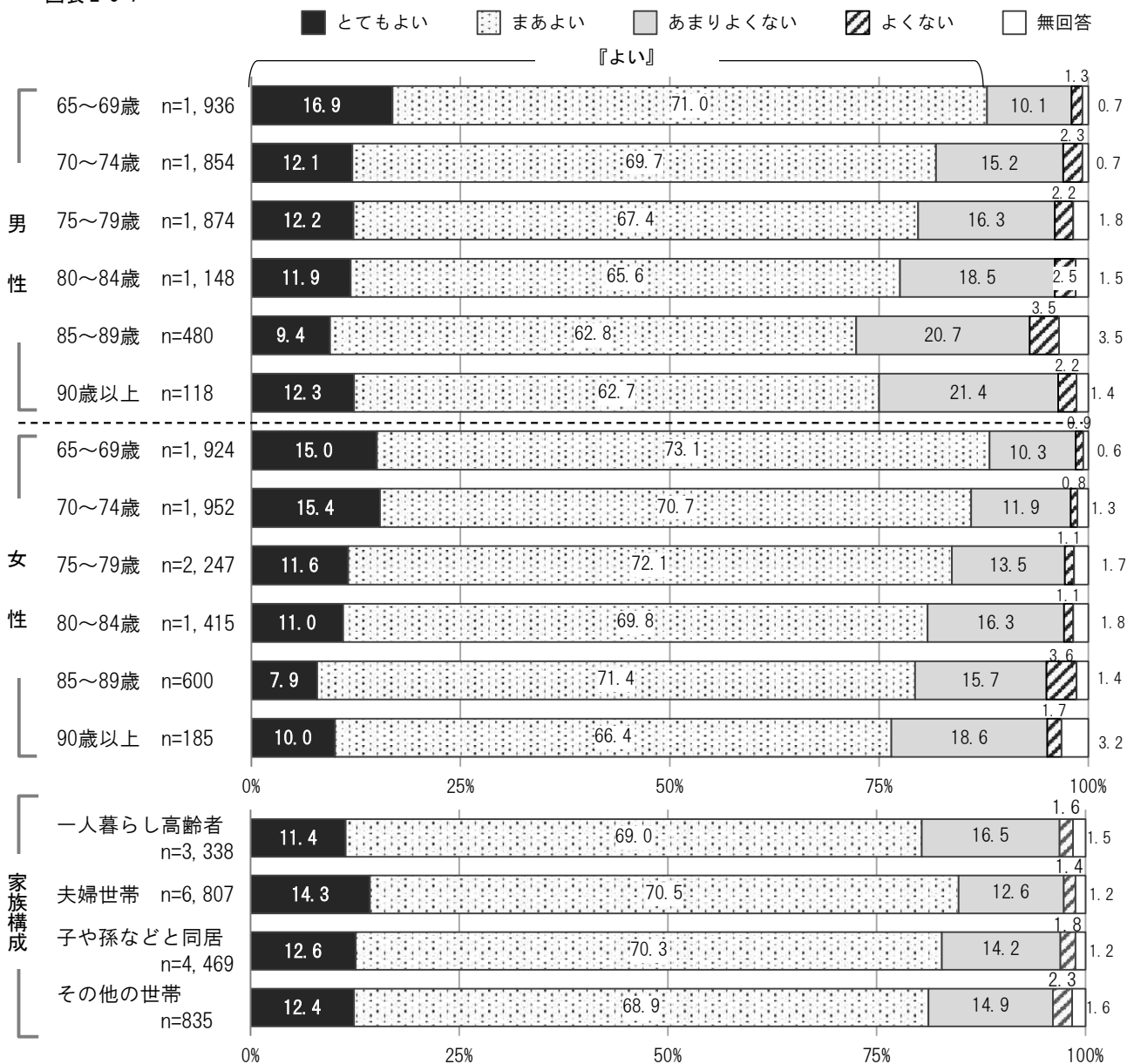
図表 2-5-6



※『よい』 = 「とてもよい」 + 「まあよい」

▶ 65～69歳の男女ともに、健康状態が『よい』と感じている割合が約9割となっている

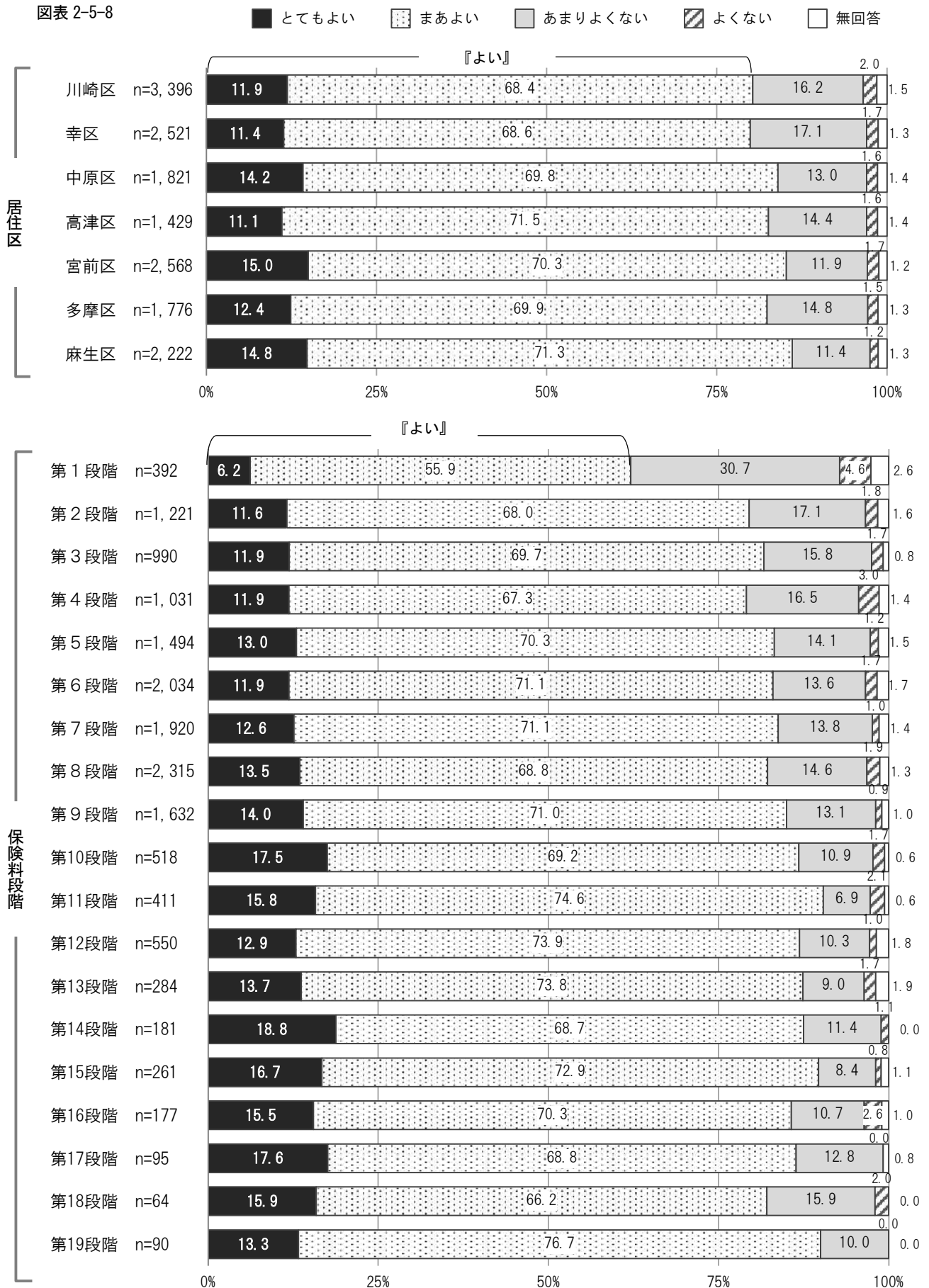
図表 2-5-7



▶ すべての区で健康状態が『よい』と感じている割合が8割を超えている

▶ 保険料段階の「第1段階」の人について、健康状態が『よい』と感じている割合が約6割にとどまっている

図表 2-5-8

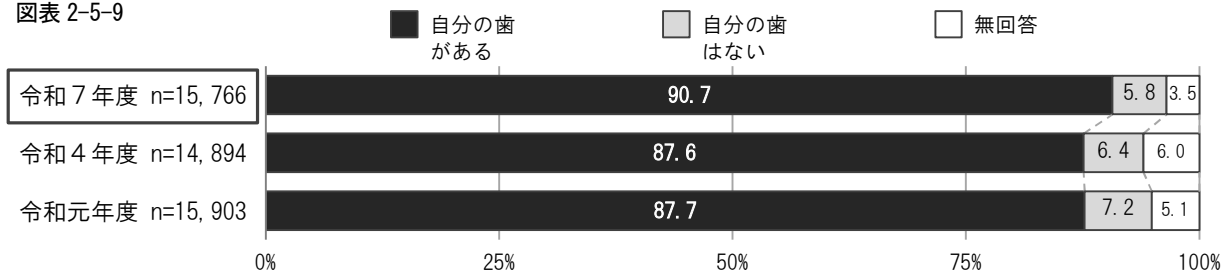


問10 あなたの身体の状態について、ご回答ください。

① 現在、自分の歯は何本ありますか。（1つを選択、数字を記入）

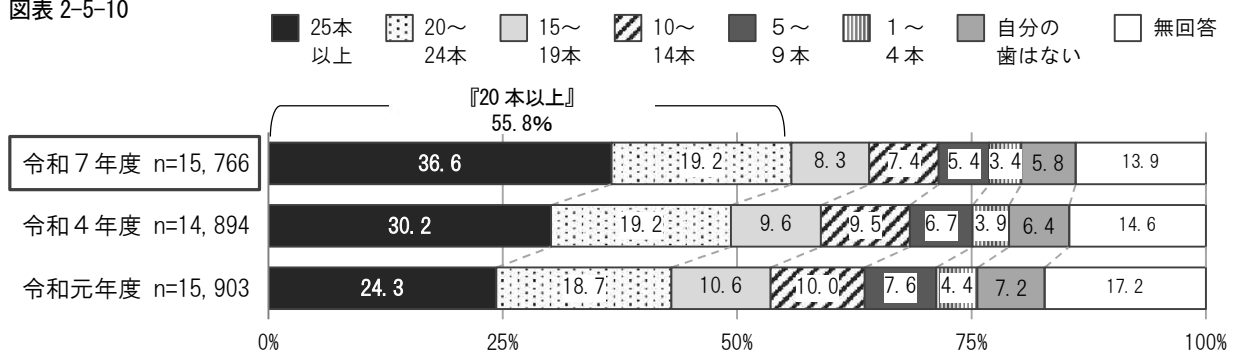
▶ 「自分の歯がある」人の割合は前回調査より増加し、約9割となっている

図表 2-5-9



▶ 歯が『20本以上』ある人の割合が前回調査より増加し、5割を超えている

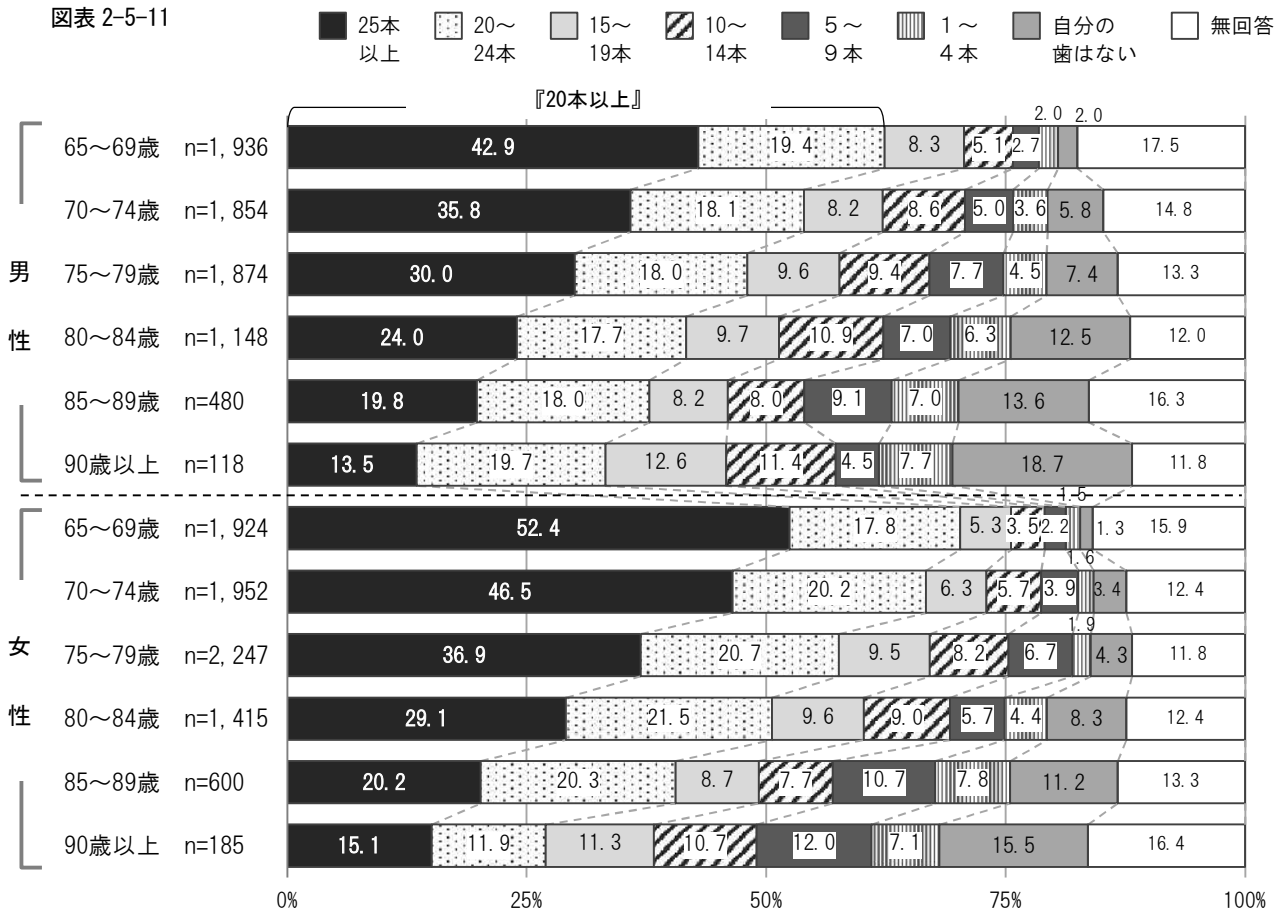
図表 2-5-10



※『20本以上』 = 「25本以上」 + 「20~24本」

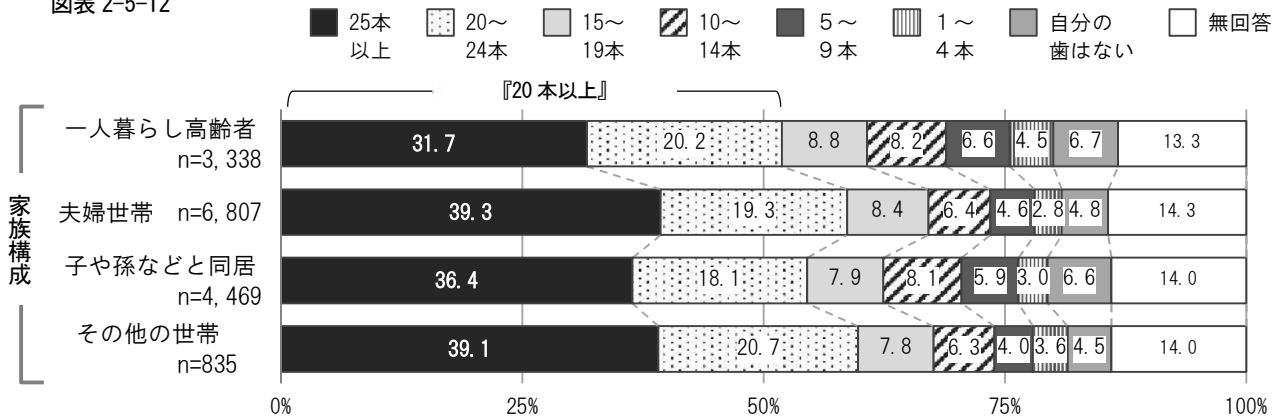
▶ 男性では74歳まで、女性では84歳まで歯が『20本以上』ある人の割合が5割を上回っている

図表 2-5-11



▶ 「一人暮らし高齢者」について、歯が『20本以上』ある人の割合は約5割となっている

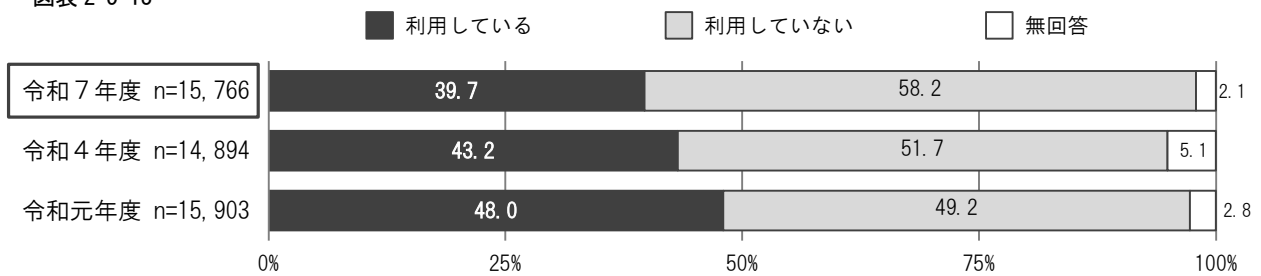
図表 2-5-12



問10-② 入れ歯を利用していますか。（1つを選択）

▶ 入れ歯を「利用している」人の割合が前回調査より減少し、4割を下回っている

図表 2-5-13

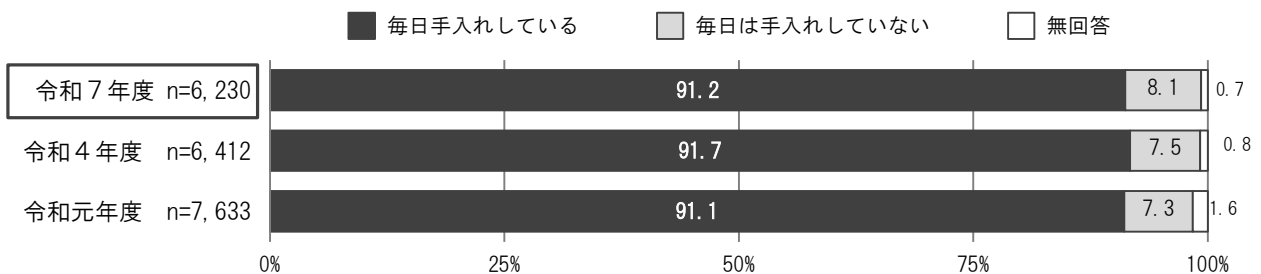


問10-③ 入れ歯を利用している方におうかがいします。

毎日入れ歯の手入れをしていますか。（1つを選択）

▶ 入れ歯を「毎日手入れしている」人の割合は横ばいとなっており、約9割となっている

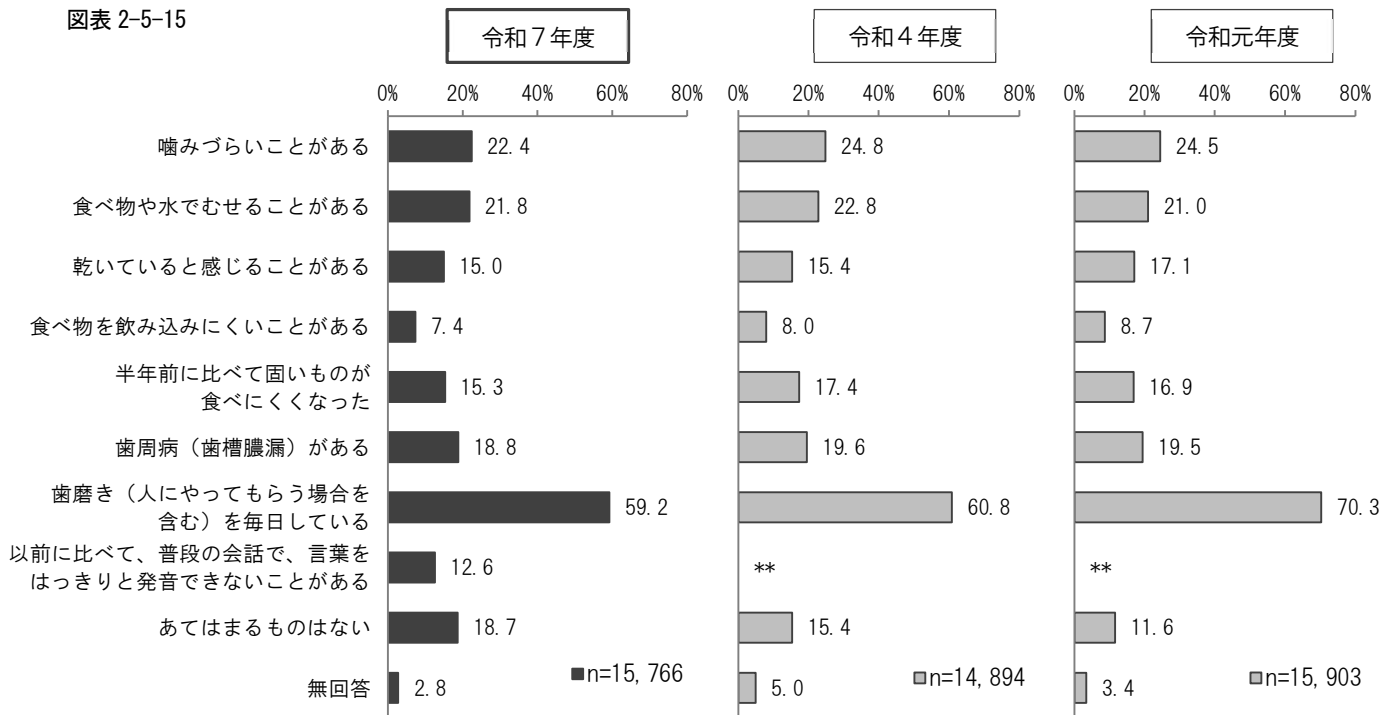
図表 2-5-14



問10-④ お口の状態について教えてください。（あてはまるものすべてを選択）

▶ 「歯磨き（人にやってもらう場合を含む）を毎日している」人の割合が減少傾向となっており、6割を下回っている

図表 2-5-15



※「以前に比べて、普段の会話で、言葉をはっきりと発音できないことがある」は令和7年度からの選択肢

図表 2-5-16

単位：%

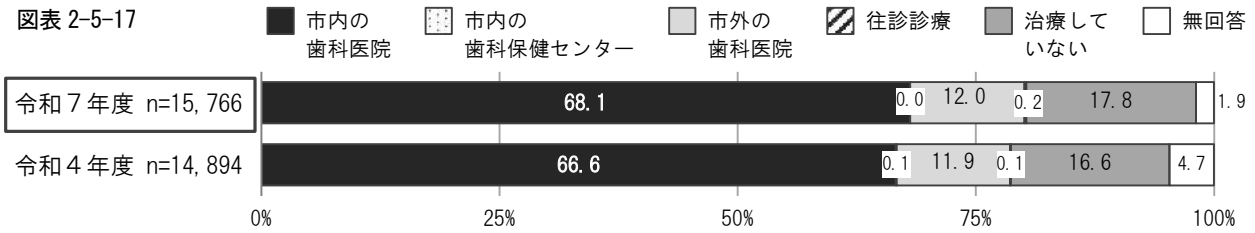
項目	回答者数(人)	噛みづらいことがある	食べ物や水でむせることがある	乾いていると感じることがある	食べ物を飲み込みにくいことがある	半年前に比べて固いものが食べにくくなった	歯周病（歯槽膿漏）がある	歯磨き（人にやってもらう場合を含む）を毎日している	以前に比べて、普段の会話で、言葉をはっきりと発音できないことがある	
全体	15,766	22.4	21.8	15.0	7.4	15.3	18.8	59.2	12.6	
男性	65～69歳	1,936	21.5	16.0	11.3	5.4	8.9	21.4	54.3	9.9
	70～74歳	1,854	24.8	21.1	12.1	7.2	14.8	22.1	56.9	14.8
	75～79歳	1,874	26.4	21.1	12.4	8.3	18.0	18.9	60.0	17.7
	80～84歳	1,148	26.8	22.5	10.5	11.1	22.4	17.7	61.2	19.0
	85～89歳	480	30.1	24.1	16.2	10.8	21.8	13.7	59.2	21.4
	90歳以上	118	31.8	22.5	13.8	10.7	33.2	10.9	60.5	23.4
女性	65～69歳	1,924	15.2	22.3	16.8	5.8	8.8	19.3	56.5	7.6
	70～74歳	1,952	19.2	23.0	17.4	6.3	11.7	19.2	59.4	10.0
	75～79歳	2,247	21.8	23.3	17.8	7.3	16.0	18.6	62.4	10.4
	80～84歳	1,415	21.2	23.5	17.9	7.0	19.3	16.6	62.3	11.9
	85～89歳	600	24.5	25.7	20.7	10.4	24.9	13.6	61.9	14.3
	90歳以上	185	32.9	24.4	17.0	8.6	26.8	9.9	70.6	7.9

※「あてはまるものはない」「無回答」は掲載を省略

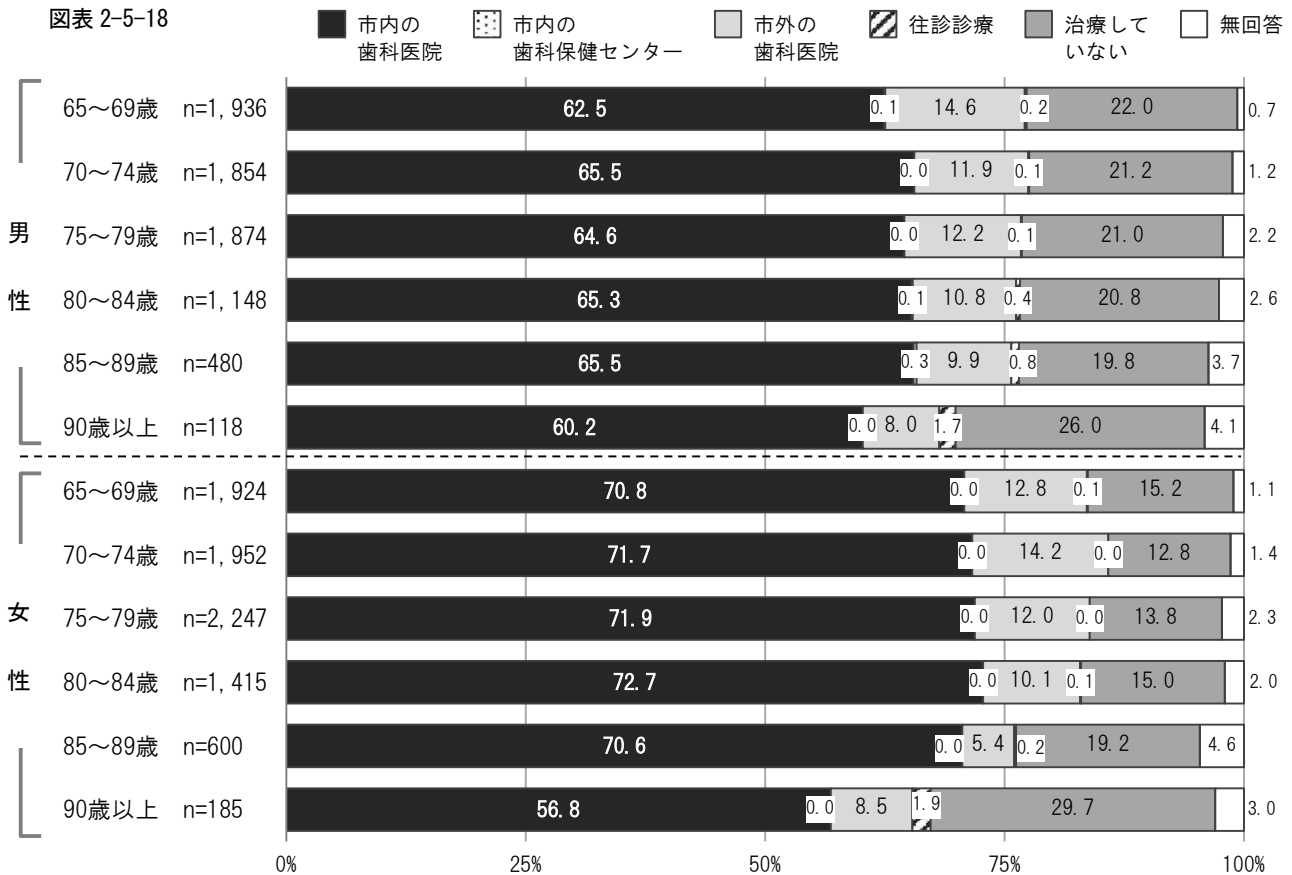
問10-⑤ 歯科診療先について教えてください。（1つを選択）

▶ 歯科診療先について「市内の歯科医院」が約7割となっている一方、「治療していない」人の割合が前回調査より微増し、約2割となっている

図表 2-5-17



図表 2-5-18

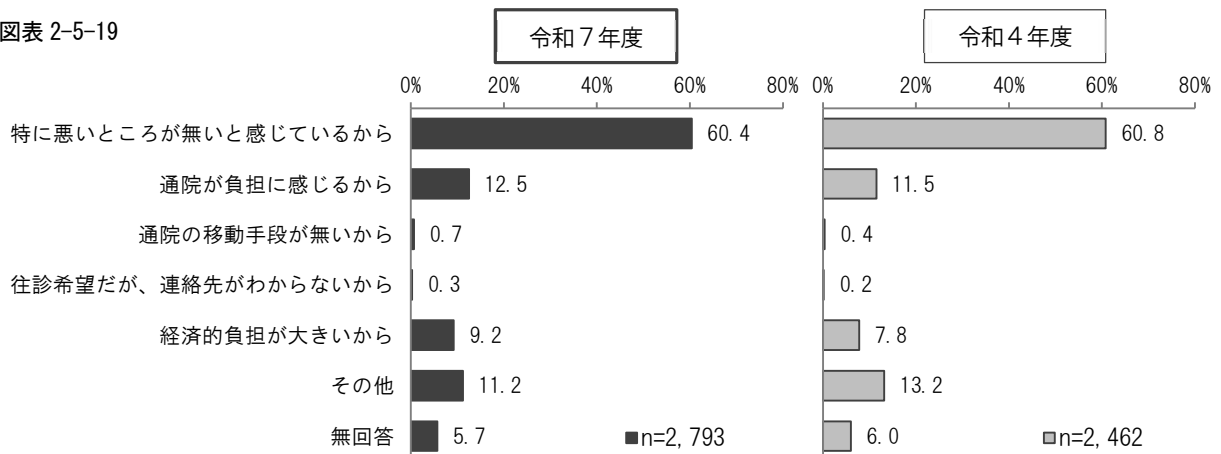


問10-⑥ 「治療していない」と答えた方におうかがいします。

治療をしていない理由について、もっとも近いものをご回答ください。（1つを選択）

▶ 治療をしていない理由について、「特に悪いところが無いと感じているから」の割合は前回調査より変化はなく、約6割となっている

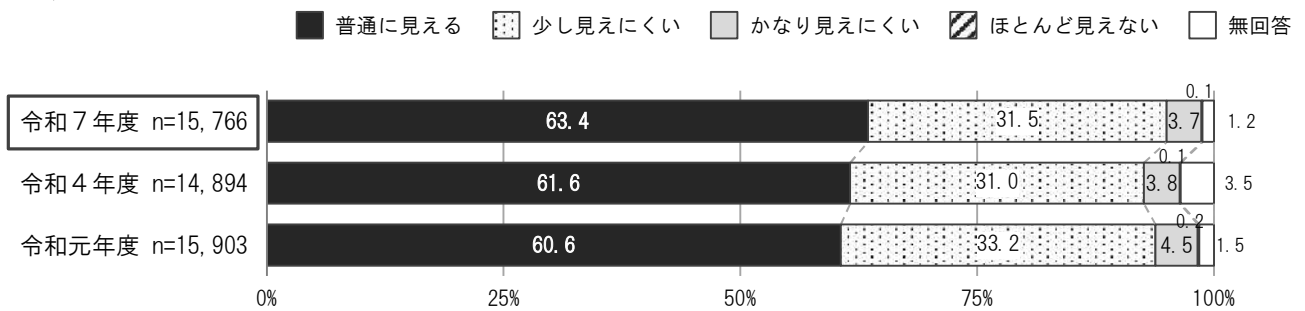
図表 2-5-19



問10-⑦ 目はどの程度見えますか。※眼鏡を使用してもかまいません。（1つを選択）

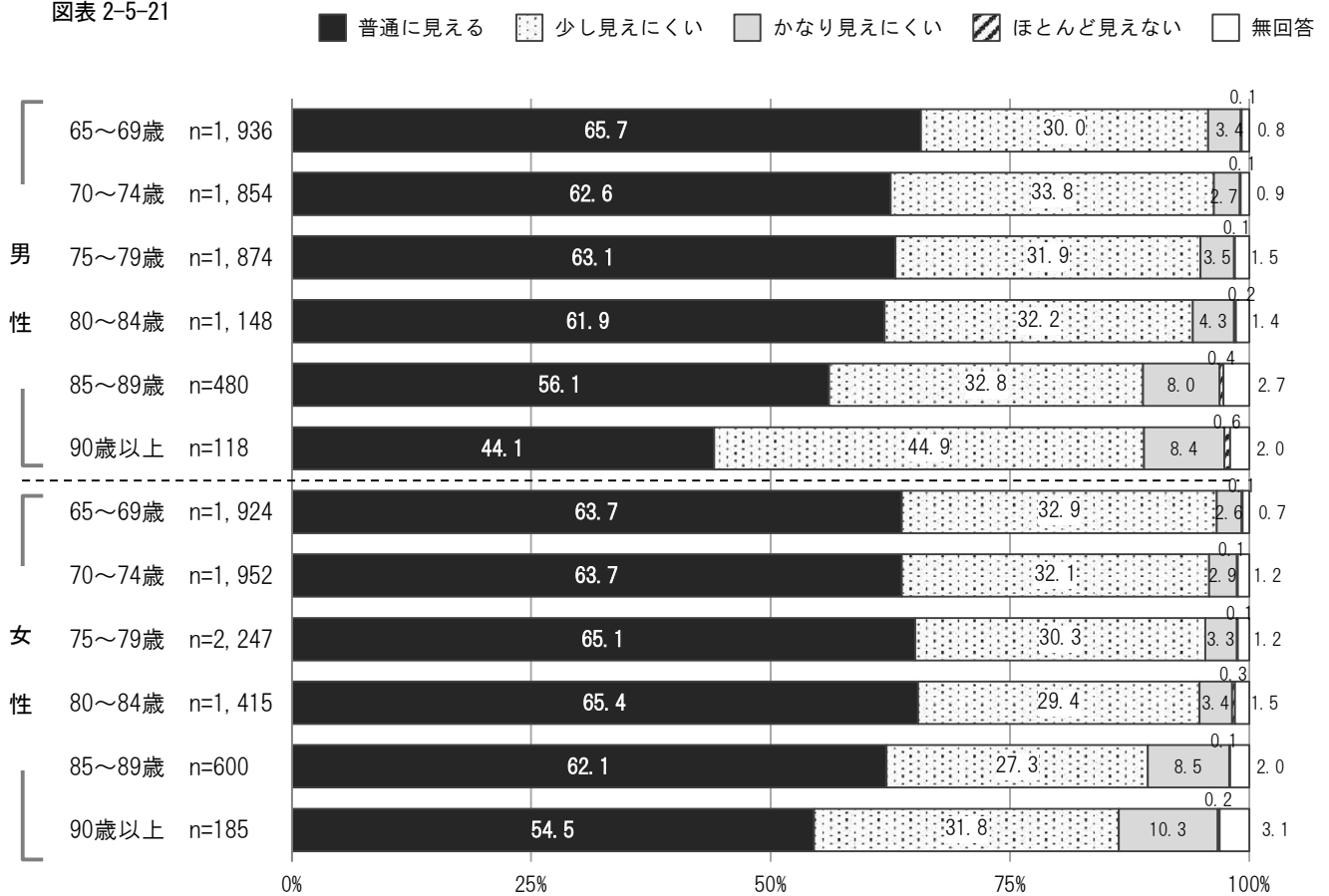
▶ 「普通に見える」人の割合は増加傾向となっており、6割を超えている

図表 2-5-20



▶ 男性は85歳以上で、女性は90歳以上で「普通に見える」人の割合が6割を下回っている

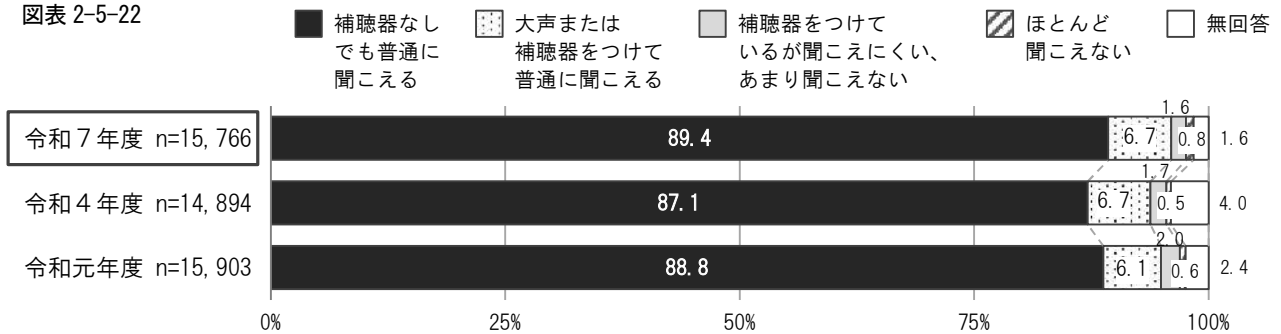
図表 2-5-21



問10-⑧ 耳はどの程度聞こえますか。(1つを選択)

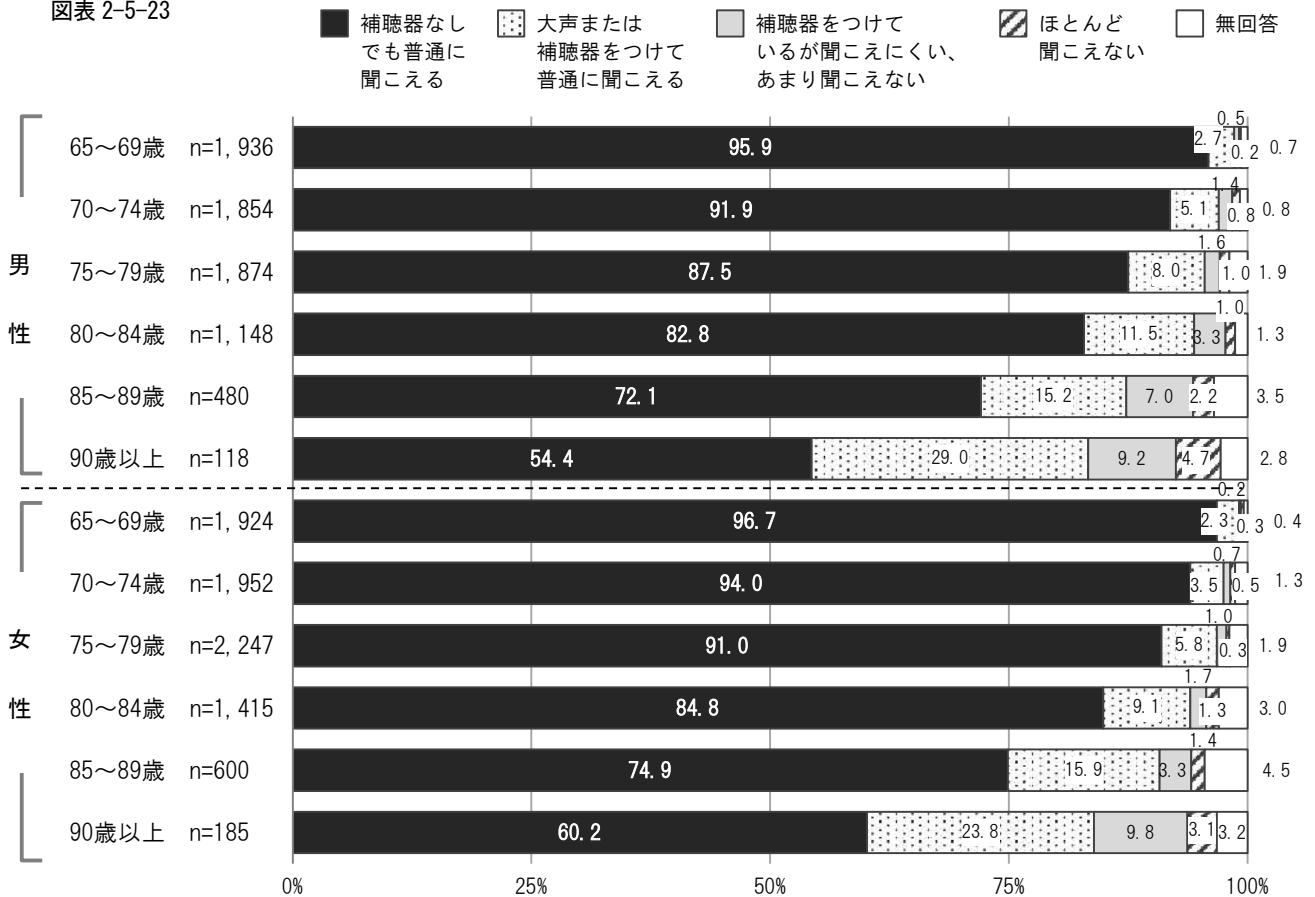
▶ 「補聴器なしでも普通に聞こえる」人の割合が前回調査より微増し、約9割となっている

図表 2-5-22



▶ 男女ともに85歳以上で「補聴器なしでも普通に聞こえる」人の割合が8割を下回っている

図表 2-5-23

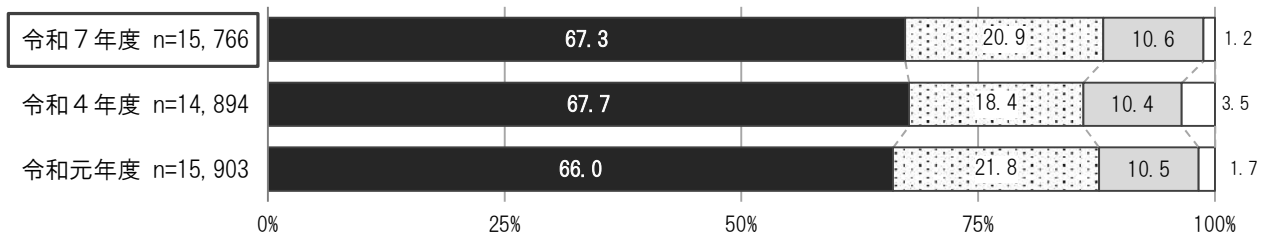


問10-⑨ 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つを選択)

▶ 「できるし、している」人の割合は横ばいとなっており、7割弱となっている

図表 2-5-24

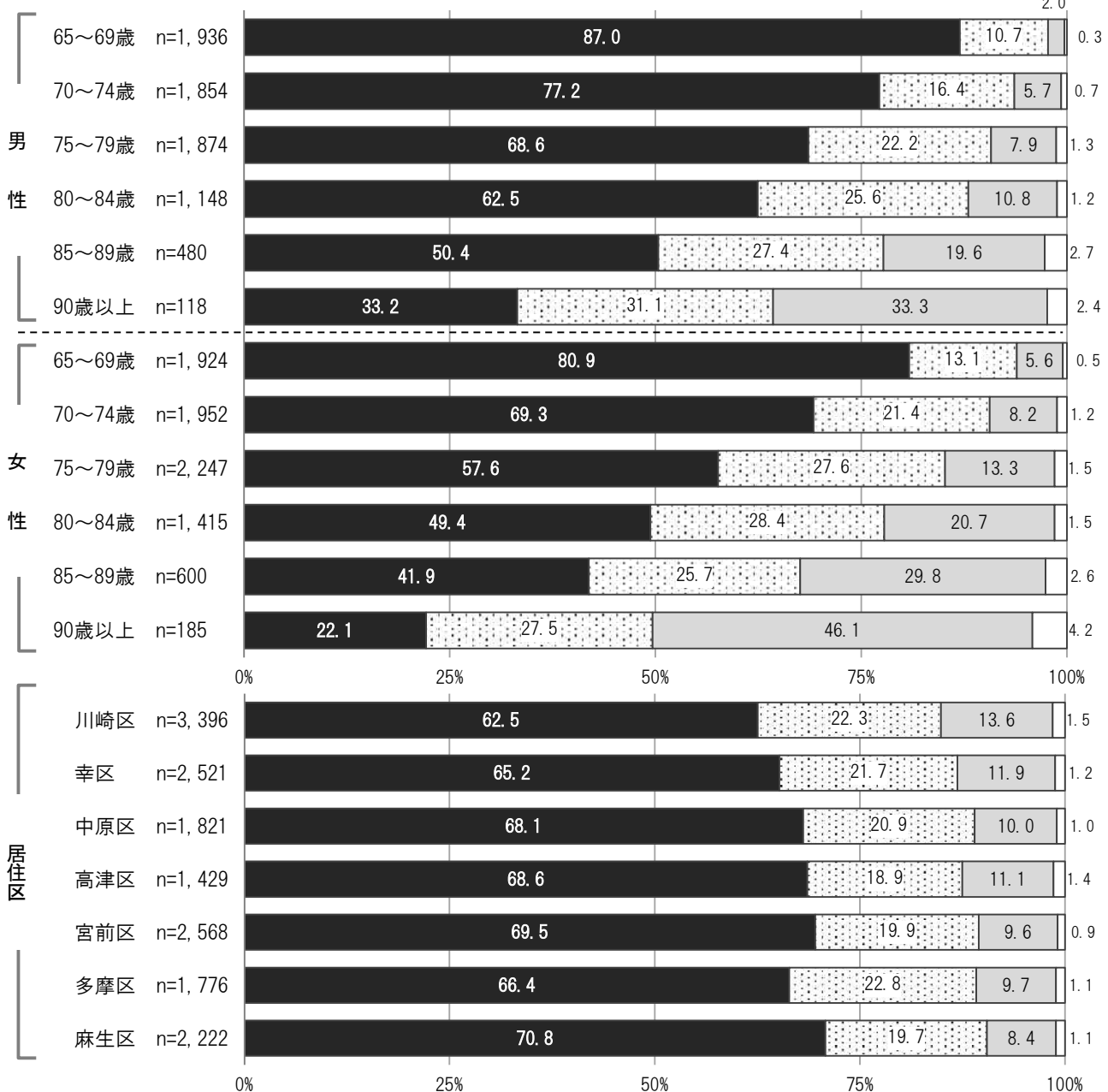
■ できるし、している ▨ できるけど、していない ■ できない □ 無回答



▶ 居住区別では「できるし、している」人の割合が「川崎区」で最も低く、「麻生区」で最も高くなっている

図表 2-5-25

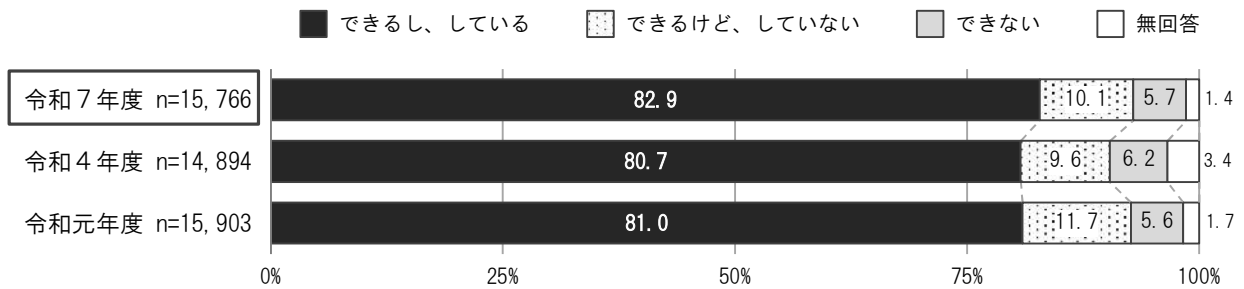
■ できるし、している ▨ できるけど、していない ■ できない □ 無回答



問10-⑩ 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つを選択)

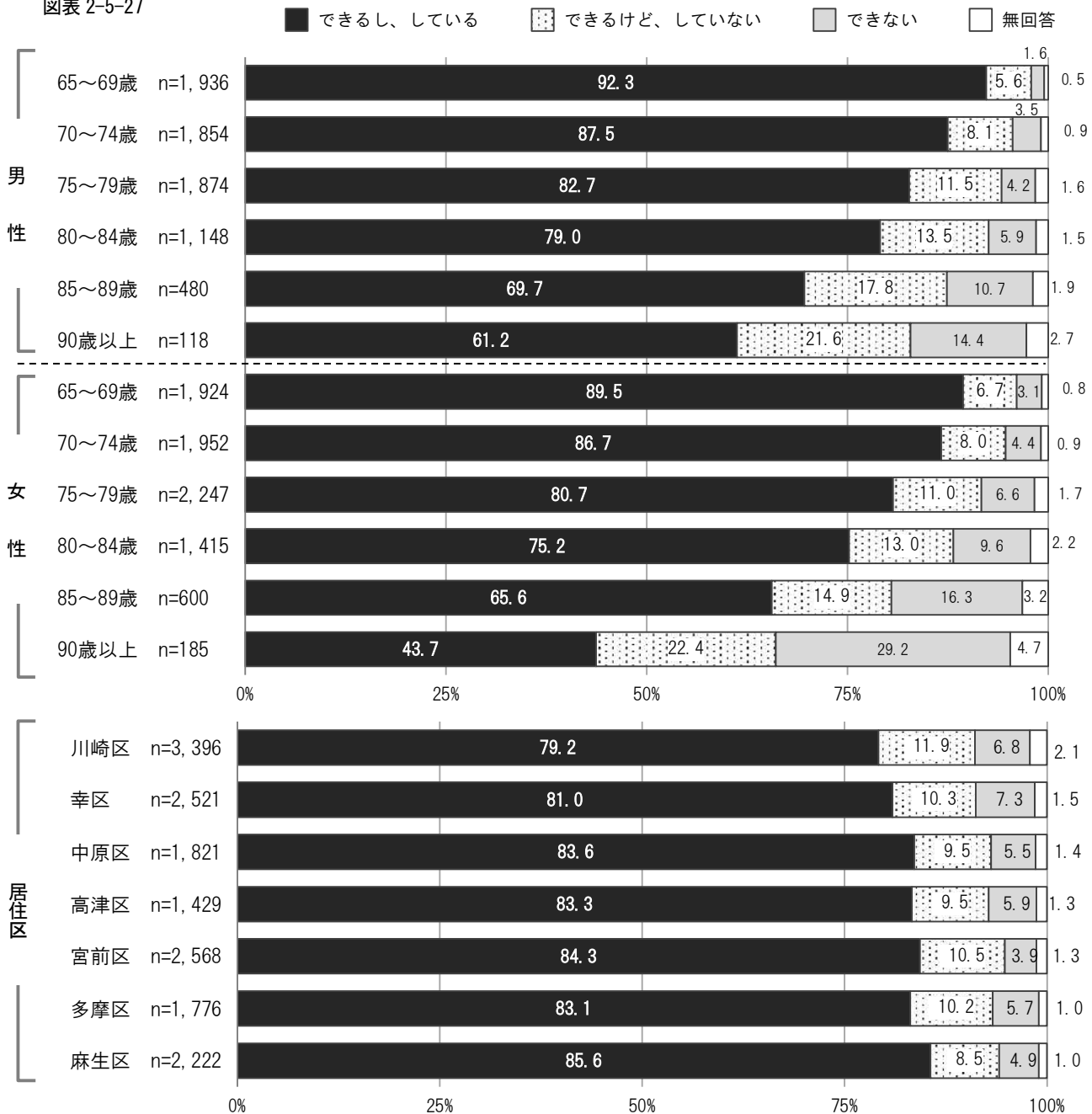
▶ 「できるし、している」人の割合は前回調査より微増し、8割を超えている

図表 2-5-26



▶ 居住区別では「できるし、している」人の割合が「川崎区」で最も低く、「麻生区」で最も高くなっている

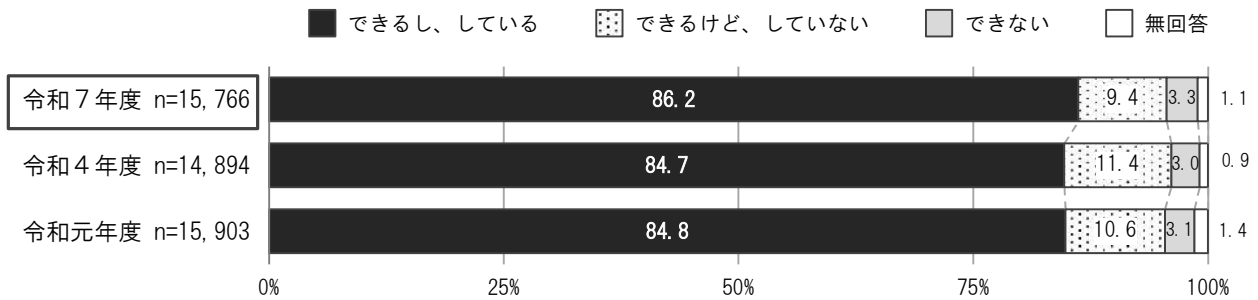
図表 2-5-27



問10-⑪ 15分くらい続けて歩いていますか。（1つを選択）

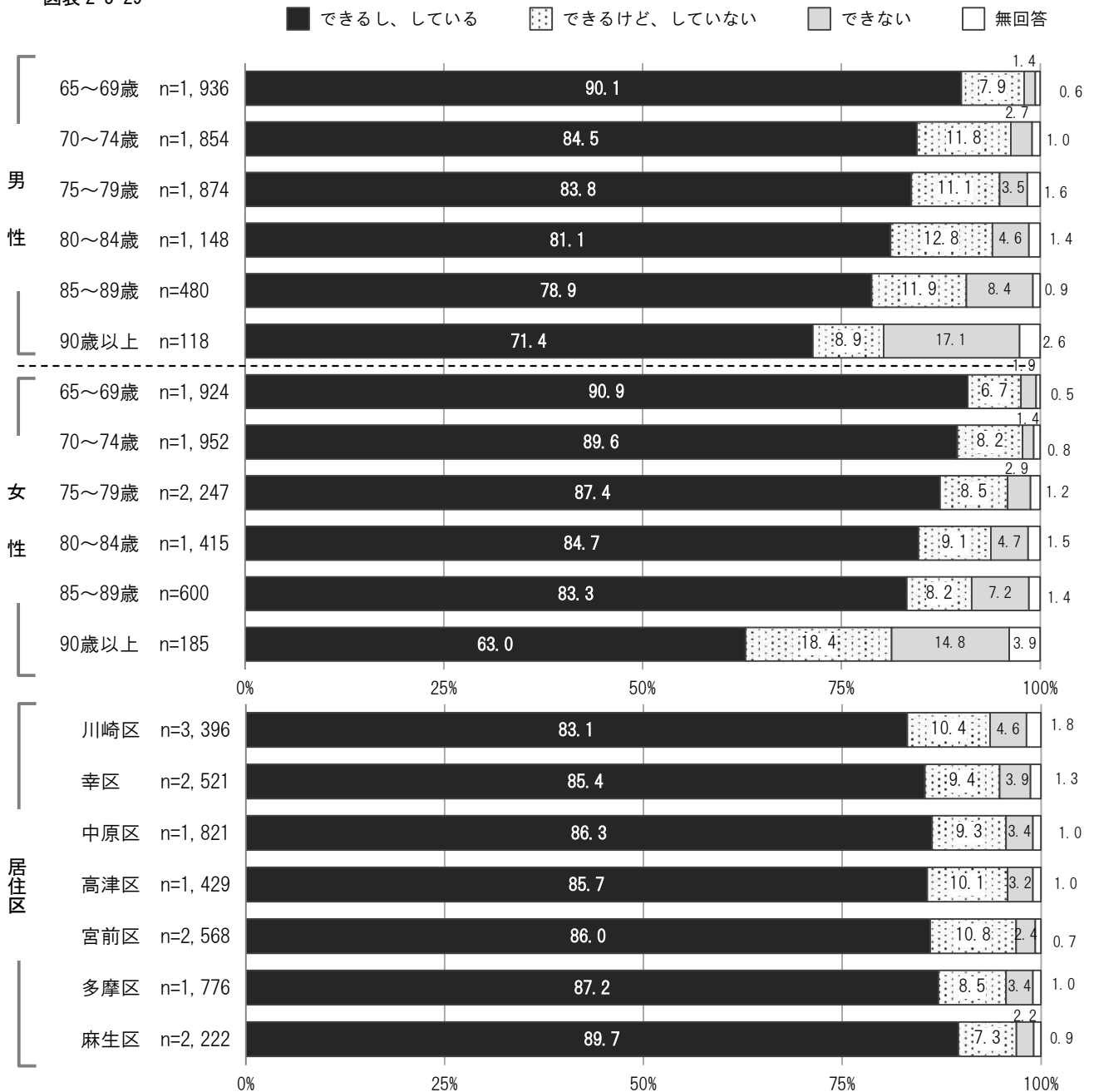
▶ 「できるし、している」人の割合は前回調査より微増し、8割を超えている

図表 2-5-28



▶ 居住区別では「できるし、している」人の割合が「川崎区」で最も低く、「麻生区」で最も高くなっている

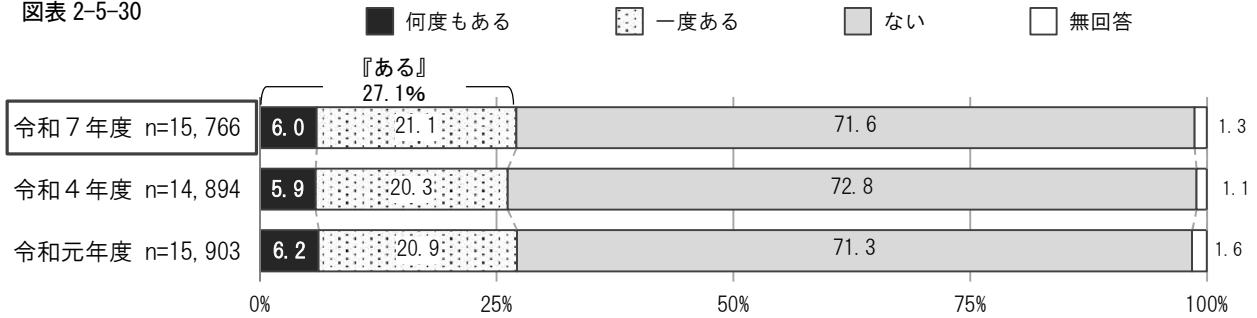
図表 2-5-29



問10-⑫ 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つを選択)

▶ 過去1年間に転倒の経験が『ある』人の割合は前回調査より微増し、3割弱となっている

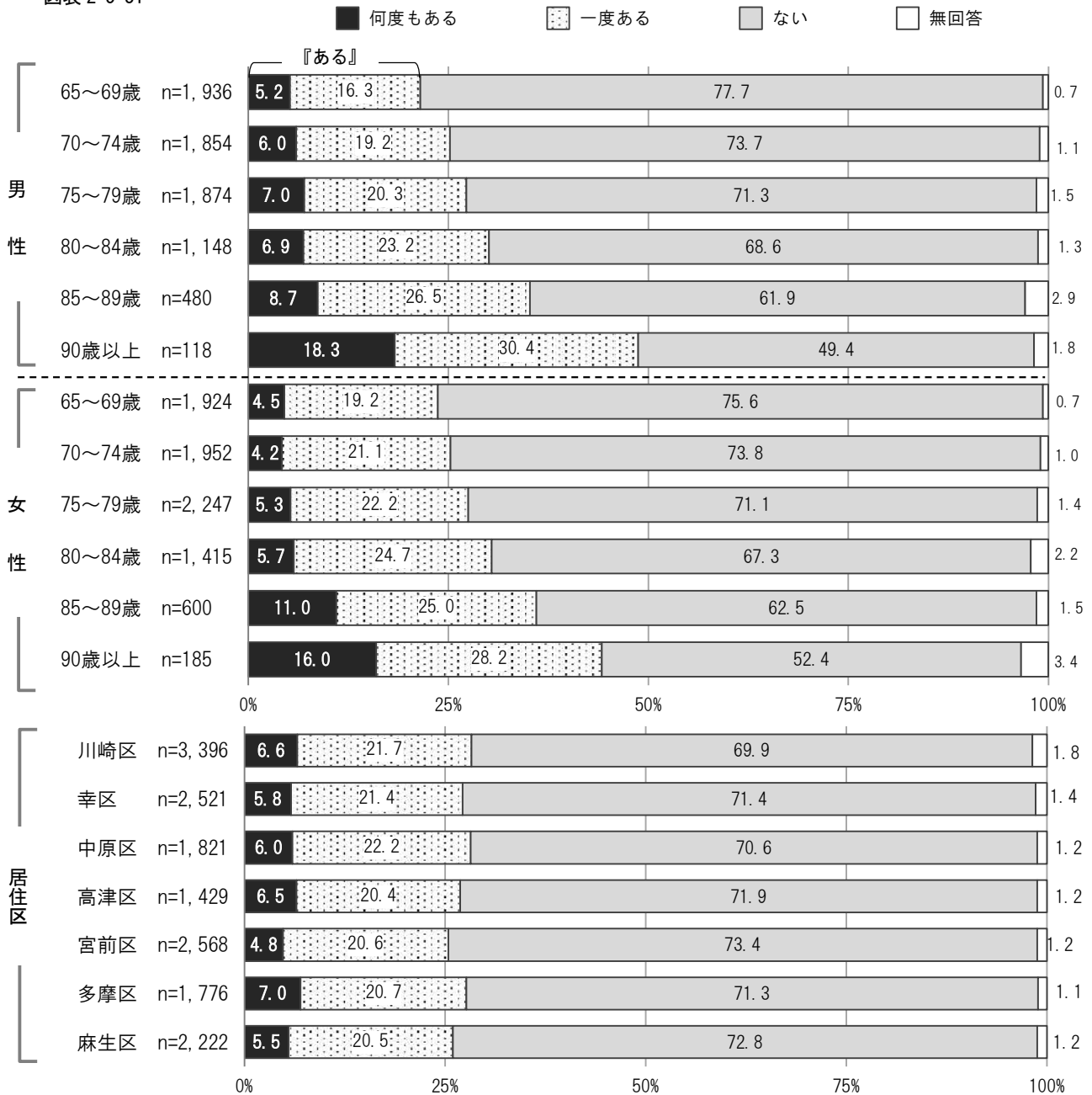
図表 2-5-30



※『ある』=「何どもある」+「一度ある」

▶ 男女ともに80歳以上で転倒の経験が『ある』人の割合が3割を上回っている

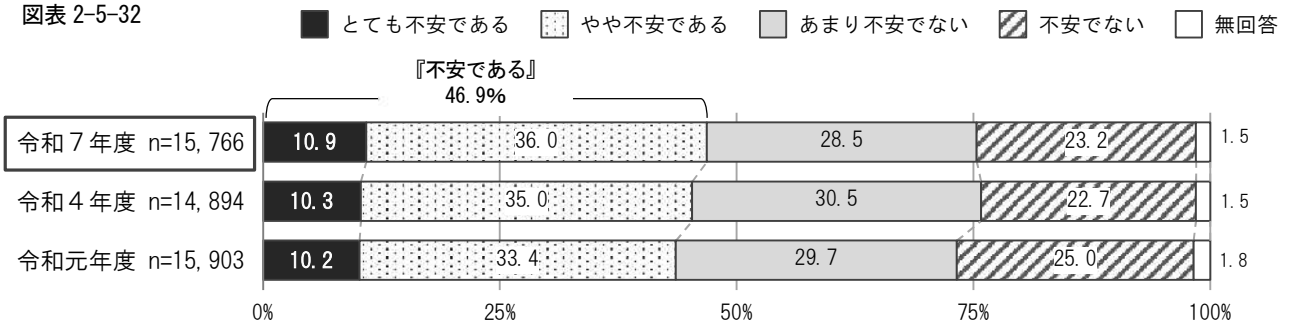
図表 2-5-31



問10-⑬ 転倒に対する不安は大きいですか。（1つを選択）

▶ 転倒に対して『不安である』人の割合が前回調査より微増し、5割弱となっている

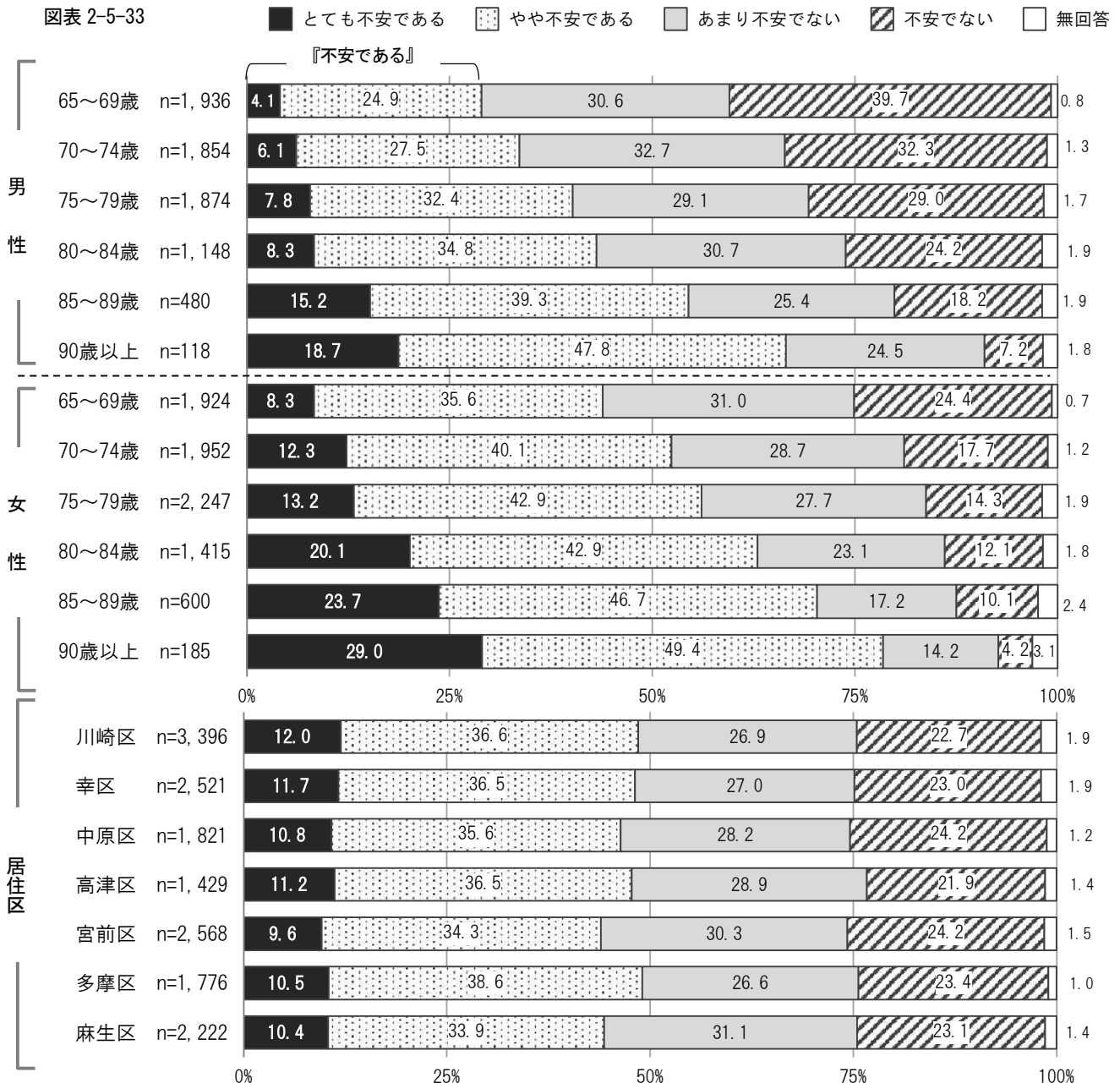
図表 2-5-32



※『不安である』=「とても不安である」+「やや不安である」

▶ 男性は85歳以上で、女性は70歳以上で転倒に対して『不安である』人の割合が5割を上回っている

図表 2-5-33



問11 あなたは1週間のうちどのくらい外出していますか。（1つを選択）

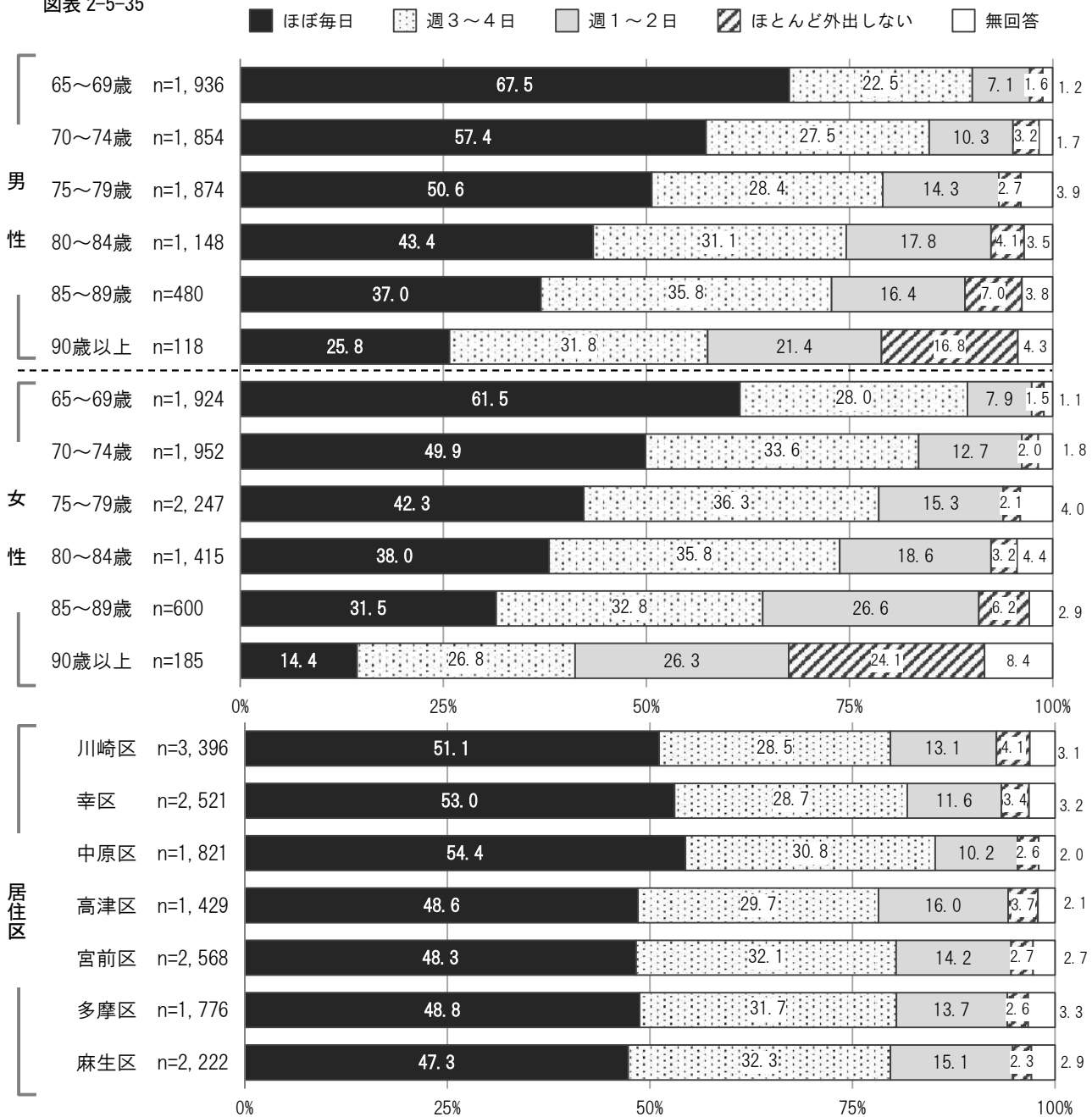
▶ 外出の頻度について、「ほぼ毎日」の割合が前回調査より変化はなく、約5割となっている

図表 2-5-34



▶ いずれの年代においても男性の方が「ほぼ毎日」外出している人の割合が高くなっており、居住区別では「川崎区」、「幸区」、「中原区」で5割を上回っている

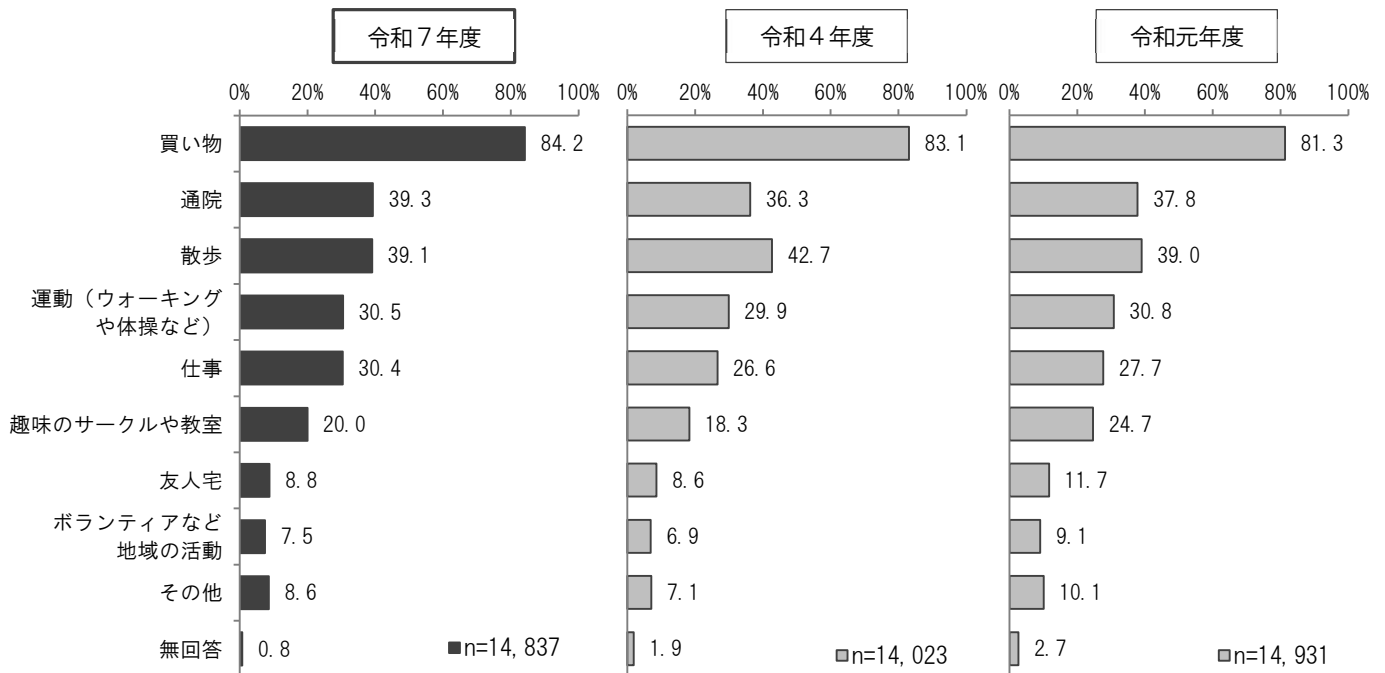
図表 2-5-35



問11-1 前問で「週1～2日」「週3～4日」「ほぼ毎日」と答えた方におうかがいします。
 主な外出先（外出理由）はどれですか。（あてはまるものすべてを選択）

▶ 外出先として「仕事」の割合が、前回調査より増加し、約3割となっている

図表 2-5-36



▶ 65～89歳の女性について、外出先として「買い物」の割合が約9割となっており、「趣味のサークルや教室」が2割を上回っている

▶ 70～74歳の男性について、外出先として「仕事」の割合が約4割となっている

図表 2-5-37

単位：%

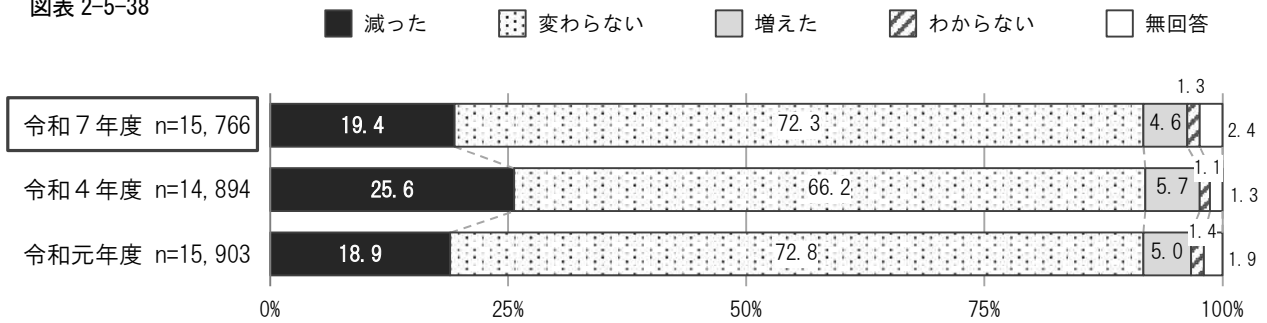
項目	回答者数（人）	買い物	通院	散歩	運動（ウォーキングや体操など）	仕事	趣味のサークルや教室	友人宅	ボランティアなど地域の活動	その他	
全体	14,837	84.2	39.3	39.1	30.5	30.4	20.0	8.8	7.5	8.6	
男性	65～69歳	1,880	78.0	28.3	34.4	32.8	60.3	11.9	4.2	4.9	8.2
	70～74歳	1,764	77.8	33.7	40.9	32.2	42.0	12.1	4.8	6.6	7.9
	75～79歳	1,760	77.8	38.4	48.8	32.0	27.5	13.8	4.2	9.3	8.5
	80～84歳	1,056	75.3	41.2	51.5	31.6	17.4	15.9	6.6	8.3	6.8
	85～89歳	421	76.0	42.4	50.0	34.2	7.3	16.5	2.7	6.0	7.7
	90歳以上	92	79.7	49.5	49.2	15.6	4.1	11.5	1.3	5.3	11.4
女性	65～69歳	1,871	88.4	35.0	30.4	27.5	47.1	22.9	11.1	8.2	10.7
	70～74歳	1,876	91.1	39.9	34.5	30.8	29.0	28.1	11.2	8.2	9.4
	75～79歳	2,102	91.3	46.0	37.7	30.7	17.8	25.6	14.6	8.4	8.4
	80～84歳	1,319	89.5	48.5	39.7	28.7	8.1	27.1	13.9	7.7	8.7
	85～89歳	539	91.6	52.0	36.7	26.5	3.2	29.7	12.4	5.7	6.7
	90歳以上	128	80.1	51.4	28.8	13.8	2.8	12.0	6.2	5.6	13.9

※「無回答」は掲載を省略

問12 あなたは昨年に比べて外出頻度はどうなりましたか。(1つを選択)

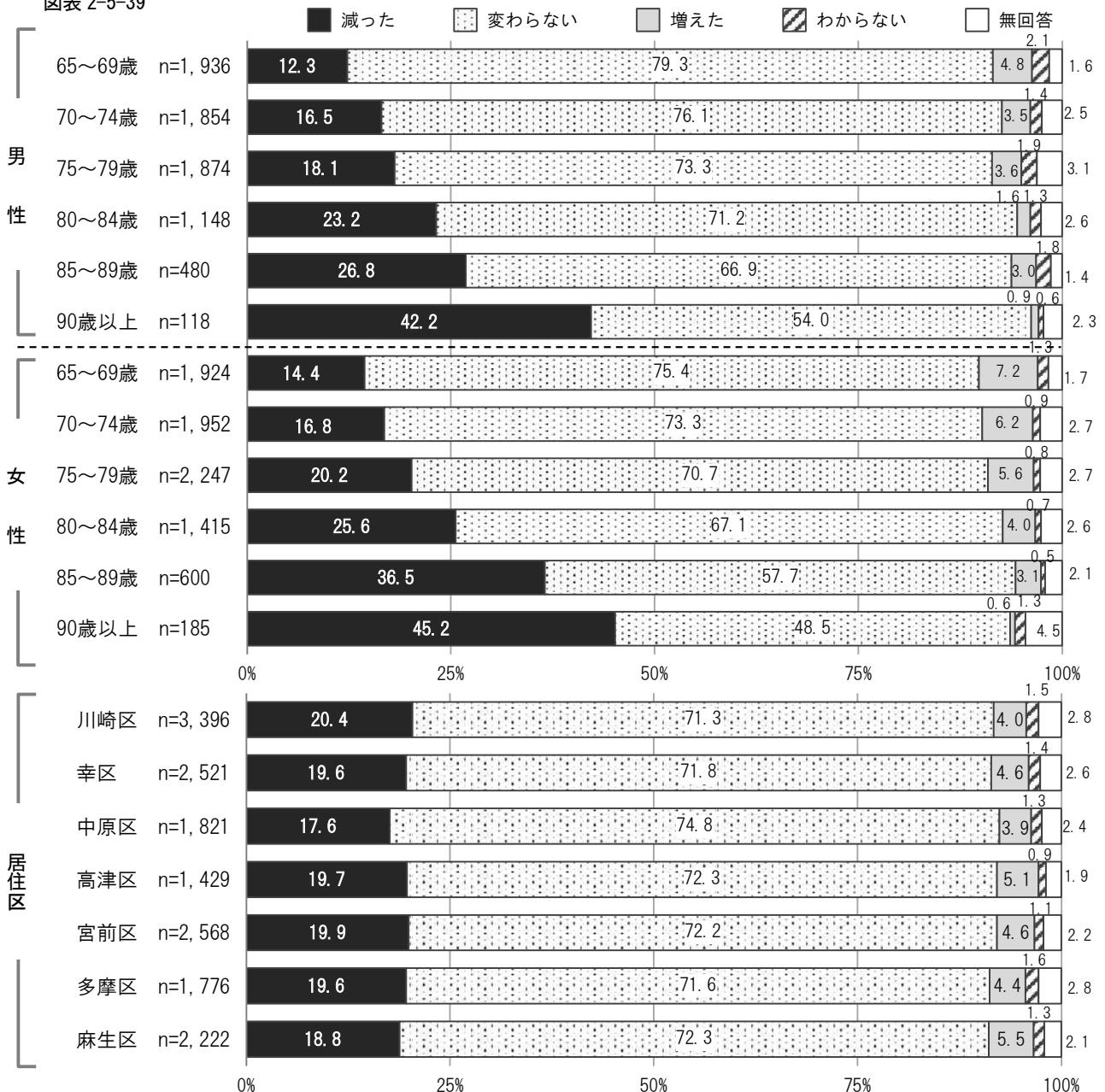
▶ 外出の頻度について、「減った」と感じる人の割合が前回調査より減少し、2割を下回っている

図表 2-5-38



▶ 男女ともに90歳以上で外出頻度が「減った」と感じる人の割合が4割を上回っている

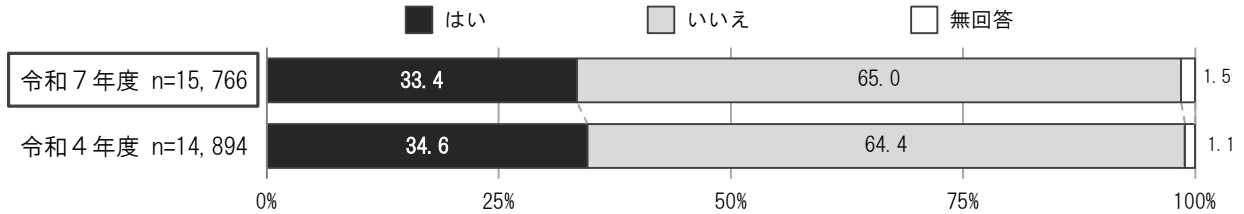
図表 2-5-39



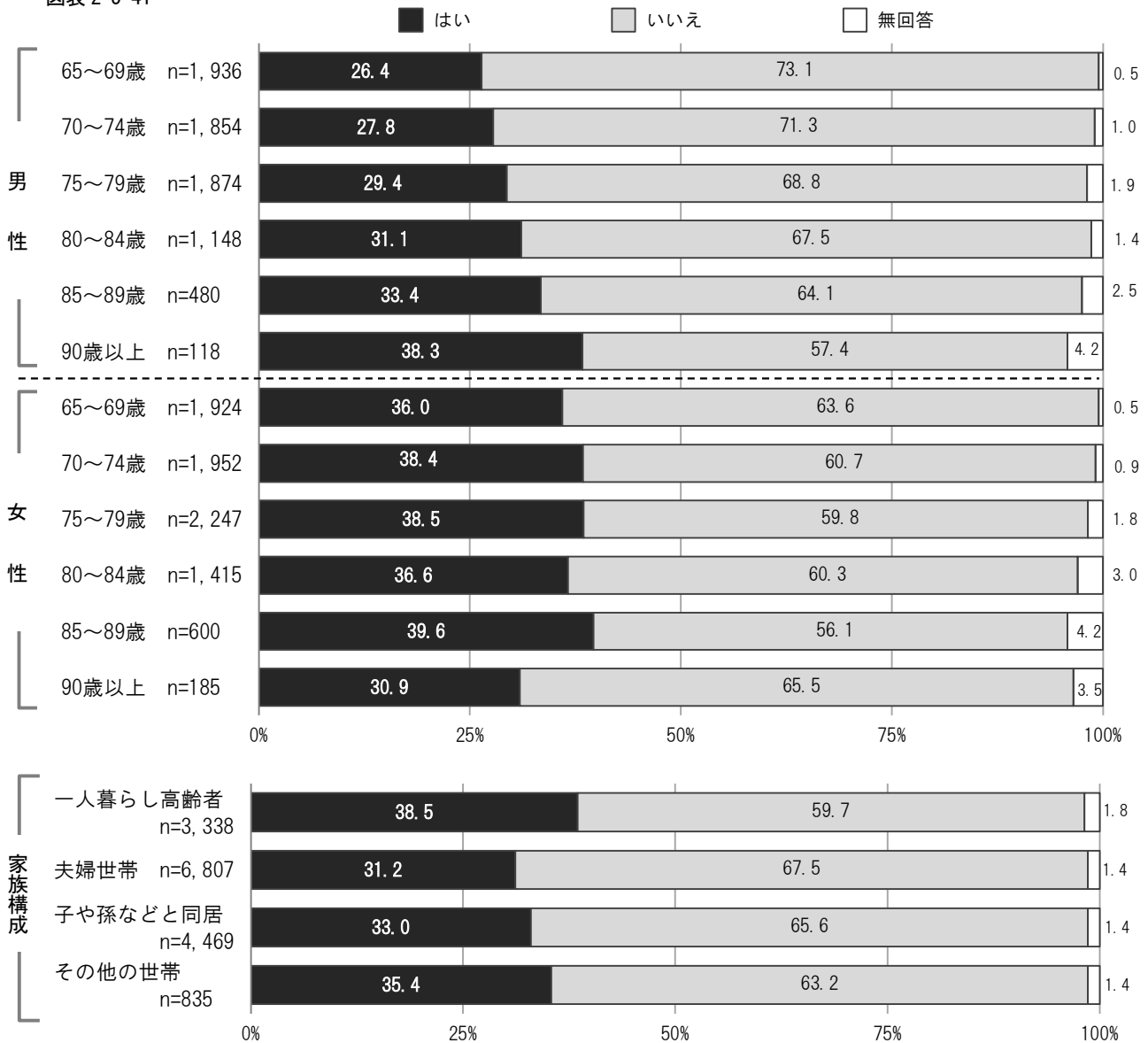
問13 あなたはこの1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。（1つを選択）

▶ この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったと感じた人の割合は、前回調査より微減している

図表 2-5-40



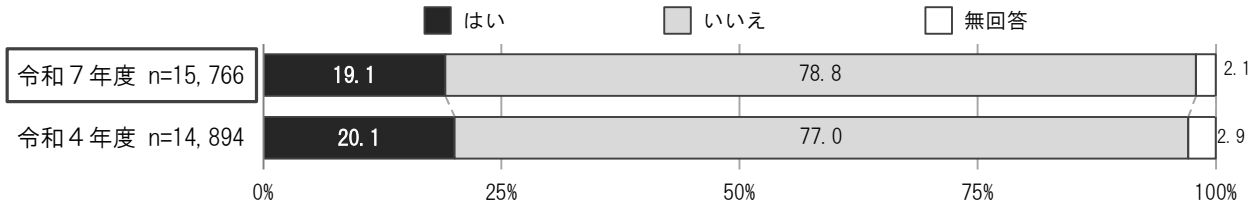
図表 2-5-41



問14 あなたはこの1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つを選択)

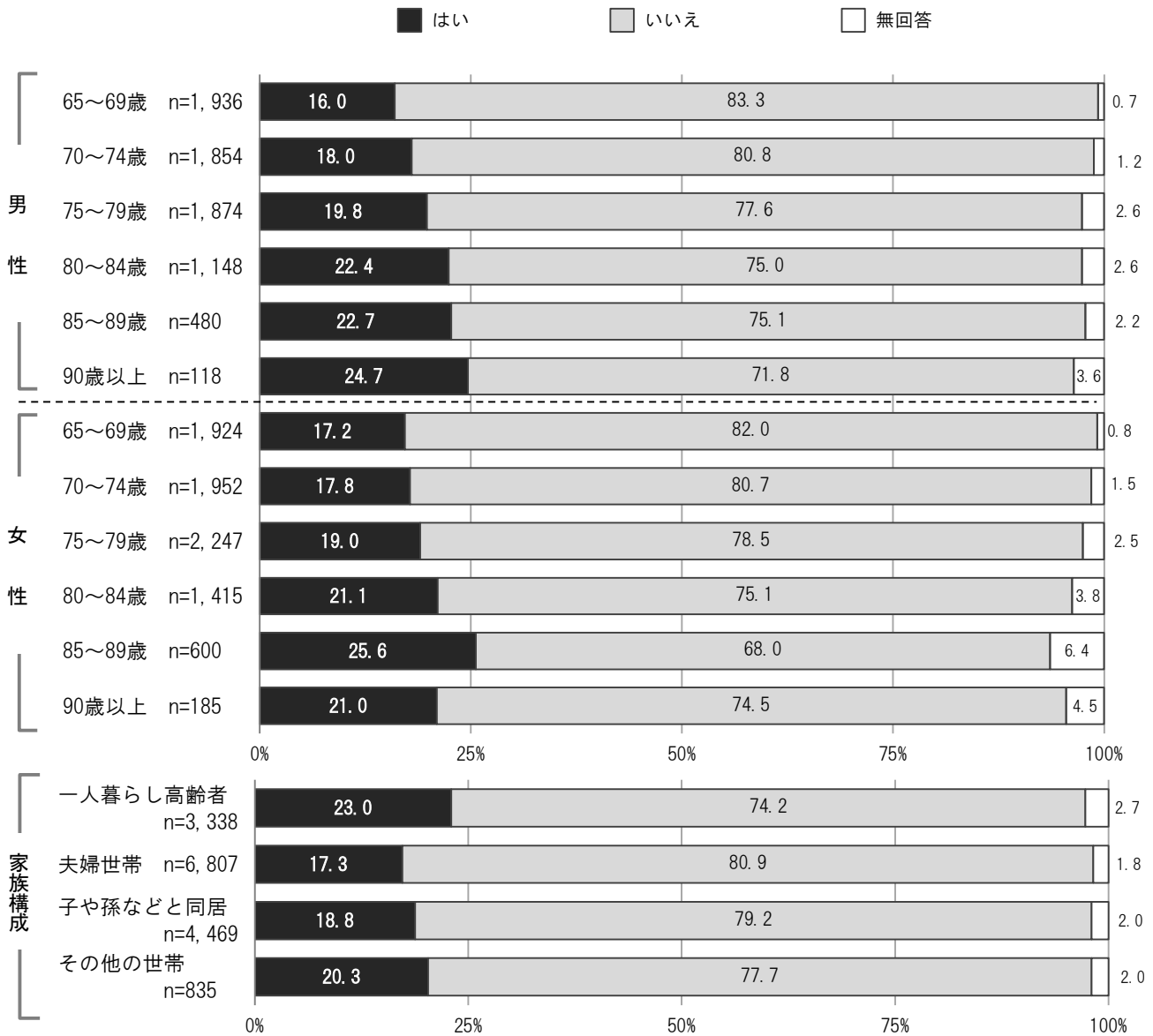
▶ この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがあったと感じた人の割合は、前回調査より微減し、約2割となっている

図表 2-5-42



▶ 男女ともに80歳以上の人について、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがあったと感じた人の割合が2割を上回っている

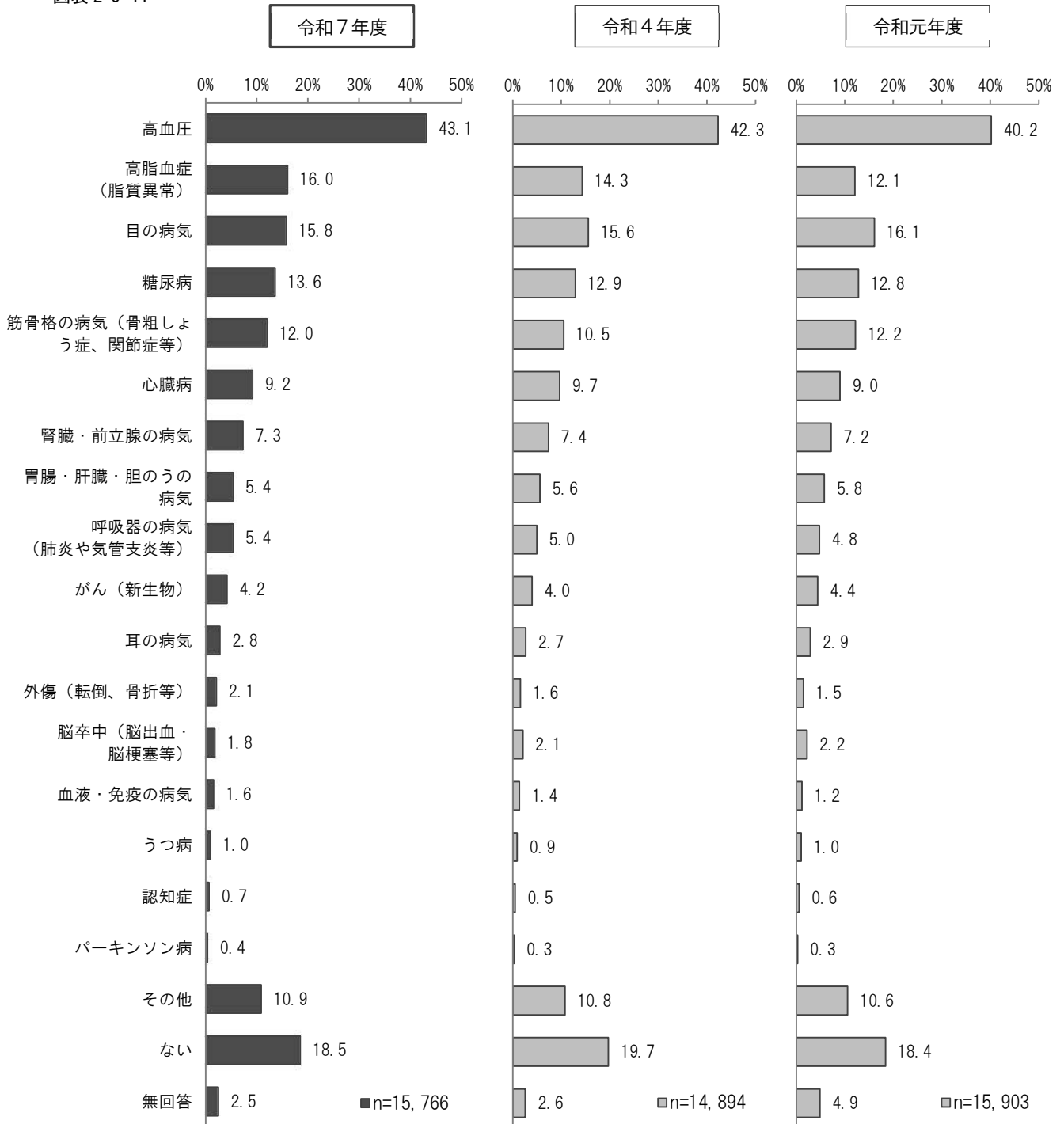
図表 2-5-43



問15 あなたは現在、治療中の病気が次の中にありますか。(あてはまるものすべてを選択)

▶ 治療中の病気について、「高血圧」の割合が4割を超えて最も高くなっており、治療中の病気が「ない」人については約2割となっている

図表 2-5-44



- ▶ 男性と女性で比較すると「心臓病」や65～74歳の「高血圧」については男性の割合が高くなる一方、65歳以上の男性と女性で比較すると「筋骨格の病気」については女性の割合が高くなっている
- ▶ 居住区別では「川崎区」で「高血圧」の割合が高くなっている

図表 2-5-45 (治療中の病気上位10項目)

単位：%

項目		回答者数(人)	高血圧	高脂血症(脂質異常)	目の病気	糖尿病	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、 関節症等)	心臓病	腎臓・前立腺の病気	胃腸・肝臓・胆のうの病気	呼吸器の病気 (肺炎や 気管支炎等)	がん(新生物)	ない
全体		15,766	43.1	16.0	15.8	13.6	12.0	9.2	7.3	5.4	5.4	4.2	18.5
男性	65～69歳	1,936	42.2	17.5	12.7	13.7	3.0	8.0	7.7	4.7	4.3	2.2	25.7
	70～74歳	1,854	45.8	15.6	12.5	19.1	3.8	11.3	13.8	4.1	5.2	5.1	19.0
	75～79歳	1,874	47.6	13.1	14.1	20.2	4.8	14.2	15.5	5.1	6.4	5.3	15.6
	80～84歳	1,148	49.1	8.8	18.8	20.2	5.2	16.9	18.7	5.9	5.6	7.9	13.4
	85～89歳	480	49.7	7.3	16.8	13.7	3.8	16.6	19.6	8.6	8.5	4.3	13.8
	90歳以上	118	44.7	8.1	16.3	8.5	4.2	15.9	18.1	4.4	6.9	9.4	15.6
女性	65～69歳	1,924	30.2	20.1	13.7	8.2	15.5	3.3	1.1	4.7	5.3	2.9	27.0
	70～74歳	1,952	35.4	19.9	15.7	10.1	18.0	4.5	1.4	5.6	4.7	3.5	20.8
	75～79歳	2,247	43.6	18.7	18.5	10.4	21.6	7.9	2.0	6.0	6.5	4.3	14.8
	80～84歳	1,415	48.7	15.8	20.5	11.9	19.7	8.9	1.8	5.0	3.9	3.7	12.3
	85～89歳	600	54.2	10.8	19.5	11.0	20.8	10.4	2.1	8.7	5.3	3.8	11.0
	90歳以上	185	51.7	4.6	14.9	6.5	17.5	9.0	1.7	6.2	8.6	0.4	14.8
家族構成	一人暮らし高齢者	3,338	43.4	14.1	17.1	12.6	13.6	9.6	6.0	6.0	6.0	4.1	18.5
	夫婦世帯	6,807	42.5	16.9	15.3	14.2	10.5	9.4	8.5	5.2	5.2	4.4	19.1
	子や孫など同居	4,469	44.4	16.3	15.7	13.8	13.2	8.8	6.8	5.2	5.2	4.0	17.1
	その他の世帯	835	39.1	15.8	15.4	10.4	11.1	9.0	5.5	5.9	5.7	2.7	21.0
居住区	川崎区	3,396	47.3	15.8	14.5	15.7	11.1	11.4	7.0	5.5	6.0	4.4	17.3
	幸区	2,521	44.7	14.9	18.4	15.1	11.6	8.8	6.5	6.3	5.8	4.4	16.2
	中原区	1,821	40.6	17.9	15.7	13.7	11.7	8.9	8.0	5.4	4.4	3.9	20.2
	高津区	1,429	41.2	14.9	14.9	12.6	12.5	8.6	6.9	4.6	4.7	4.2	18.6
	宮前区	2,568	43.2	14.5	14.6	13.1	11.9	8.5	7.6	4.6	6.0	4.1	18.6
	多摩区	1,776	43.0	16.3	16.2	12.4	13.1	8.5	7.0	5.5	5.8	3.5	19.7
	麻生区	2,222	41.0	17.5	16.8	12.5	11.8	9.8	8.1	6.0	5.2	4.6	18.4

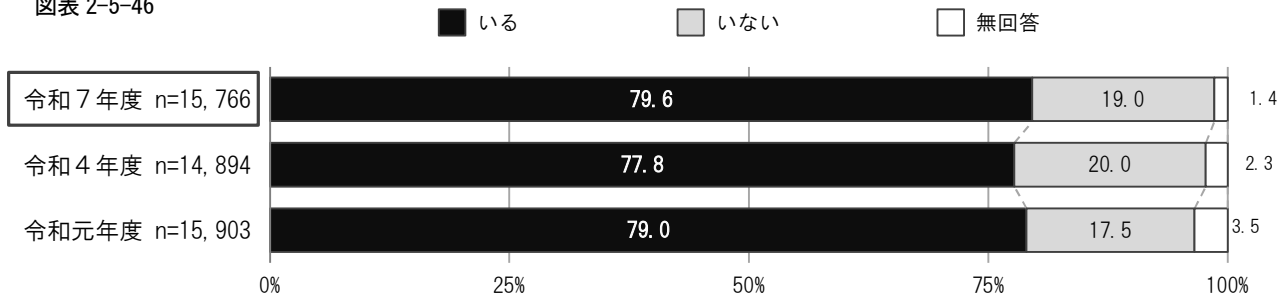
※上位10項目と「ない」を掲載

※「その他」「無回答」は掲載を省略

問16 あなたはご近所にかかりつけ医がいますか。（1つを選択）

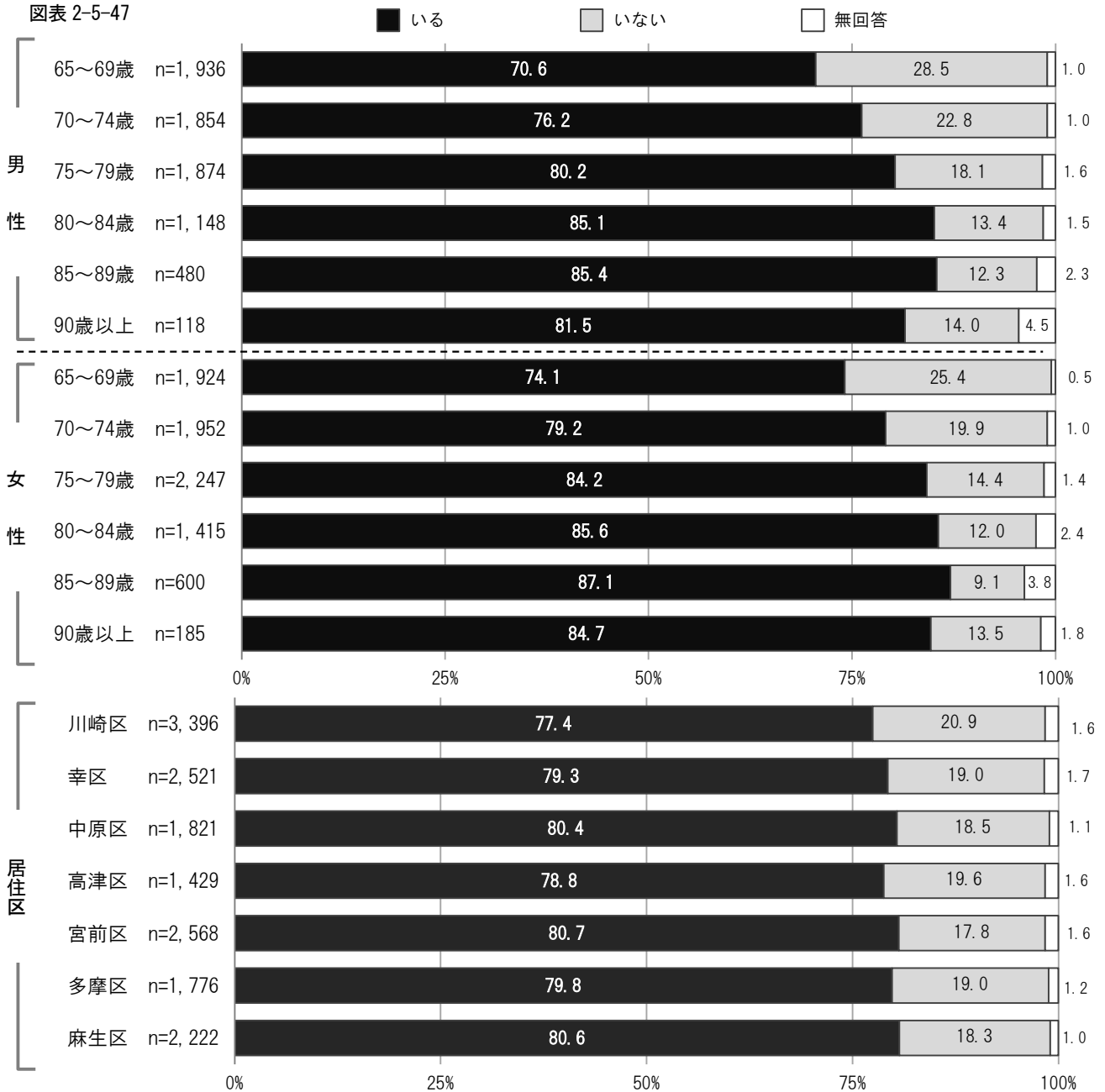
▶ かかりつけ医が「いる」人の割合が前回調査より微増し、約8割となっている

図表 2-5-46



▶ 男女ともに75歳以上の人について、かかりつけ医が「いる」人の割合が8割を上回っている

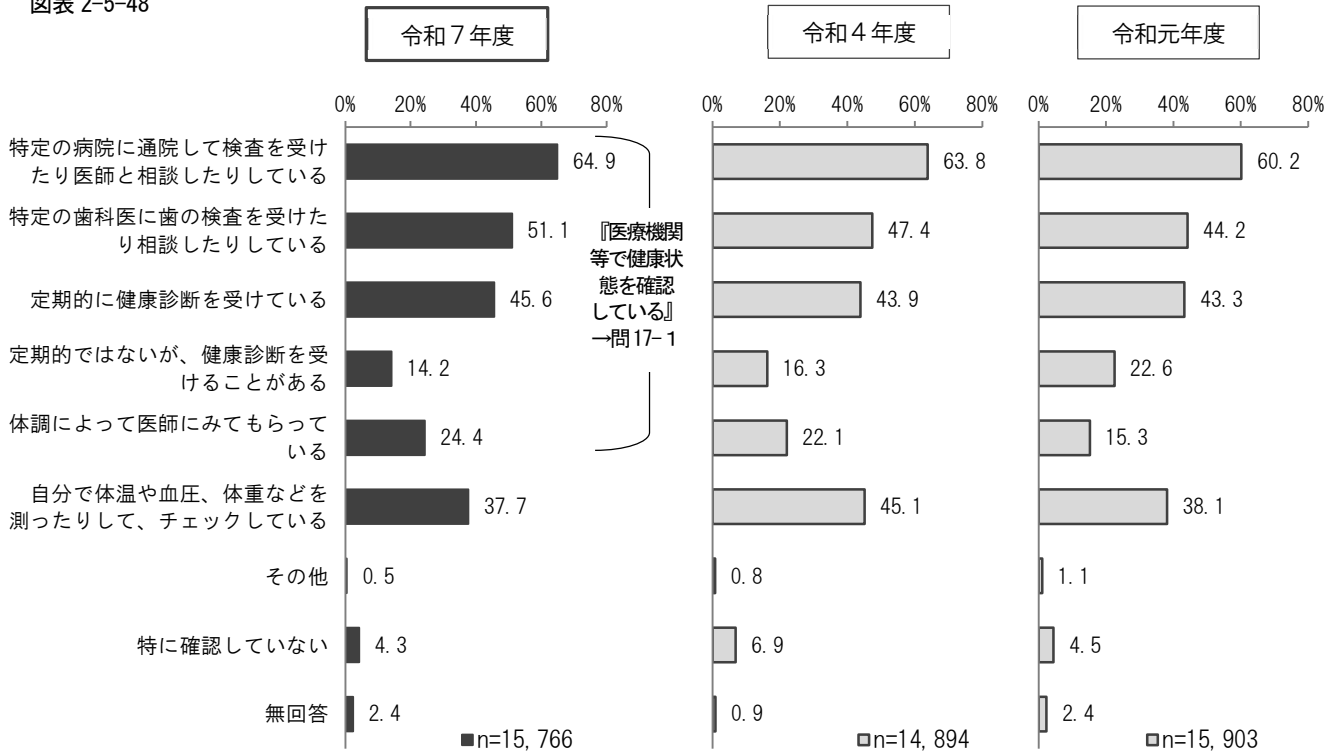
図表 2-5-47



問17 あなたは日ごろご自分の健康状態を確認していますか。(あてはまるものすべてを選択)

▶ 「特定の歯科医(かかりつけ歯科医)に歯の検査を受けたり相談したりしている」人の割合が前回調査より増加し、約5割となっている

図表 2-5-48



図表 2-5-49

単位：%

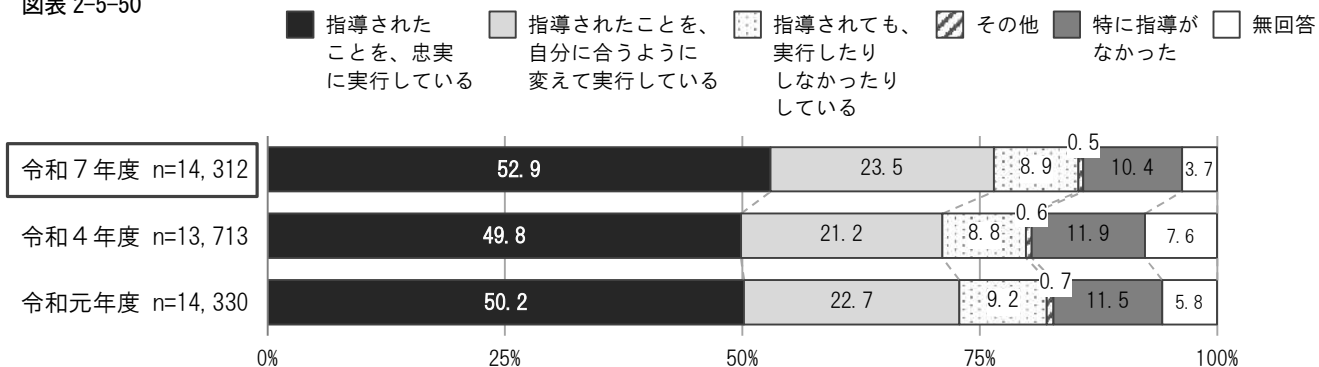
項目	回答者数(人)	特定の病院に通院して検査を受けたり医師と相談したりしている	特定の歯科医に歯の検査を受けたり相談したりしている	定期的に健康診断を受けている	定期的ではないが、健康診断を受けることがある	体調によって医師にみてもらっている	自分で体温や血圧、体重などを測ったりして、チェックしている	その他	特に確認していない	
全体	15,766	64.9	51.1	45.6	14.2	24.4	37.7	0.5	4.3	
男性	65~69歳	1,936	58.6	44.1	58.4	9.6	18.8	33.8	0.4	5.3
	70~74歳	1,854	66.6	45.2	47.1	11.2	20.5	35.6	0.5	5.6
	75~79歳	1,874	68.7	46.0	41.6	12.9	20.4	37.3	0.5	5.6
	80~84歳	1,148	70.4	45.2	43.0	14.2	21.6	42.1	0.6	2.2
	85~89歳	480	65.6	45.4	46.0	14.2	23.2	38.2	0.6	4.5
	90歳以上	118	57.9	31.1	45.6	19.2	24.6	40.8	-	5.1
女性	65~69歳	1,924	59.6	55.9	50.4	13.8	26.6	32.4	0.6	4.0
	70~74歳	1,952	62.9	58.1	43.5	17.0	27.1	34.7	0.6	4.2
	75~79歳	2,247	67.7	60.0	40.0	17.2	27.7	40.6	0.7	3.5
	80~84歳	1,415	65.8	55.2	42.3	16.7	29.7	45.1	0.6	3.4
	85~89歳	600	69.6	49.6	39.9	16.2	30.7	47.0	0.4	3.7
	90歳以上	185	67.5	41.0	35.9	16.8	33.8	39.3	1.6	4.5

※「無回答」は掲載を省略

問17-1 (『医療機関等で自分の健康状態を確認している』人)
 どのように対応しましたか。(1つを選択)

▶ 医療機関等で自分の健康状態を確認している人のうち、医療機関等からの指導に対して「指導されたことを、忠実に実行している」人の割合は前回調査より増加し、5割を超えている

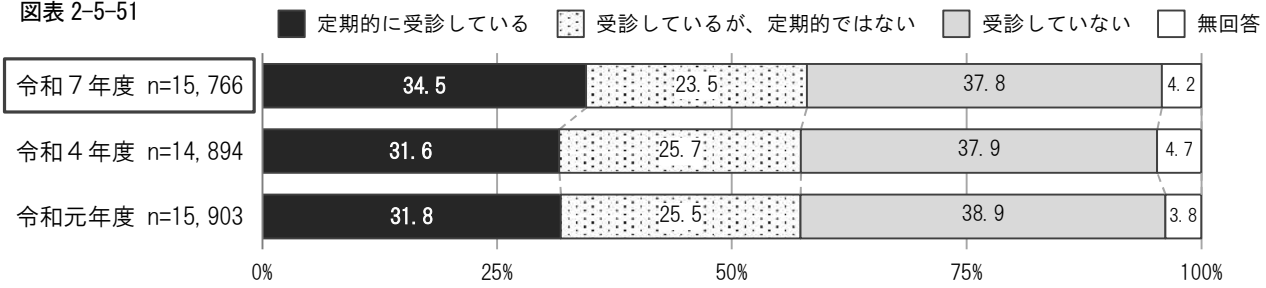
図表 2-5-50



問18 がん検診を定期的に受診していますか。（1つを選択）

▶ がん検診を「定期的に受診している」人の割合は前回調査より増加し、3割を超えている

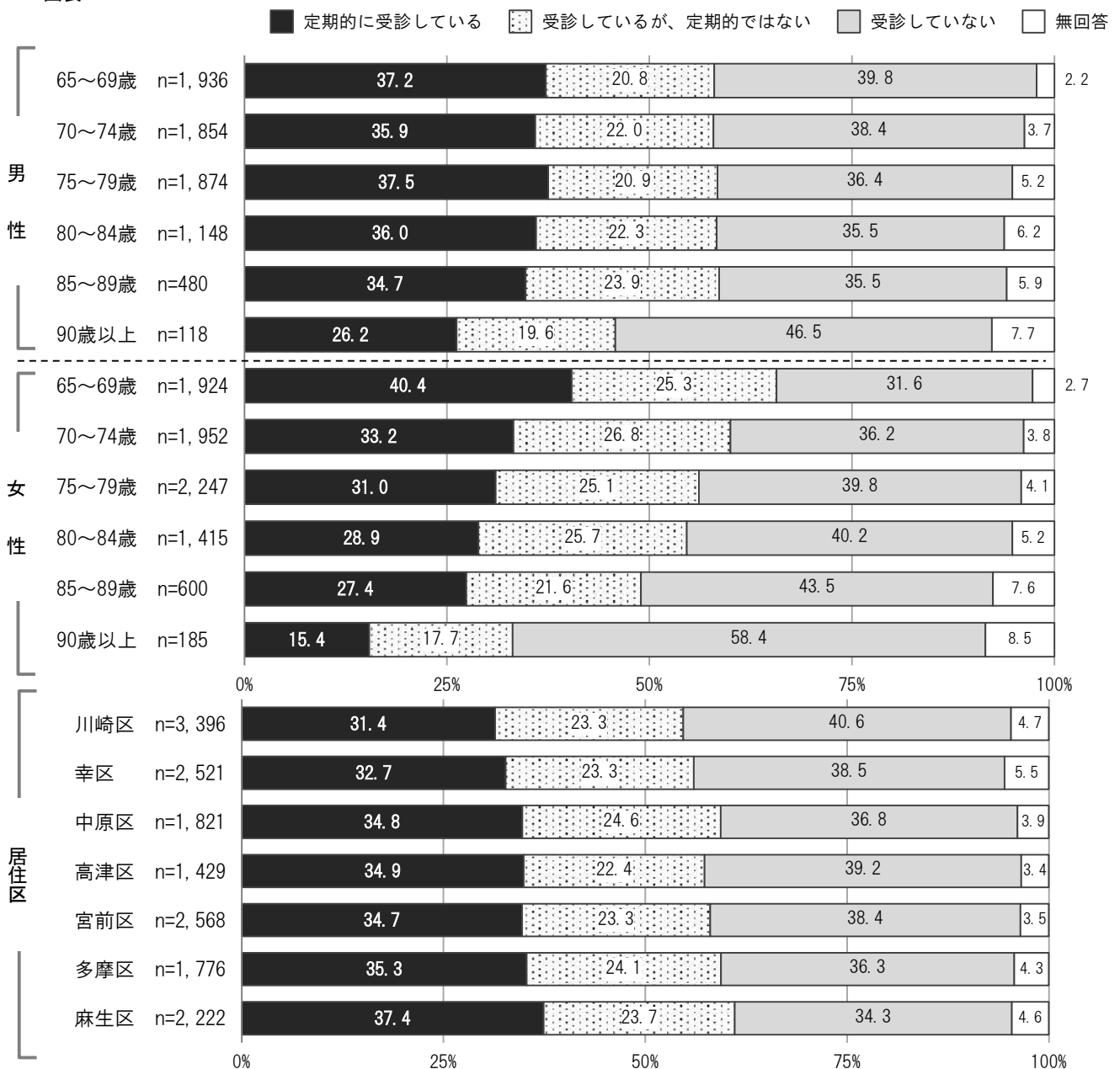
図表 2-5-51



▶ がん検診を「定期的に受診している」人の割合について、男性は65～89歳では3割を上回っている一方、女性は年齢が上がるにつれ割合が低くなる傾向となっている

▶ 居住区別では「麻生区」で受診している人の割合が高くなっている

図表 2-5-52

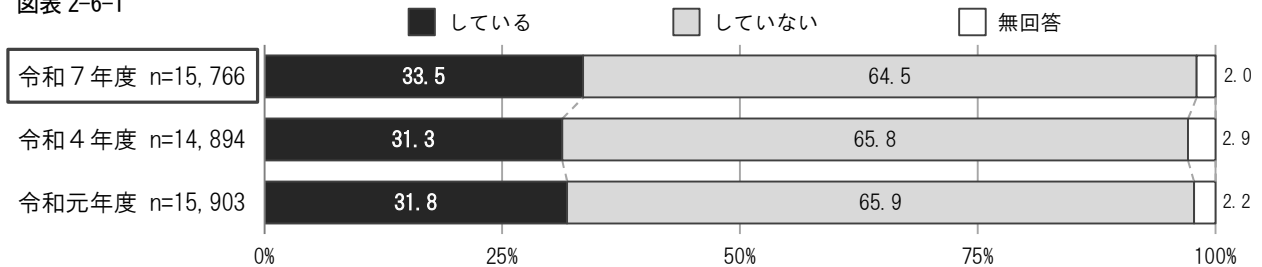


6 就労状況について

問19 あなたは現在、収入がともなう仕事をしていますか。（1つを選択）

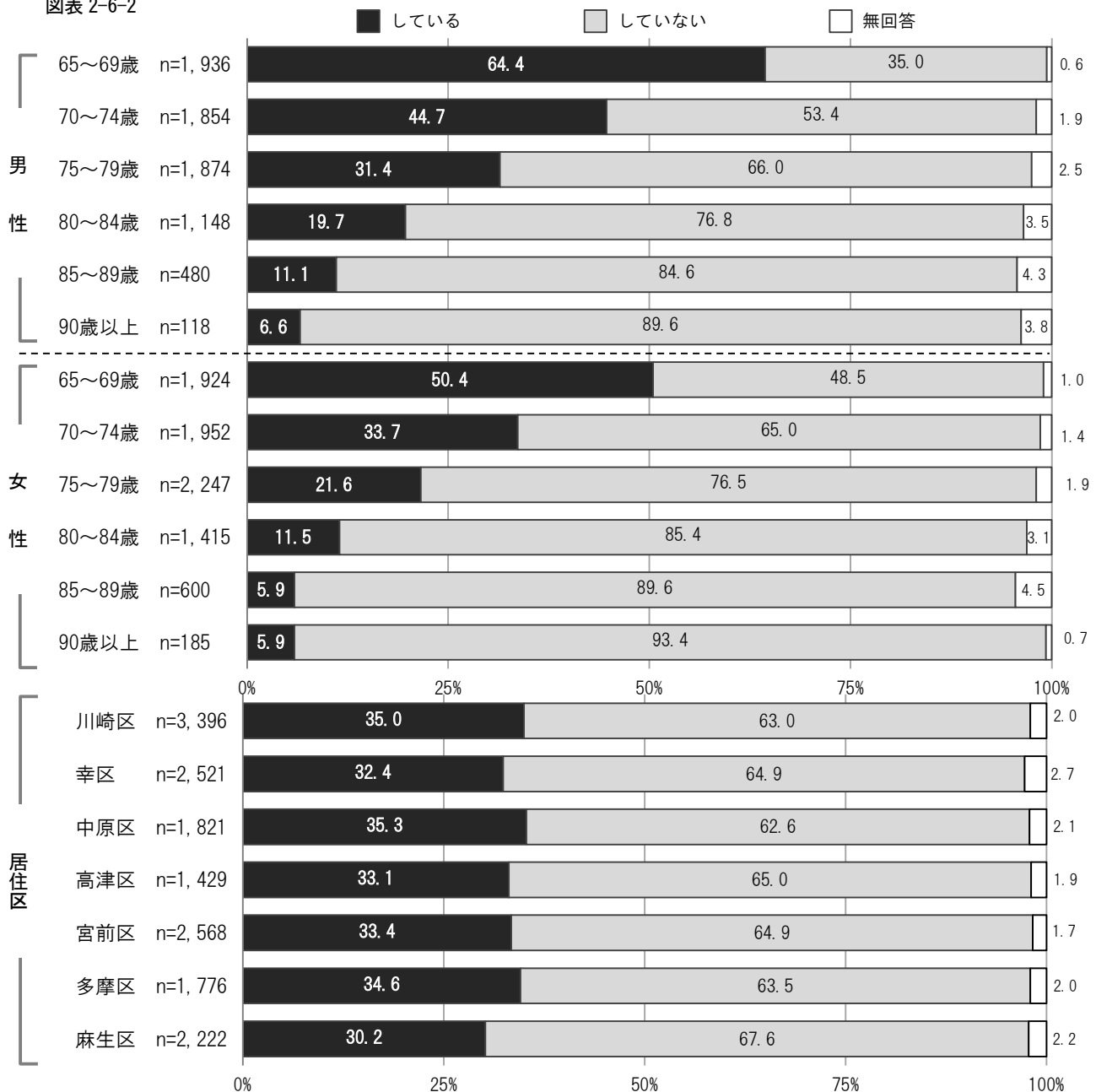
▶ 収入がともなう仕事をしている人の割合は前回調査より微増し、3割を超えている

図表 2-6-1



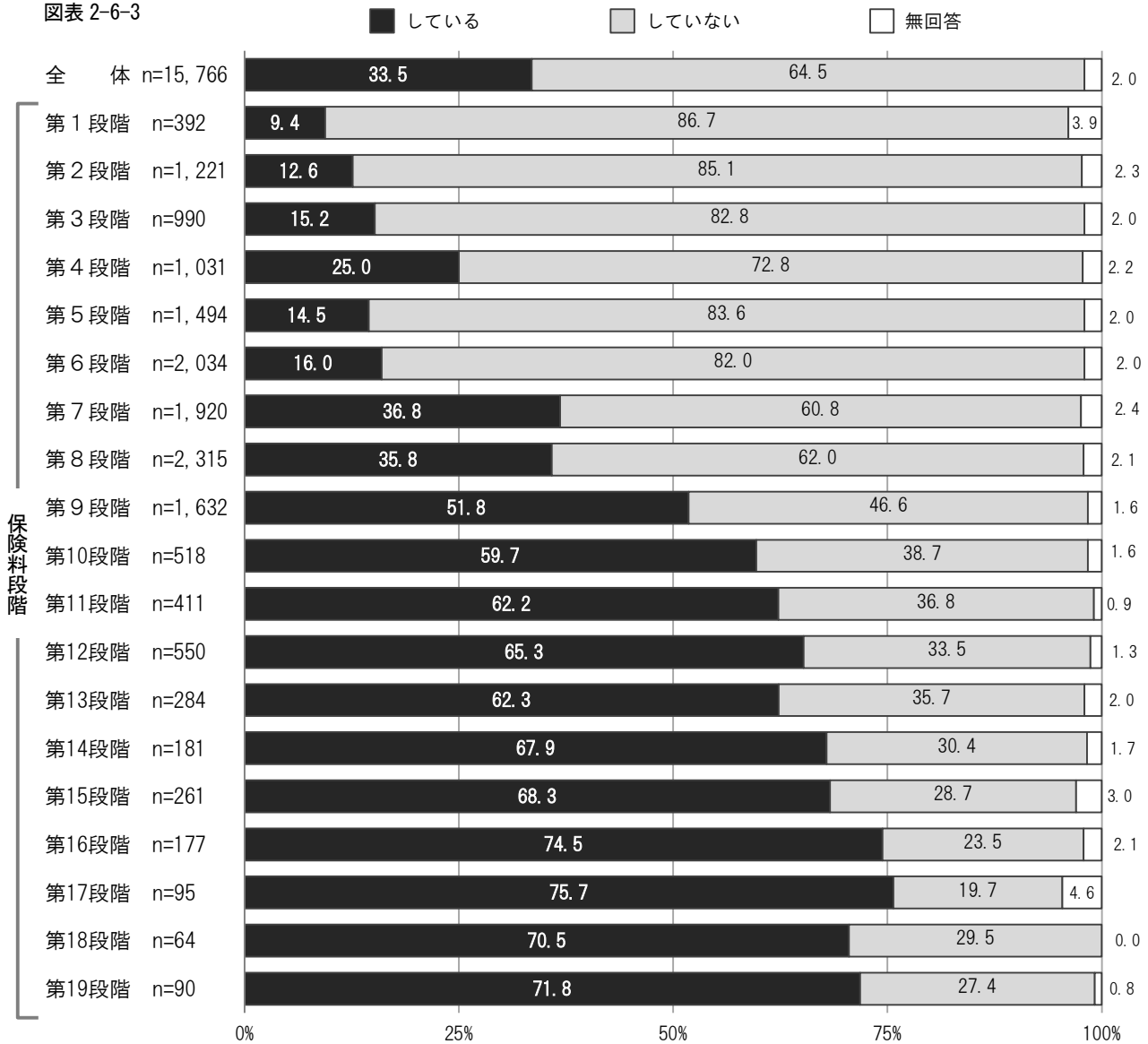
▶ 男性は79歳まで、女性は74歳までの人について、収入がともなう仕事をしている人の割合が3割を上回っている

図表 2-6-2



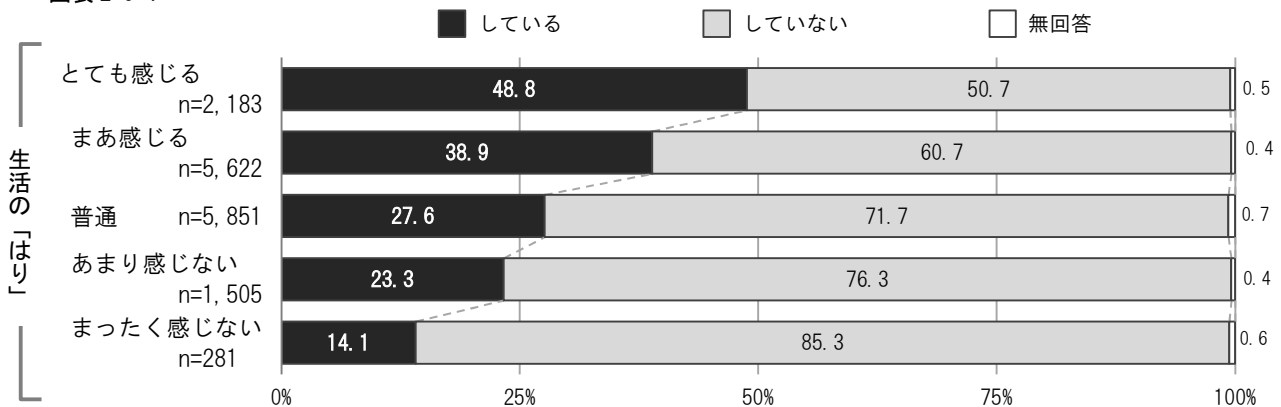
▶ 保険料段階の第9段階以上の人について、収入がともなう仕事をしている人の割合が5割を上回っている

図表 2-6-3



▶ 生活の「はり」を「とても感じる」人について、収入がともなう仕事をしている割合が高くなっている

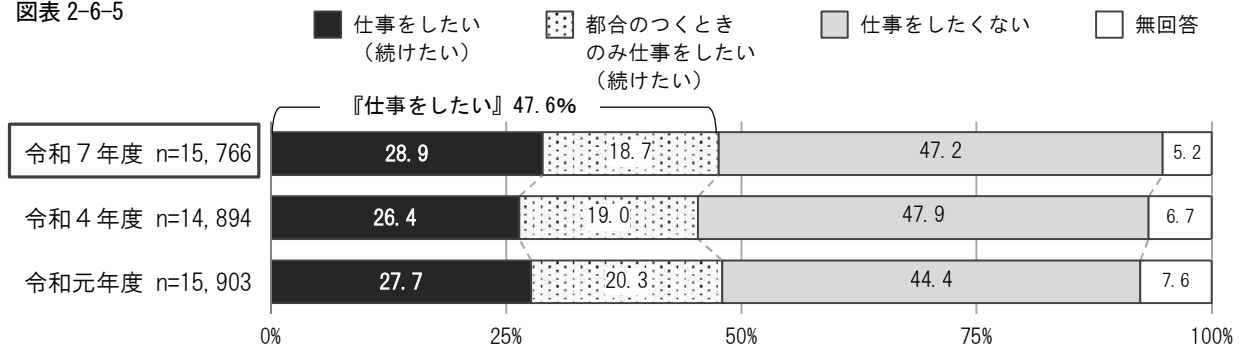
図表 2-6-4



問20 あなたは今後収入がともなう仕事をしたい（続けたい）と思いますか。（1つを選択）

▶ 『仕事をしたい』と思う人の割合が前回調査より微増し、約5割となっている

図表 2-6-5

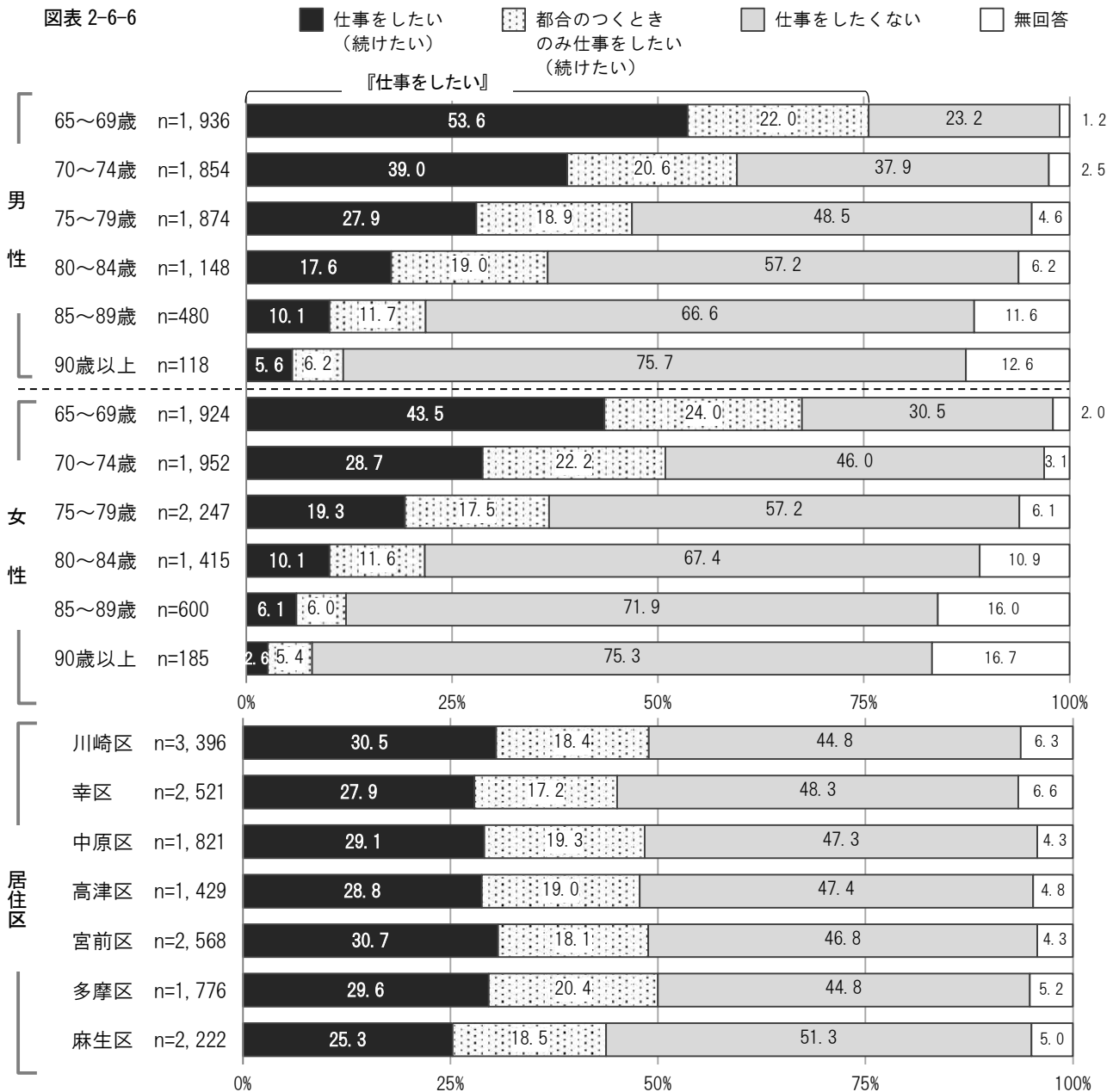


※『仕事をしたい』 = 「仕事をしたい（続けたい）」 + 「都合のつくときのみ仕事をしたい（続けたい）」

▶ 男性は84歳まで、女性は79歳まで『仕事をしたい』と思う人の割合が3割を上回っている

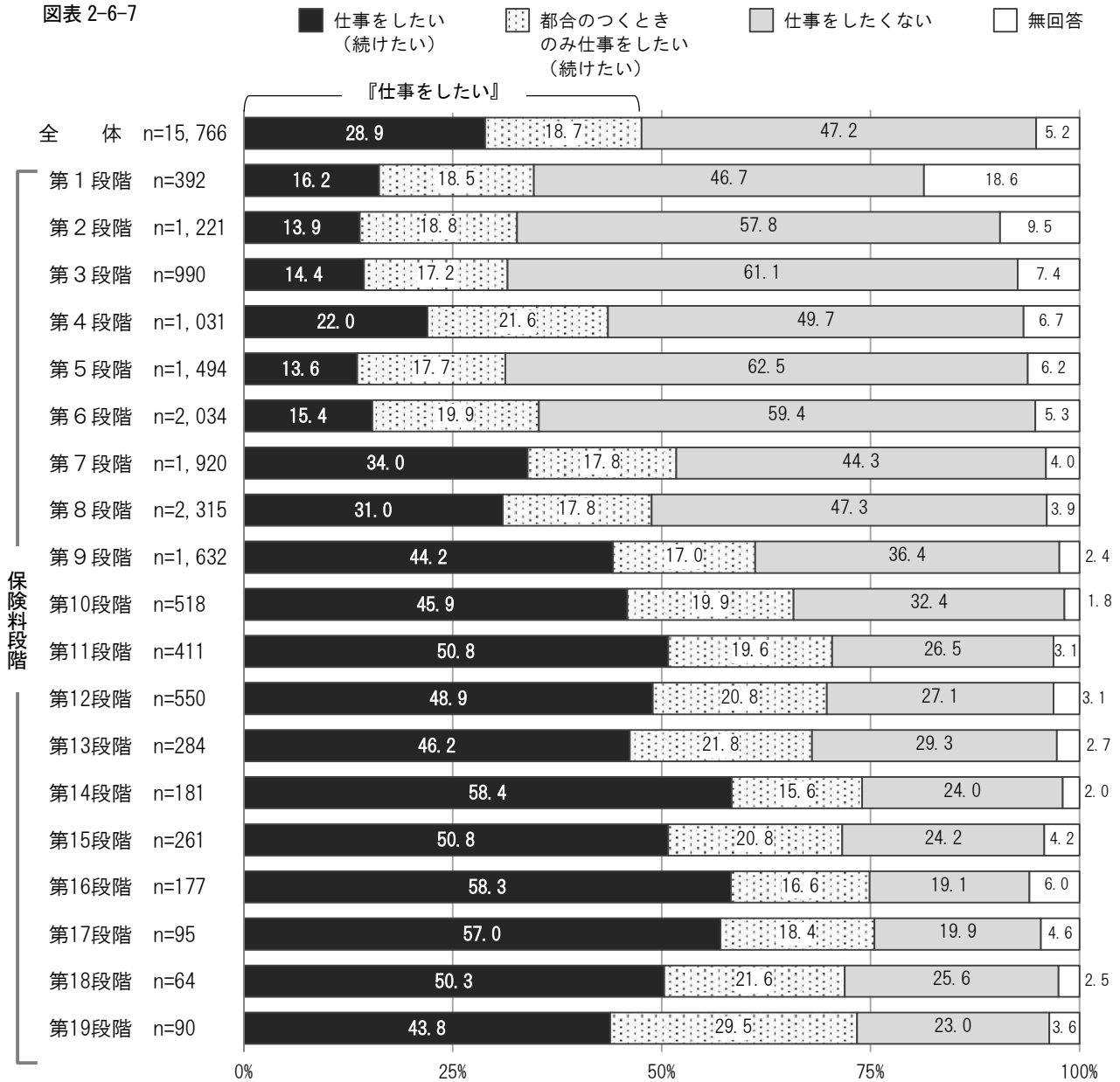
▶ 居住区別では「麻生区」で『仕事をしたい』と思う人の割合が低くなっている

図表 2-6-6



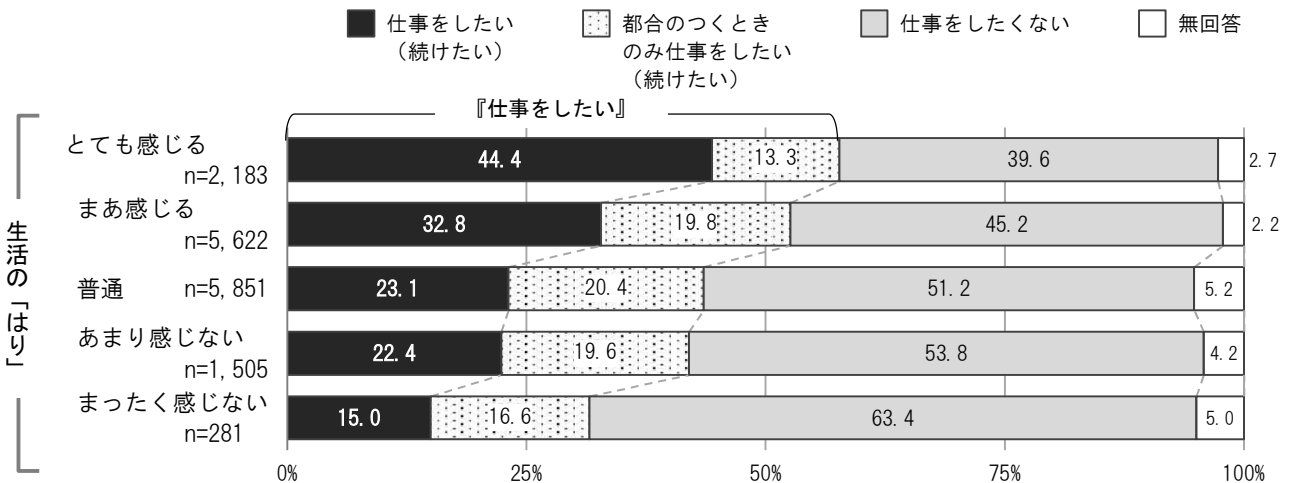
▶ 保険料段階の第9段階以上の人について、『仕事をしたい』と思う人の割合が6割を上回っている

図表 2-6-7



▶ 生活の「はり」を「とても感じる」人は『仕事をしたい』と思う割合が高くなっている

図表 2-6-8

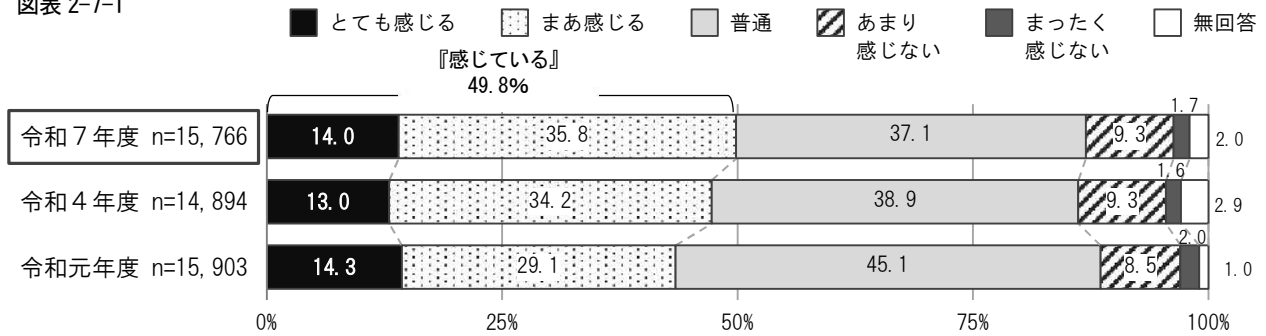


7 生きがいや交流などについて

問21 あなたは現在の生活に「はり」や「楽しみ」を感じていますか。（1つを選択）

▶ 生活に「はり」や「楽しみ」を『感じている』人の割合が前回調査より増加し、約5割となっている

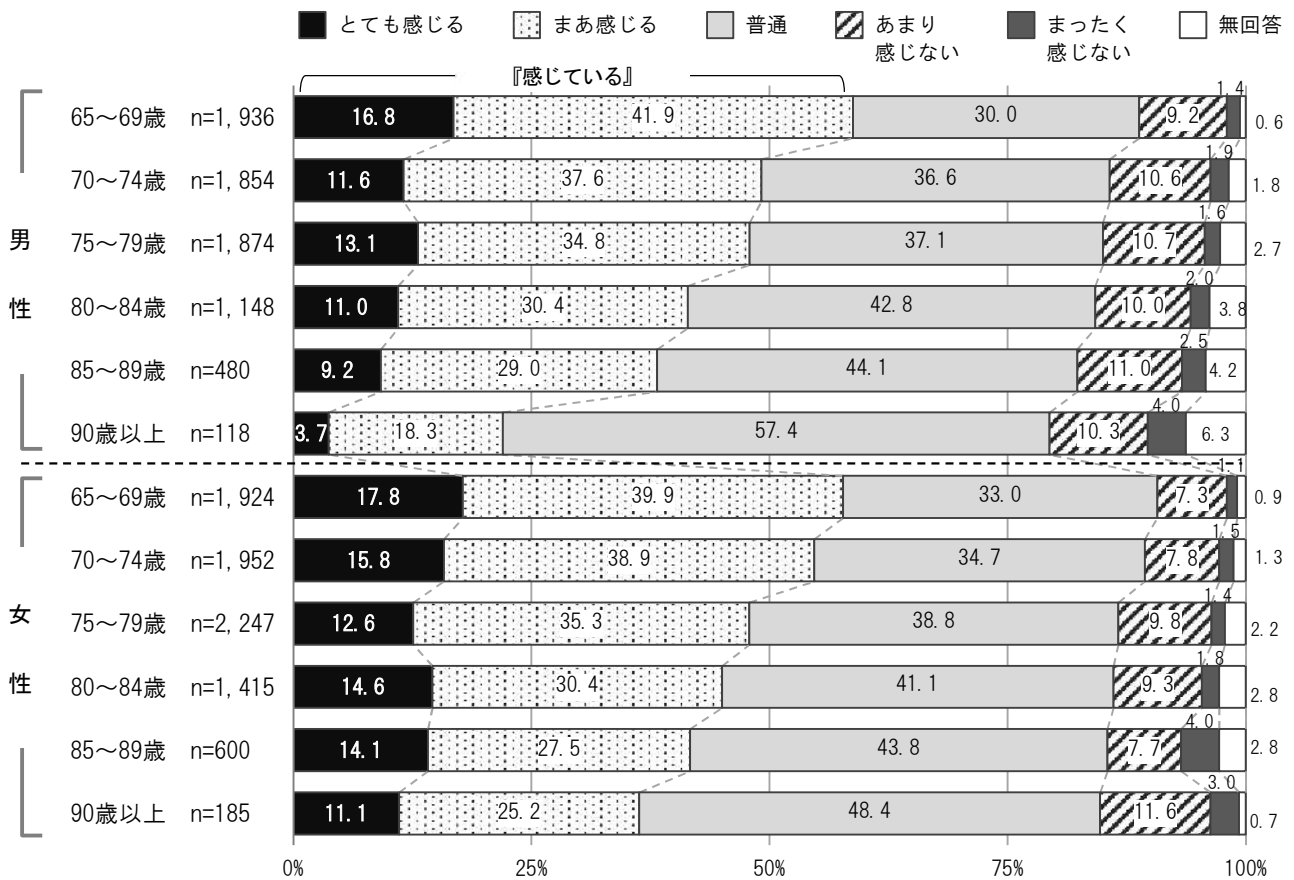
図表 2-7-1



※『感じている』 = 「とても感じる」 + 「まあ感じる」

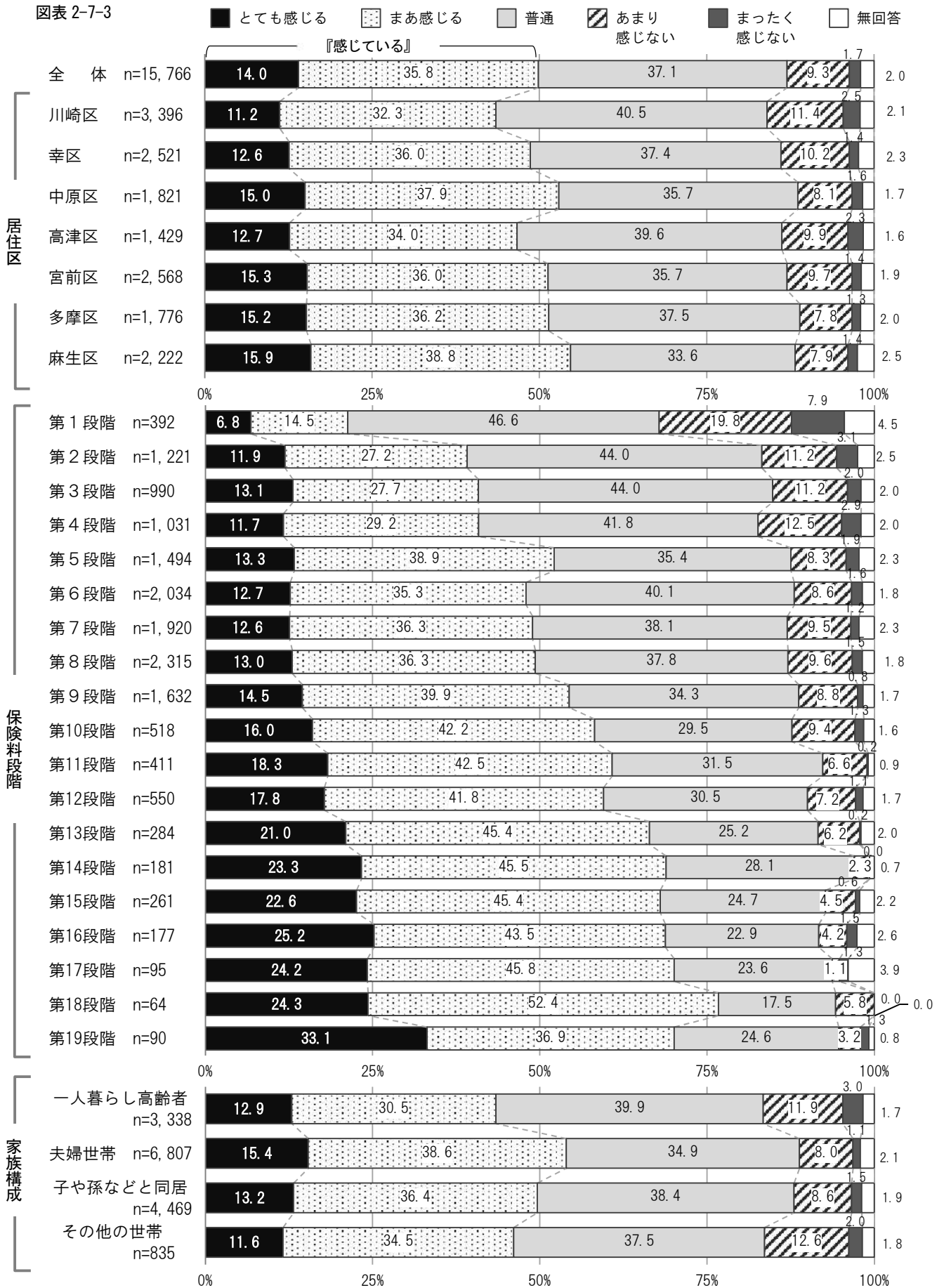
▶ 84歳までの男性、89歳までの女性について、生活に「はり」や「楽しみ」を『感じている』人の割合が4割を上回っている

図表 2-7-2



▶ 保険料段階の第5段階と第9段階以上の人は生活に「はり」や「楽しみ」を『感じている』人の割合が高く、5割を上回っている

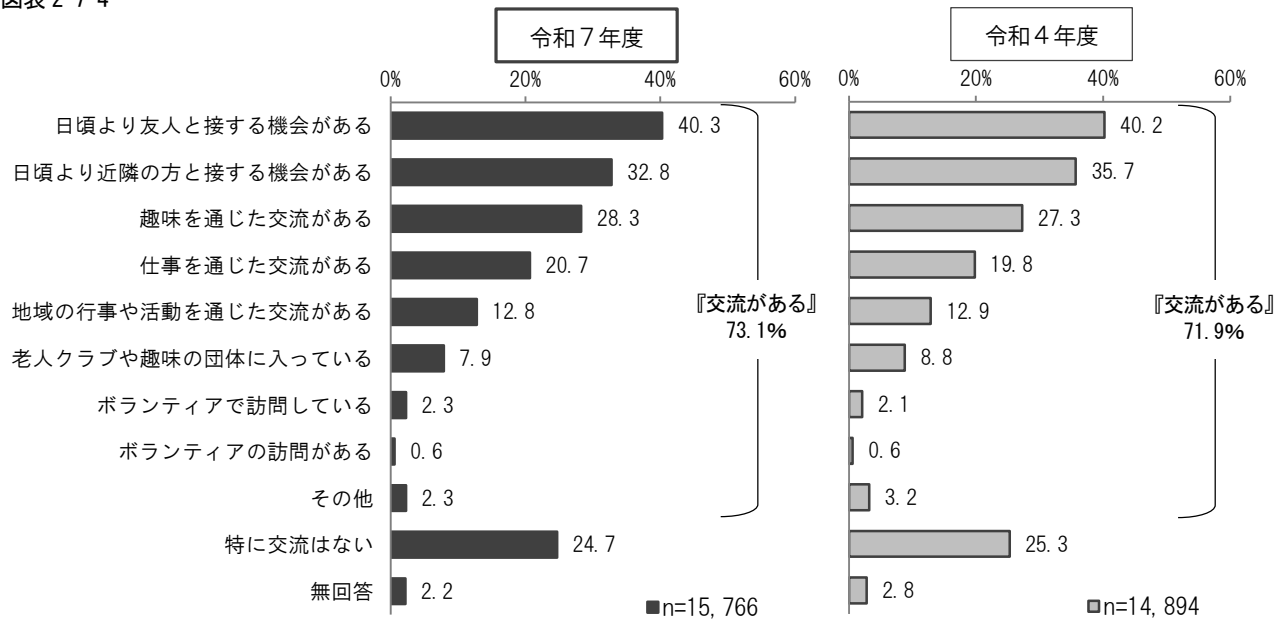
図表 2-7-3



問22 あなたは近隣の方やボランティアなど、家族以外の方との交流がありますか。
(あてはまるものすべてを選択)

▶ 家族以外の方との『交流がある』人の割合は7割を超えている

図表 2-7-4



※『交流がある』=100%-「特に交流はない」-「無回答」

▶ 男性より女性の方が家族以外の方との『交流がある』人の割合が高くなっている

図表 2-7-5

単位：%

項目	回答者数(人)	日頃より友人と接する機会がある	日頃より近隣の方と接する機会がある	趣味を通じた交流がある	仕事を通じた交流がある	地域の行事や活動を通じた交流がある	老人クラブや趣味の団体に入っている	ボランティアで訪問している	ボランティアの訪問がある	『交流がある』	特に交流はない
全体	15,766	40.3	32.8	28.3	20.7	12.8	7.9	2.3	0.6	73.1	24.7
男性	65～69歳	1,936	31.1	18.2	24.7	36.4	10.7	2.2	1.5	67.9	31.6
	70～74歳	1,854	29.2	22.6	23.9	26.1	11.0	3.8	1.8	64.7	33.5
	75～79歳	1,874	31.7	27.1	24.1	19.0	13.1	7.6	2.4	65.7	31.5
	80～84歳	1,148	30.1	31.5	25.3	11.8	14.9	9.5	2.2	66.3	30.0
	85～89歳	480	31.2	29.4	24.3	6.1	11.4	15.0	0.6	63.3	31.1
	90歳以上	118	17.4	23.4	18.2	4.1	9.3	11.4	0.4	50.5	46.2
女性	65～69歳	1,924	52.4	30.7	30.8	36.4	10.3	4.2	3.5	82.0	17.1
	70～74歳	1,952	49.0	36.8	34.0	21.7	13.7	8.1	2.7	79.7	18.8
	75～79歳	2,247	49.6	45.5	32.8	13.7	14.8	10.1	3.1	81.2	16.5
	80～84歳	1,415	48.5	46.6	32.4	6.1	15.2	14.8	2.2	78.3	18.1
	85～89歳	600	43.3	47.2	28.3	2.7	14.7	16.7	1.5	74.4	21.6
	90歳以上	185	27.9	36.0	10.8	0.4	11.3	6.2	1.7	58.4	36.6

※「その他」「無回答」は掲載を省略

※『交流がある』=100%-「特に交流はない」-「無回答」

▶ 生活の「はり」や「楽しみ」を「とても感じる」「まあ感じる」人ほど家族以外の方との『交流がある』人の割合が高く、8割を上回っている

図表 2-7-6

単位：％

項目	回答者数(人)	日頃より友人と接する機会がある	日頃より近隣の方と接する機会がある	趣味を通じた交流がある	仕事を通じた交流がある	地域の行事や活動を通じた交流がある	老人クラブや趣味の団体に入っている	ボランティアで訪問している	ボランティアの訪問がある	『交流がある』	特に交流はない	
										73.1	24.7	
全体	15,766	40.3	32.8	28.3	20.7	12.8	7.9	2.3	0.6	73.1	24.7	
家族構成	一人暮らし高齢者	3,338	40.4	32.6	26.2	17.8	11.6	7.4	2.3	0.9	71.2	26.9
	夫婦世帯	6,807	41.0	31.5	31.8	21.3	12.7	8.1	2.5	0.6	74.3	23.5
	子や孫などと同居	4,469	39.4	34.5	25.2	21.5	13.6	7.9	2.3	0.5	72.8	24.9
	その他の世帯	835	42.2	33.6	26.2	23.8	12.8	6.5	1.5	0.4	74.5	23.8
生活の「はり」	とても感じる	2,183	58.5	48.7	47.1	33.2	21.3	12.6	5.5	1.4	90.6	9.2
	まあ感じる	5,622	48.7	36.0	36.6	26.3	16.1	9.9	3.1	0.5	83.6	16.0
	普通	5,851	33.2	29.2	19.6	15.0	9.2	5.5	1.2	0.6	67.3	31.9
	あまり感じない	1,505	20.9	19.5	11.4	9.5	5.6	4.5	0.4	0.4	49.4	48.6
	まったく感じない	281	11.6	10.4	4.0	6.1	2.0	3.4	-	0.4	30.9	68.1
居住区	川崎区	3,396	36.3	31.5	22.7	20.1	13.6	8.8	1.8	0.5	68.5	29.0
	幸区	2,521	40.2	31.4	27.0	20.5	14.6	8.5	2.4	0.6	71.9	25.1
	中原区	1,821	41.1	31.1	30.3	22.5	13.1	7.1	2.2	0.7	74.1	24.3
	高津区	1,429	36.3	31.7	25.6	19.4	10.2	7.5	1.5	0.9	70.8	26.7
	宮前区	2,568	42.2	33.2	30.0	20.7	11.7	8.5	2.8	0.7	75.2	23.0
	多摩区	1,776	42.4	36.5	28.5	21.7	13.6	7.1	3.2	0.6	74.8	23.3
	麻生区	2,222	43.7	33.8	33.9	19.8	13.1	7.6	2.6	0.6	76.0	21.3

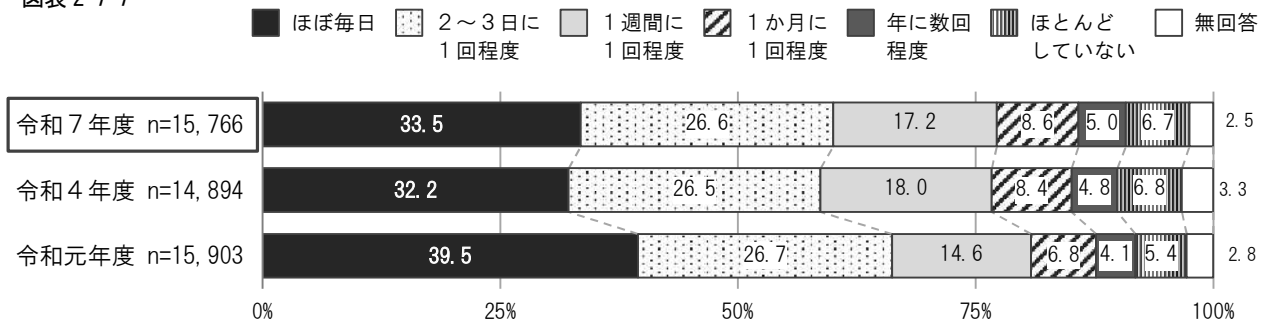
※「その他」「無回答」は掲載を省略

※『交流がある』=100%－「特に交流はない」－「無回答」

問23 あなたは同居の親族以外の人とどの程度お話をする機会がありますか。（1つを選択）

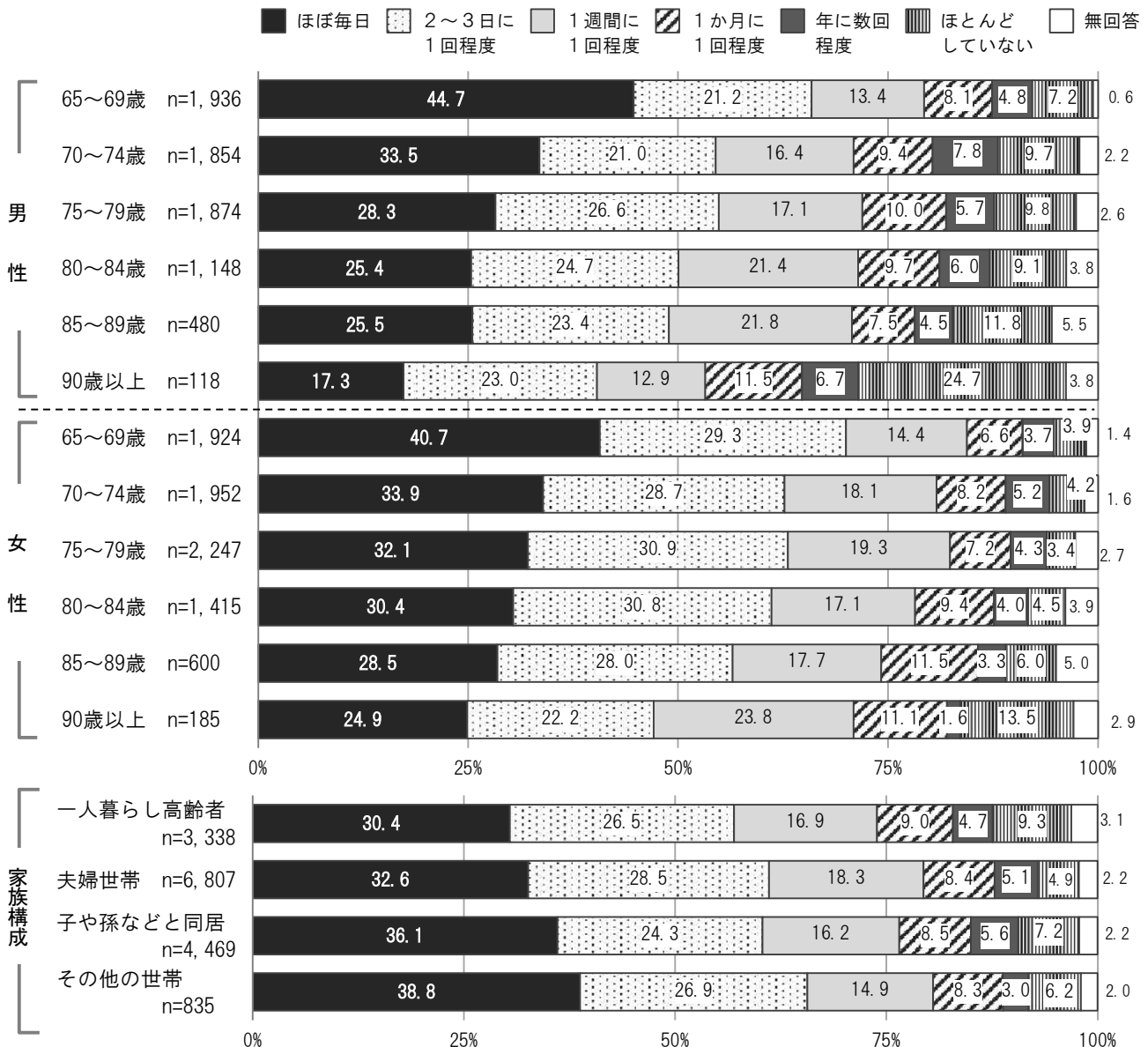
▶ 同居の親族以外の人と「ほぼ毎日」話をする機会がある人の割合が前回調査より微増し、3割を超えている

図表 2-7-7



▶ 男女ともに年齢が上がるにつれ、同居の親族以外の人と「ほぼ毎日」話をする機会がある人の割合が低くなる傾向となっている

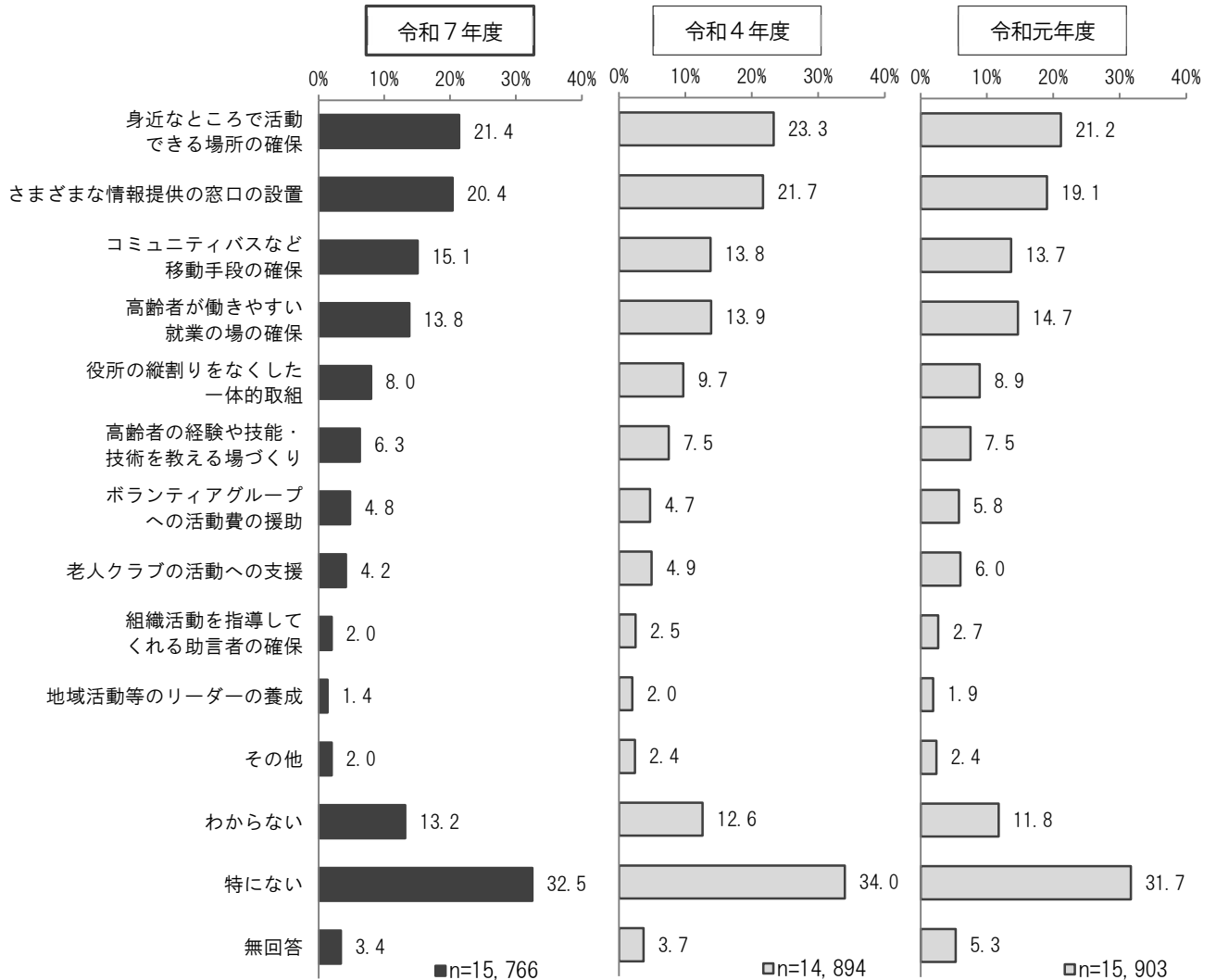
図表 2-7-8



問24 あなたはさまざまな活動をするのに、市からどのような援助を希望しますか。
 (あてはまるもの3つまでを選択)

▶ さまざまな活動をするのに、希望する市からの援助について、「身近なところで活動できる場所の確保」、「さまざまな情報提供の窓口の設置」が約2割となっている

図表 2-7-9



▶ 居住区別では「宮前区」「多摩区」「麻生区」で「コミュニティバスなど移動手段の確保」を希望する割合が高くなっている

図表 2-7-10

単位：%

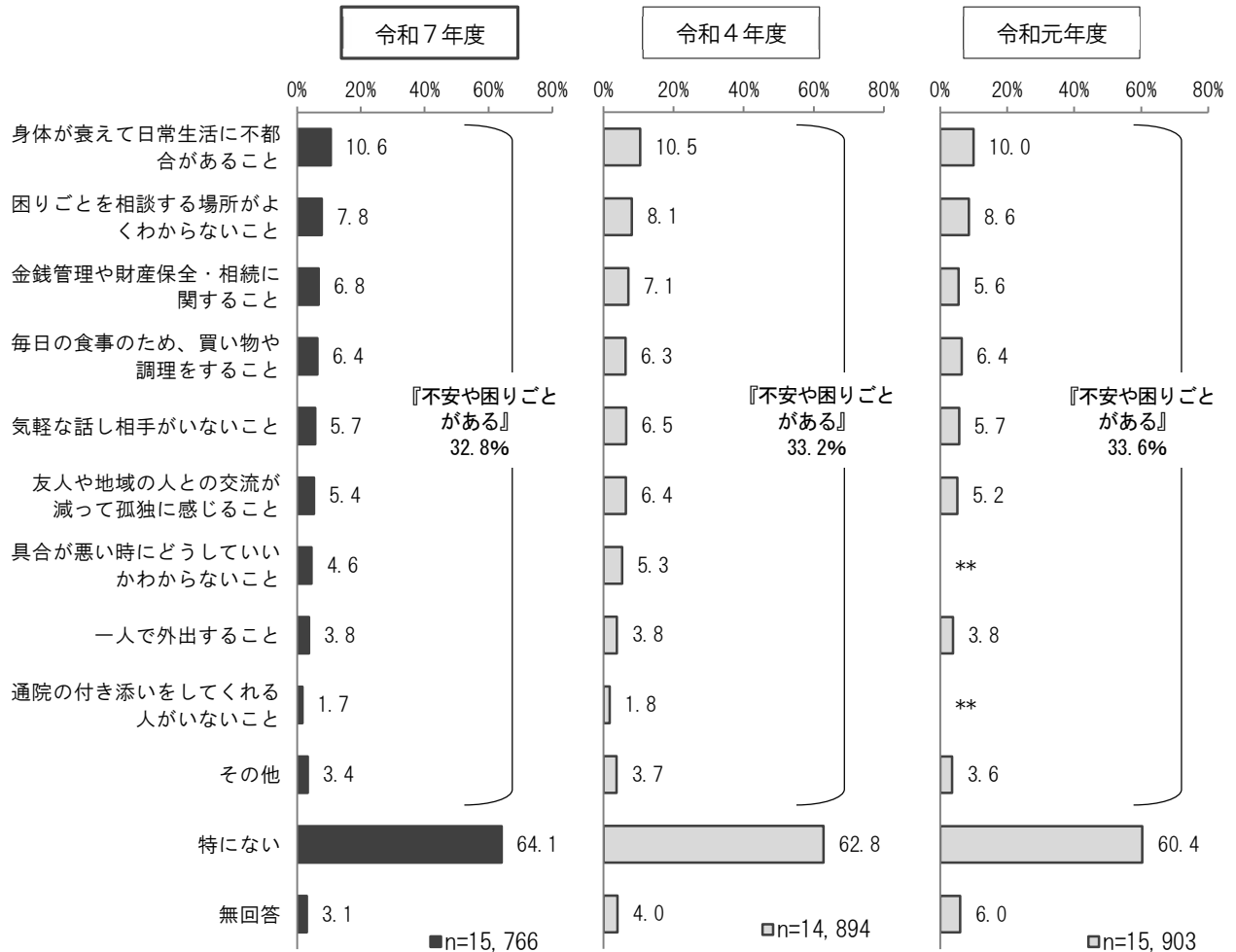
項目	回答者数(人)	身近なところで活動できる場所の確保	窓口設置	さまざまな情報提供の	移動手段の確保	コミュニティバスなど	高齢者が働きやすい就業の場の確保	役所の縦割りをなくした一体的取組	高齢者の経験や技能・技術を教える場づくり	ボランティアグループへの活動費の援助	老人クラブの活動への支援	組織活動を指導してくれる助言者の確保	地域活動等のリーダーの養成
全体	15,766	21.4	20.4	15.1	13.8	8.0	6.3	4.8	4.2	2.0	1.4		
男性	65～69歳	1,936	20.5	25.5	13.9	23.1	12.9	8.4	4.2	1.9	1.7	1.4	
	70～74歳	1,854	18.1	20.2	11.9	16.3	9.8	6.6	5.5	3.5	2.0	1.7	
	75～79歳	1,874	17.3	17.9	11.1	11.5	8.3	5.6	5.6	3.9	2.2	1.3	
	80～84歳	1,148	16.8	11.6	10.8	6.9	5.2	5.1	5.0	6.2	2.3	1.4	
	85～89歳	480	12.9	11.0	10.8	5.0	4.1	4.0	2.8	10.7	1.8	2.1	
	90歳以上	118	7.2	5.2	12.2	1.3	2.9	0.9	1.8	3.6	-	-	
女性	65～69歳	1,924	27.9	28.9	22.1	24.8	9.4	8.7	5.5	1.4	2.0	0.9	
	70～74歳	1,952	27.1	27.1	17.6	15.8	7.2	7.1	5.3	4.1	1.6	1.4	
	75～79歳	2,247	23.6	18.2	16.0	10.2	6.4	5.8	3.9	4.1	2.1	1.3	
	80～84歳	1,415	22.5	15.9	16.3	4.9	6.2	4.4	4.9	7.1	2.9	1.5	
	85～89歳	600	19.2	13.1	18.4	2.9	4.2	3.7	3.4	10.4	1.8	1.7	
	90歳以上	185	9.1	4.7	6.6	1.2	5.0	2.8	0.4	3.6	1.6	0.4	
居住区	川崎区	3,396	18.8	18.3	10.6	14.6	8.5	6.1	4.7	5.0	2.2	1.7	
	幸区	2,521	20.0	19.2	12.5	12.9	7.4	5.8	4.0	4.1	2.2	1.2	
	中原区	1,821	22.4	22.3	11.9	12.6	9.0	6.4	4.8	4.1	2.2	1.2	
	高津区	1,429	22.2	19.9	14.7	14.9	8.0	6.5	4.8	4.0	2.1	1.6	
	宮前区	2,568	23.6	19.9	18.3	13.9	7.7	6.2	4.8	4.3	1.6	1.1	
	多摩区	1,776	22.8	21.8	18.9	14.7	8.4	7.1	5.1	4.1	1.5	1.5	
	麻生区	2,222	19.8	21.5	18.3	12.9	6.8	5.9	5.0	4.0	2.3	1.2	

※「その他」「わからない」「特になし」「無回答」は掲載を省略

問25 あなたは現在、どのような不安や困りごとがありますか。
(あてはまるものすべてを選択)

▶ 『不安や困りごとがある』人の割合は減少傾向にある

図表 2-7-11



※ 『不安や困りごとがある』 = 100% - 「特にない」 - 「無回答」

※ 「具合が悪い時にどうしていいかわからないこと」「通院の付き添いをしてくれる人がいないこと」は令和4年度調査より追加

▶ 「一人暮らし高齢者」は『不安や困りごとがある』人の割合が4割を超えており、特に「具合が悪い時にどうしていいかわからないこと」「気軽な話し相手がないこと」の割合が他の世帯に比べて高くなっている

図表 2-7-12

単位：％

項目	回答者数(人)	身体が衰えて日常生活に不都合があること	困りごとを相談する場所がよくわからないこと	金銭管理や財産保全・相続に関すること	毎日の食事のため、買い物や調理をすること	気軽な話し相手がないこと	友人や地域のひととの交流が減って孤独に感じる	具合が悪い時にどうしていいかわからないこと	一人で外出すること	通院の付き添いをしてくれる人がいないこと	『不安や困りごとがある』	
全体	15,766	10.6	7.8	6.8	6.4	5.7	5.4	4.6	3.8	1.7	32.8	
男性	65～69歳	1,936	6.5	7.6	9.1	3.5	7.4	4.6	3.3	1.4	1.3	28.8
	70～74歳	1,854	9.4	6.9	6.8	5.1	6.2	5.2	3.8	1.8	1.5	29.9
	75～79歳	1,874	13.1	8.6	6.7	6.2	7.2	6.1	3.8	2.5	1.6	34.1
	80～84歳	1,148	14.2	8.1	9.0	8.6	6.9	6.0	5.8	4.1	1.9	36.6
	85～89歳	480	22.1	10.6	7.6	11.9	6.3	8.6	4.7	9.5	2.5	43.2
	90歳以上	118	25.9	7.5	8.2	13.2	8.1	10.2	6.7	16.0	2.2	49.9
女性	65～69歳	1,924	6.3	6.8	7.7	4.7	3.4	4.0	3.8	1.4	1.0	28.1
	70～74歳	1,952	7.5	8.1	5.3	4.3	5.5	4.1	4.9	2.6	1.6	29.1
	75～79歳	2,247	9.0	7.5	5.9	7.2	4.2	4.5	5.7	4.1	1.9	32.2
	80～84歳	1,415	14.1	8.8	5.1	9.3	4.8	6.2	5.1	7.4	2.0	37.6
	85～89歳	600	18.4	9.0	5.7	13.5	6.5	11.6	7.3	10.0	5.2	44.2
	90歳以上	185	27.1	5.1	4.0	7.6	3.9	8.4	5.6	25.9	1.2	45.1
家族構成	一人暮らし高齢者	3,338	11.5	11.7	6.2	8.6	9.4	9.0	11.2	3.6	4.2	42.7
	夫婦世帯	6,807	9.3	6.7	7.1	5.2	4.6	4.3	2.9	3.1	0.8	28.2
	子や孫など同居	4,469	12.3	6.6	6.7	6.4	4.6	4.8	2.3	5.1	1.1	31.7
	その他の世帯	835	8.7	8.4	8.5	7.6	5.4	4.4	4.2	3.3	2.1	34.4
居住区	川崎区	3,396	12.0	8.5	7.3	7.0	6.6	6.1	5.8	4.1	2.0	35.2
	幸区	2,521	12.6	8.5	7.0	6.7	5.6	5.2	5.1	4.8	1.9	35.0
	中原区	1,821	10.1	8.2	8.5	6.5	6.0	5.5	5.7	3.5	1.7	33.0
	高津区	1,429	10.2	8.2	6.1	6.7	6.4	5.8	4.9	4.6	1.5	33.5
	宮前区	2,568	10.0	7.1	6.6	6.2	5.4	4.6	3.1	3.1	1.9	30.1
	多摩区	1,776	10.9	8.1	6.9	6.2	5.4	5.5	4.1	3.7	2.0	33.1
	麻生区	2,222	8.8	6.4	5.5	5.8	4.3	5.3	3.6	3.3	1.2	29.5

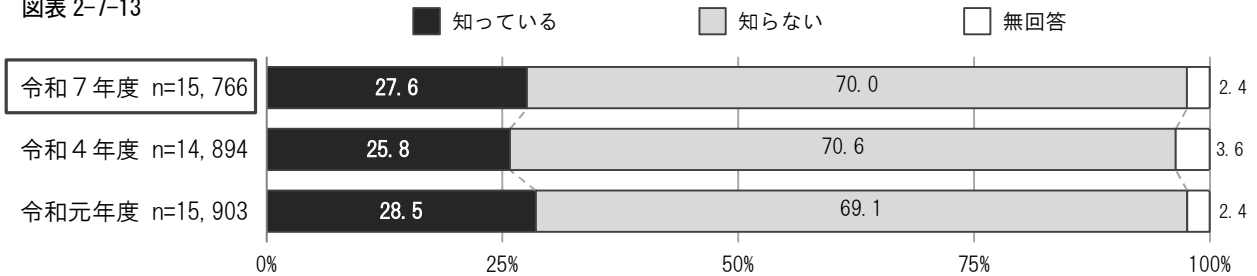
※「その他」「特になし」「無回答」は掲載を省略

※『不安や困りごとがある』=100%－「特になし」－「無回答」

問26 あなたは高齢者虐待を見つけた場合の通報・相談窓口が、区役所や地域包括支援センターにあることを知っていますか。(1つを選択)

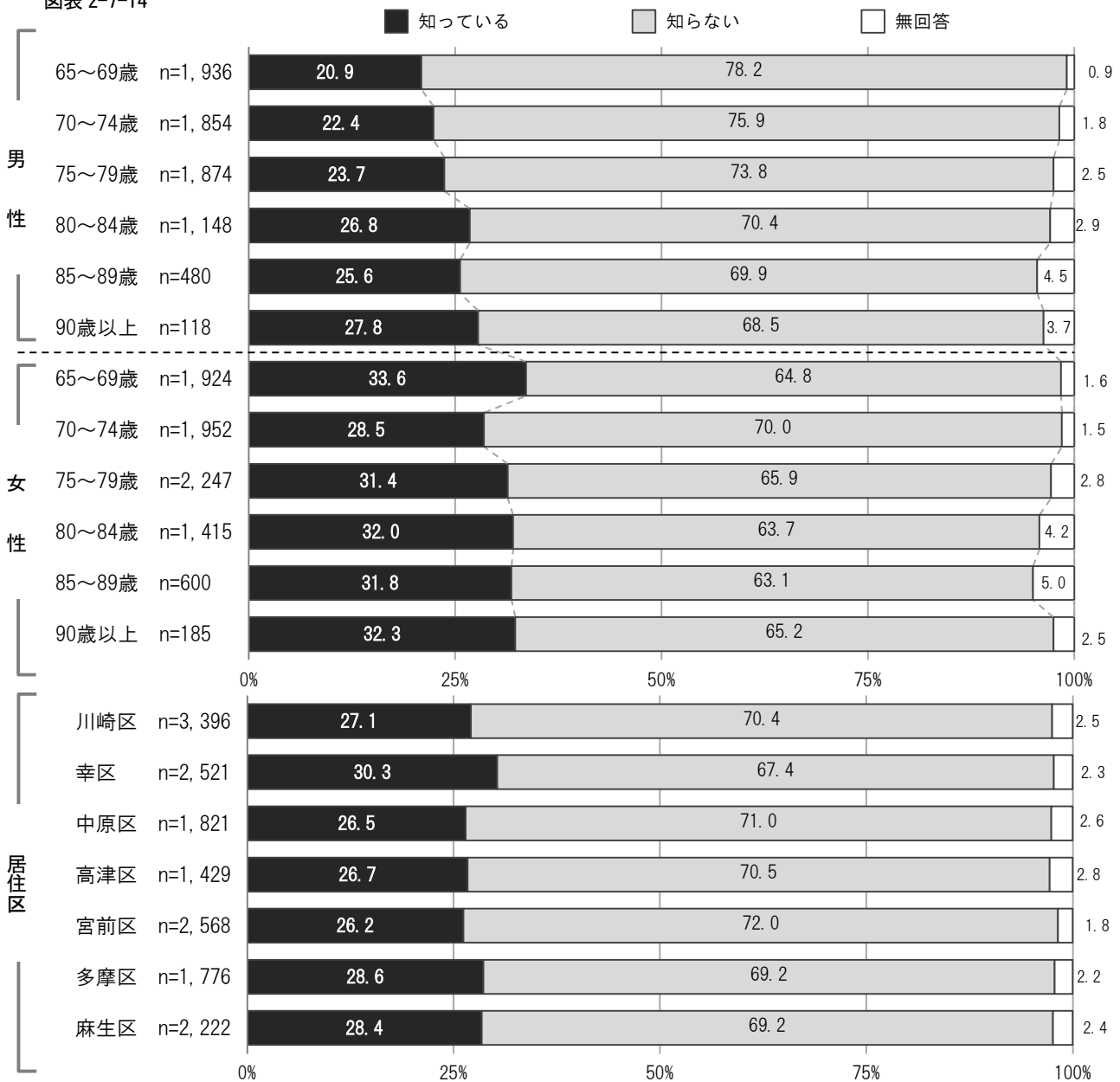
▶ 高齢者虐待の通報・相談窓口の存在を「知っている」人の割合は前回調査より微増し、約3割となっている

図表 2-7-13



▶ 男性より女性の方が「知っている」人の割合が高くなっている

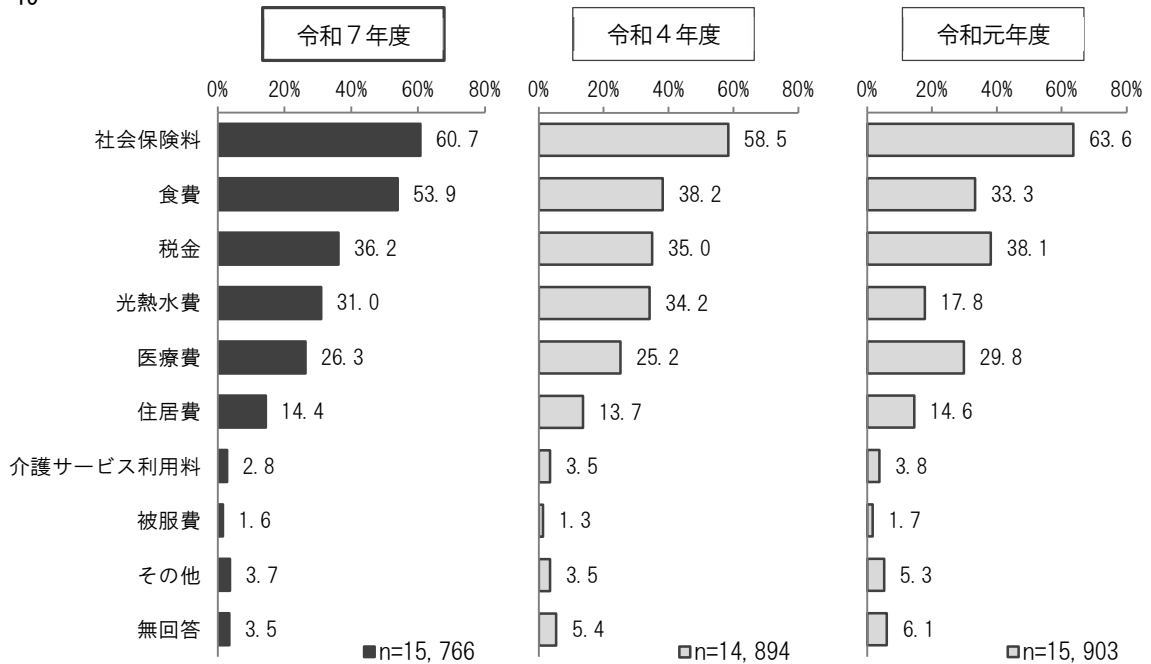
図表 2-7-14



問27 日常生活において、金銭的な負担感の大きいものはどれですか。
(あてはまるもの3つまでを選択)

▶ 「食費」の金銭的な負担感の割合が前回調査より大幅に増加し、5割を超えている

図表 2-7-15



図表 2-7-16

単位：%

項目	回答者数(人)	社会保険料	食費	税金	光熱水費	医療費	住居費	介護サービス利用料	被服費	その他	
全体	15,766	60.7	53.9	36.2	31.0	26.3	14.4	2.8	1.6	3.7	
男性	65～69歳	1,936	68.8	47.2	53.4	24.1	23.8	21.5	2.3	1.2	3.7
	70～74歳	1,854	63.9	55.3	43.6	28.6	29.9	18.1	2.9	1.3	2.2
	75～79歳	1,874	67.3	55.9	37.5	30.1	26.7	12.6	2.6	1.6	2.8
	80～84歳	1,148	59.9	51.7	32.5	28.7	32.4	10.6	4.2	1.8	4.0
	85～89歳	480	58.5	46.8	31.8	22.8	37.0	9.6	2.9	0.7	2.0
	90歳以上	118	53.3	31.3	32.4	18.0	37.1	7.3	6.5	-	10.1
女性	65～69歳	1,924	65.1	53.9	41.1	31.7	27.0	19.6	1.8	1.7	4.0
	70～74歳	1,952	61.2	59.1	35.5	36.5	26.2	14.2	2.6	1.4	2.3
	75～79歳	2,247	55.7	58.8	27.3	36.4	21.2	11.3	3.0	2.1	4.1
	80～84歳	1,415	50.5	53.6	23.0	33.3	22.0	8.9	3.7	2.4	5.0
	85～89歳	600	44.4	48.7	20.9	32.1	29.9	9.0	3.8	1.8	6.5
	90歳以上	185	33.5	44.0	22.1	24.7	18.2	6.7	2.4	2.3	9.9

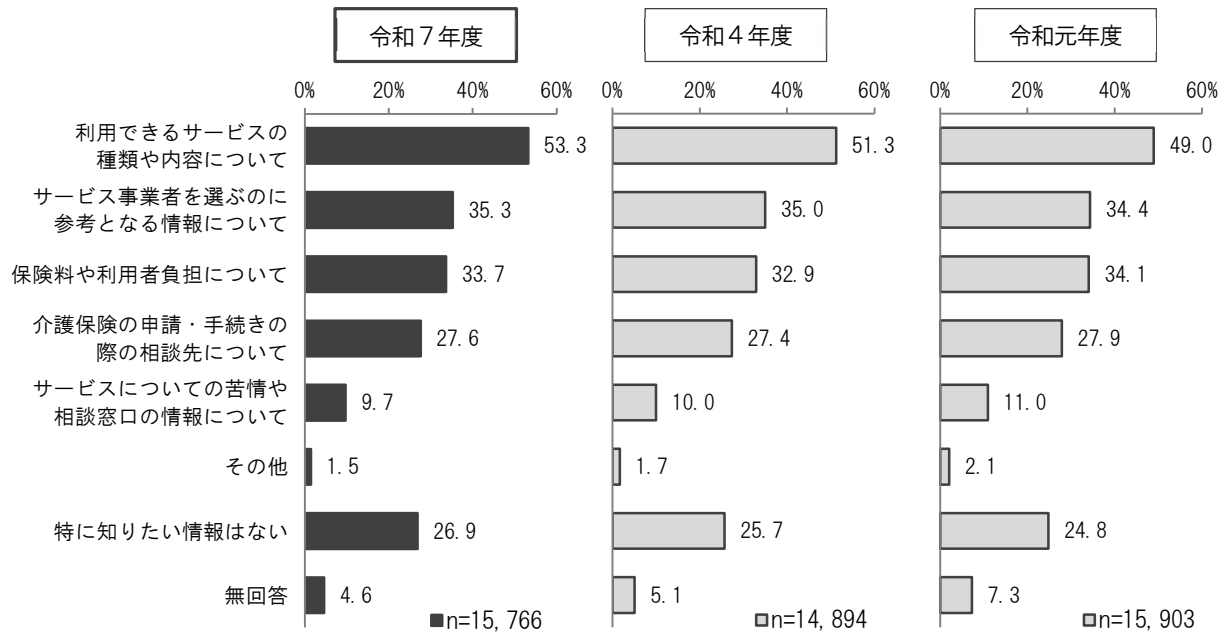
※「無回答」は掲載を省略

8 介護保険制度について

問28 介護保険制度や介護保険サービスに関して、あなたが知りたい情報は何か。
(あてはまるものすべてを選択)

▶ 「利用できるサービスの種類や内容について」を知りたい情報とする人の割合が前回調査より微増し、5割を超え最も高くなっている

図表 2-8-1



図表 2-8-2

単位：%

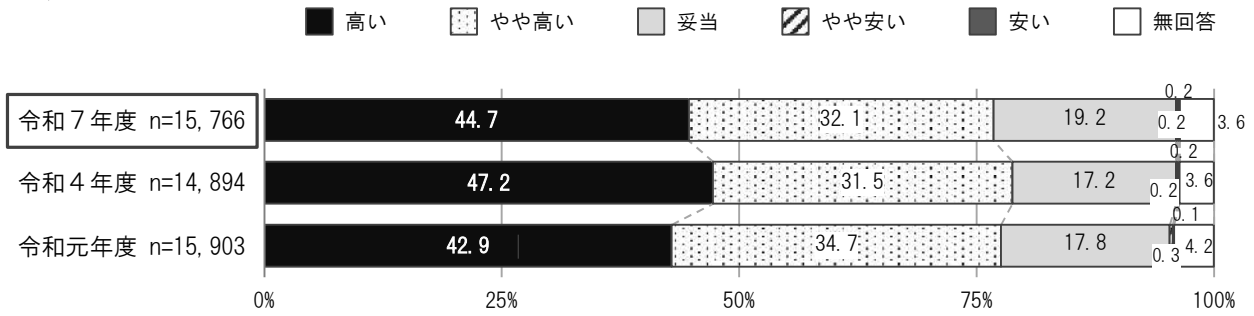
項目	回答者数(人)	利用できるサービスの種類や内容について	サービス事業者を選ぶのに参考となる情報について	保険料や利用者負担について	介護保険の申請・手続きの際の相談先について	サービスについての苦情や相談窓口の情報について	その他	
全体	15,766	53.3	35.3	33.7	27.6	9.7	1.5	
居住区	川崎区	3,396	50.6	32.7	32.0	28.2	9.3	1.4
	幸区	2,521	51.2	35.8	33.6	26.3	10.0	1.2
	中原区	1,821	52.3	35.4	34.8	27.0	10.0	2.0
	高津区	1,429	53.7	33.7	34.3	27.5	9.9	1.5
	宮前区	2,568	53.9	35.5	34.0	28.0	9.6	1.6
	多摩区	1,776	56.9	36.9	34.7	28.6	9.3	1.7
	麻生区	2,222	54.3	37.2	32.9	27.6	9.7	1.2

※「特に知りたい情報はない」「無回答」は掲載を省略

問29 現在、あなたが払っている川崎市の介護保険料をどう感じますか。（1つを選択）

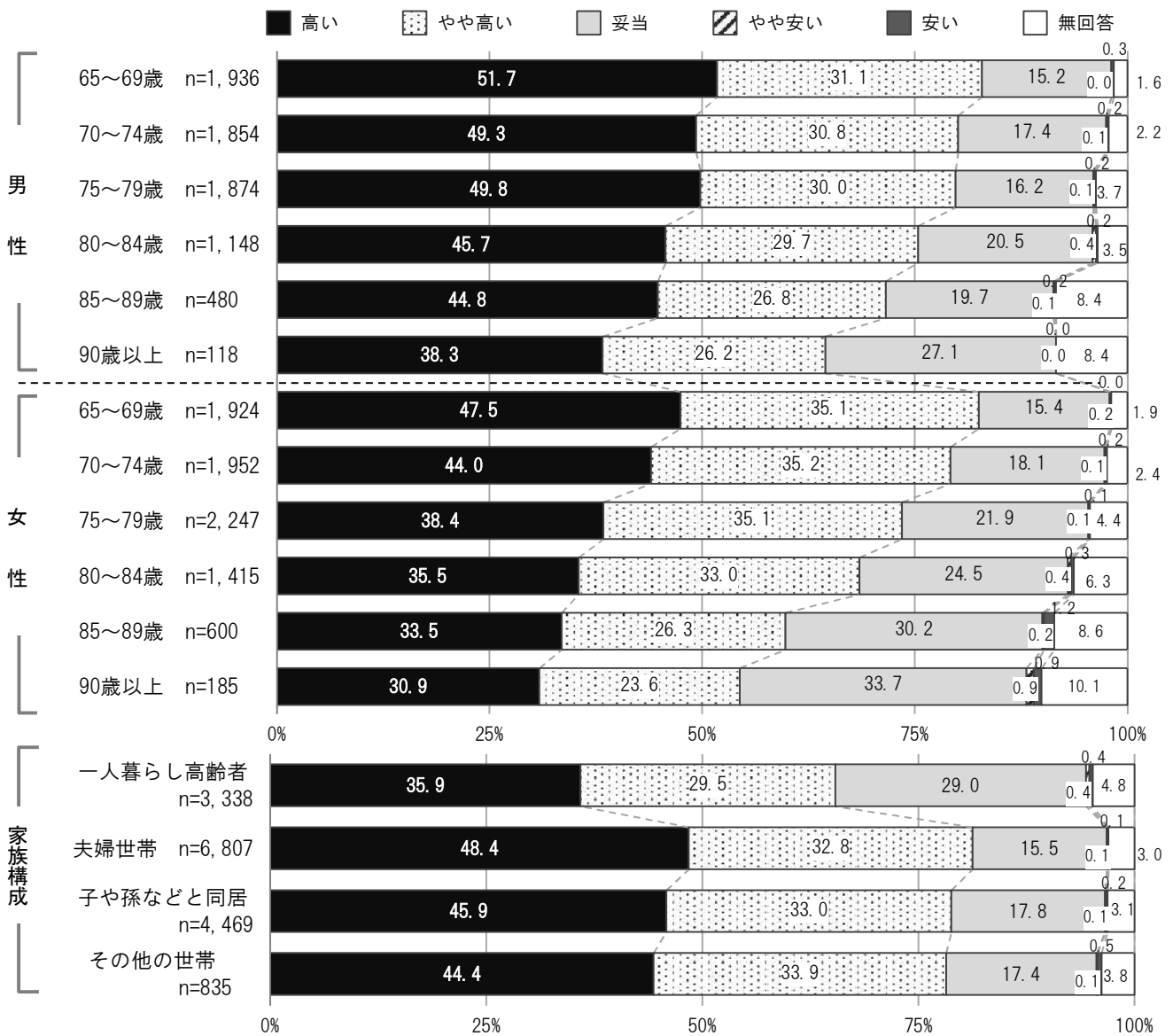
▶ 介護保険料を「高い」と感じる人の割合が前回調査より減少している

図表 2-8-3



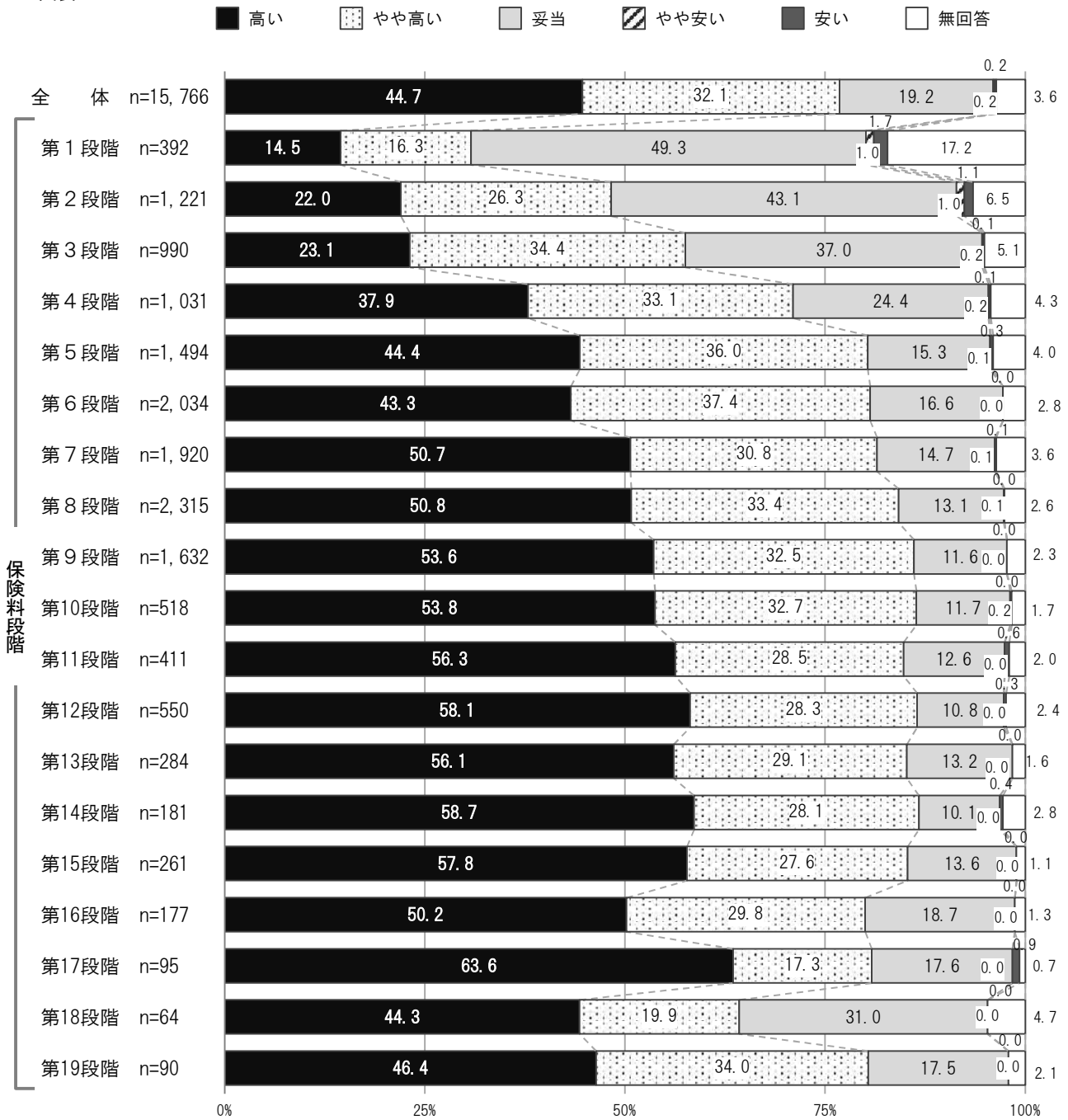
▶ 「一人暮らし高齢者」以外の家族構成の方が、介護保険料を「高い」と感じる割合が高くなっている

図表 2-8-4



▶ 保険料段階の第7段階以上の人について、介護保険料を「高い」と感じる人の割合がおおむね5割を上回っている

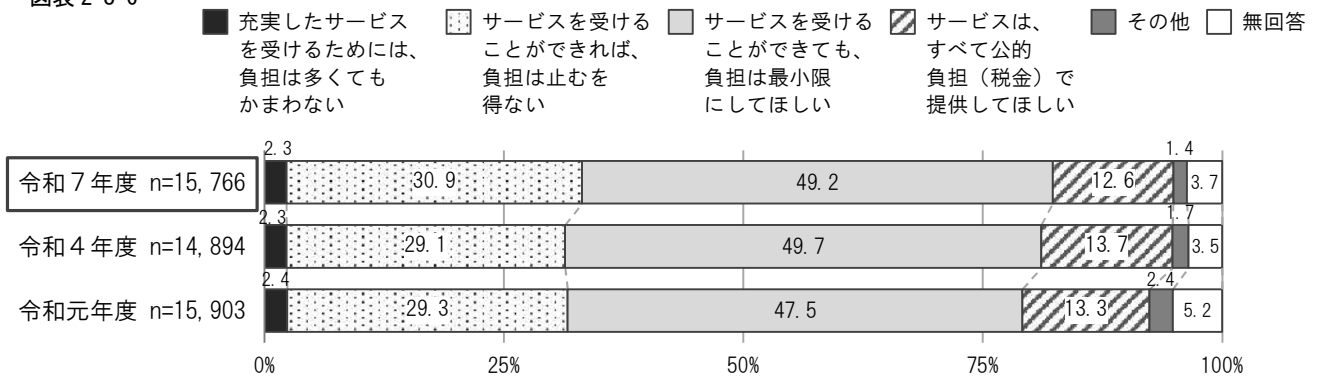
図表 2-8-5



問30 「介護保険制度」では、介護サービスを受けたときに、1割、2割または3割の自己負担を必要としています。この自己負担をどのように考えますか。（1つを選択）

▶ 「サービスを受けることができても、負担は最小限にしてほしい」と考える人の割合が約5割となっている

図表 2-8-6



▶ 保険料段階の第15～第19段階の人について、「サービスを受けることができれば、負担は止むを得ない」と考えている人の割合が高くなっている

図表 2-8-7

単位：%

項目	回答者数（人）	充実したサービスを受けるためには、負担は多くてもかまわない	サービスを受けることができれば、負担は止むを得ない	サービスを受けることができても、負担は最小限にしてほしい	サービスは、すべて公的負担（税金）で提供してほしい	
全体	15,766	2.3	30.9	49.2	12.6	
保険料段階	第1段階	392	1.3	14.5	35.6	27.2
	第2段階	1,221	2.1	28.0	49.8	11.4
	第3段階	990	1.6	27.6	52.8	12.6
	第4段階	1,031	1.9	27.8	49.3	14.8
	第5段階	1,494	1.7	29.0	53.6	9.8
	第6段階	2,034	1.0	30.3	53.6	11.5
	第7段階	1,920	1.7	28.0	51.7	13.9
	第8段階	2,315	1.9	29.1	51.0	14.2
	第9段階	1,632	2.2	33.4	47.8	13.3
	第10段階	518	2.4	40.1	44.5	10.8
	第11段階	411	4.5	35.6	45.3	10.5
	第12段階	550	4.3	38.2	43.2	10.1
	第13段階	284	4.7	36.7	42.6	11.5
	第14段階	181	6.5	34.8	45.8	8.7
	第15段階	261	6.5	47.9	33.5	10.6
	第16段階	177	7.5	51.9	29.7	6.6
	第17段階	95	12.7	44.2	33.0	5.6
	第18段階	64	3.6	57.5	27.2	7.2
	第19段階	90	10.9	50.8	24.9	6.2

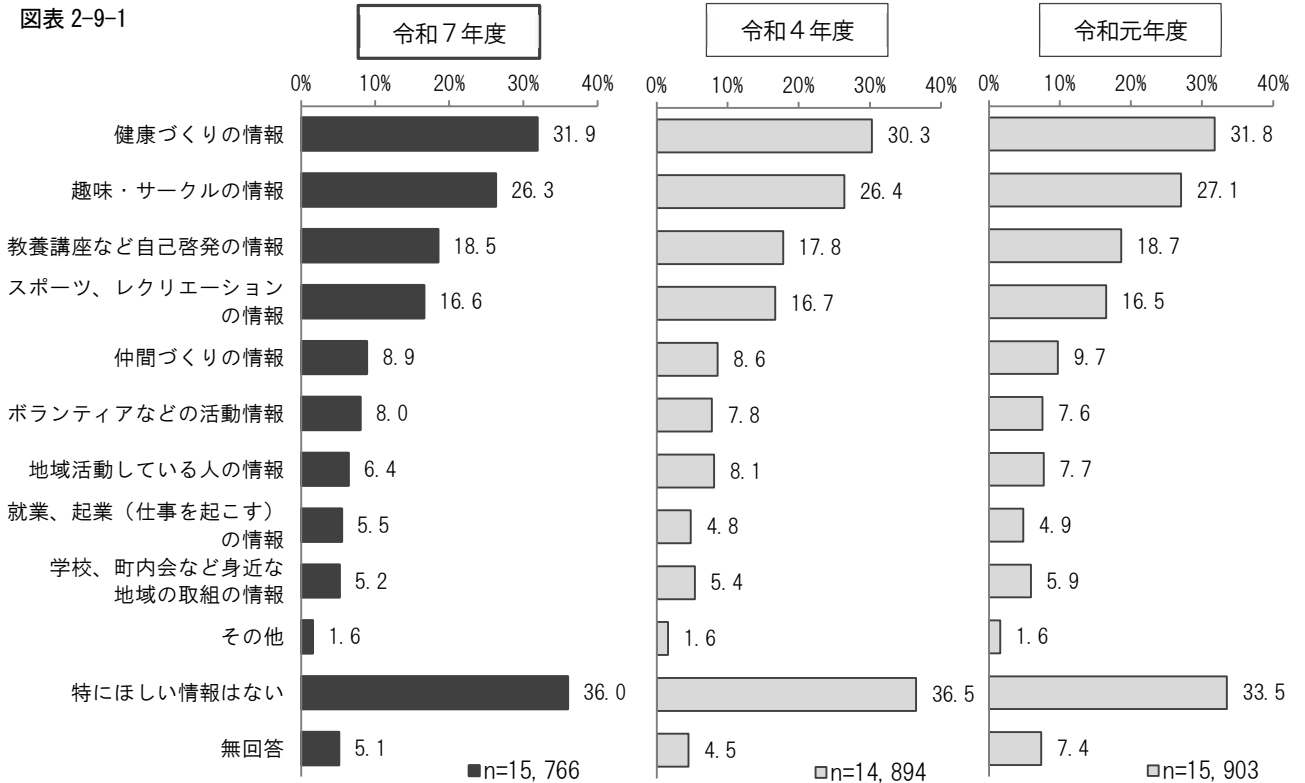
※「その他」「無回答」は掲載を省略

9 市の高齢者施策などについて

問31 あなたは日常生活上どのような情報がほしいですか。（あてはまるものすべてを選択）

▶ 日常生活上でほしい情報について、前回調査より順位に大きな変化はなく、「健康づくりの情報」が約3割となっており、次いで「趣味・サークルの情報」が2割を超えている

図表 2-9-1



図表 2-9-2

単位：%

項目	回答者数（人）	健康づくりの情報	趣味・サークルの情報	教養講座など自己啓発の情報	スポーツ、レクリエーションの情報	仲間づくりの情報	ボランティアなどの活動情報	地域活動している人の情報	就業、起業の情報	学校、町内会など身近な地域の取組の情報	その他	特にほしい情報はない	
全体	15,766	31.9	26.3	18.5	16.6	8.9	8.0	6.4	5.5	5.2	1.6	36.0	
男性	65～69歳	1,936	28.5	26.8	22.2	22.0	11.2	10.3	8.5	15.0	5.9	1.8	36.9
	70～74歳	1,854	27.7	24.6	18.0	19.7	8.7	7.8	7.1	7.3	5.6	1.3	41.5
	75～79歳	1,874	30.4	23.5	16.3	14.6	7.4	6.4	6.0	4.8	6.0	1.6	41.1
	80～84歳	1,148	26.0	20.5	13.1	14.1	7.5	6.0	5.7	2.6	5.6	1.3	42.6
	85～89歳	480	28.7	18.3	12.5	12.0	7.1	2.8	6.3	1.7	5.4	3.4	39.3
	90歳以上	118	25.7	10.2	9.3	3.6	4.3	1.8	5.1	1.1	3.0	1.0	55.3
女性	65～69歳	1,924	37.9	35.1	26.8	23.8	9.6	12.6	6.6	8.6	4.7	2.0	26.9
	70～74歳	1,952	37.4	34.2	22.8	19.5	9.8	10.1	5.6	4.7	4.8	1.0	29.9
	75～79歳	2,247	34.3	27.1	18.2	13.8	8.3	6.9	5.7	1.9	4.4	1.3	34.0
	80～84歳	1,415	31.0	22.2	13.0	9.0	9.1	6.1	6.4	0.8	4.4	2.1	34.2
	85～89歳	600	31.3	17.5	8.9	8.6	9.5	4.5	5.1	0.4	6.5	2.9	38.7
	90歳以上	185	28.8	3.7	5.0	1.3	3.6	1.1	3.0	-	6.7	-	49.8

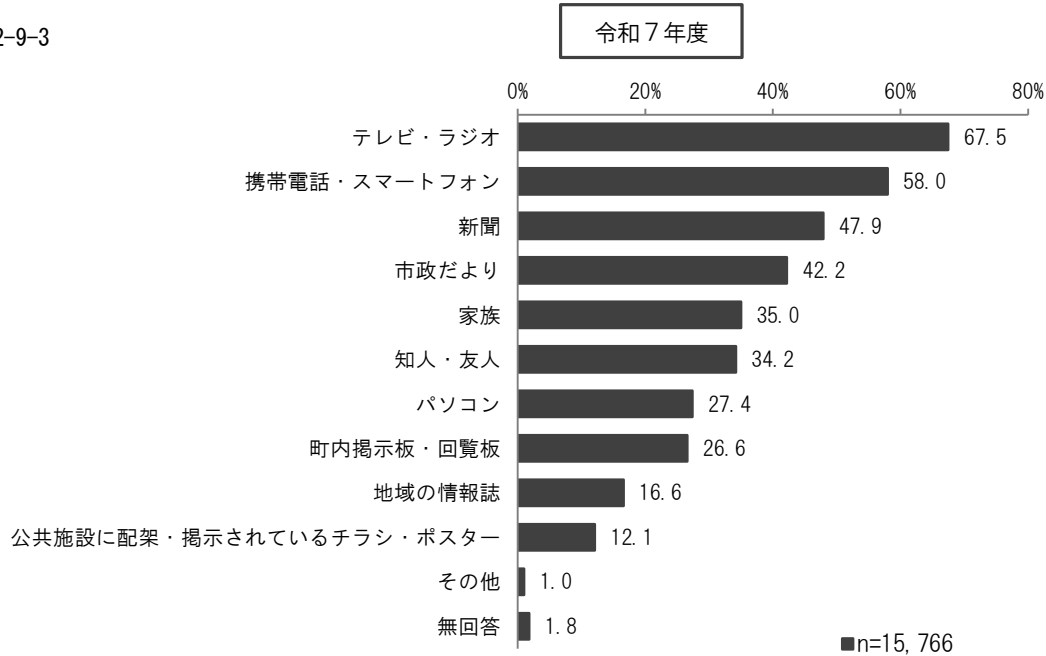
※「無回答」は掲載を省略

【令和7年度新規設問】

問32 あなたは、日常生活上必要な情報をどのように収集していますか。（あてはまるものすべてを選択）

▶ 日常生活上必要な情報の収集方法について、「テレビ・ラジオ」が最も高く約7割となっている

図表 2-9-3



▶ 男女ともに65～74歳で、「携帯電話・スマートフォン」を選択している割合が最も高い

図表 2-9-4

単位：%

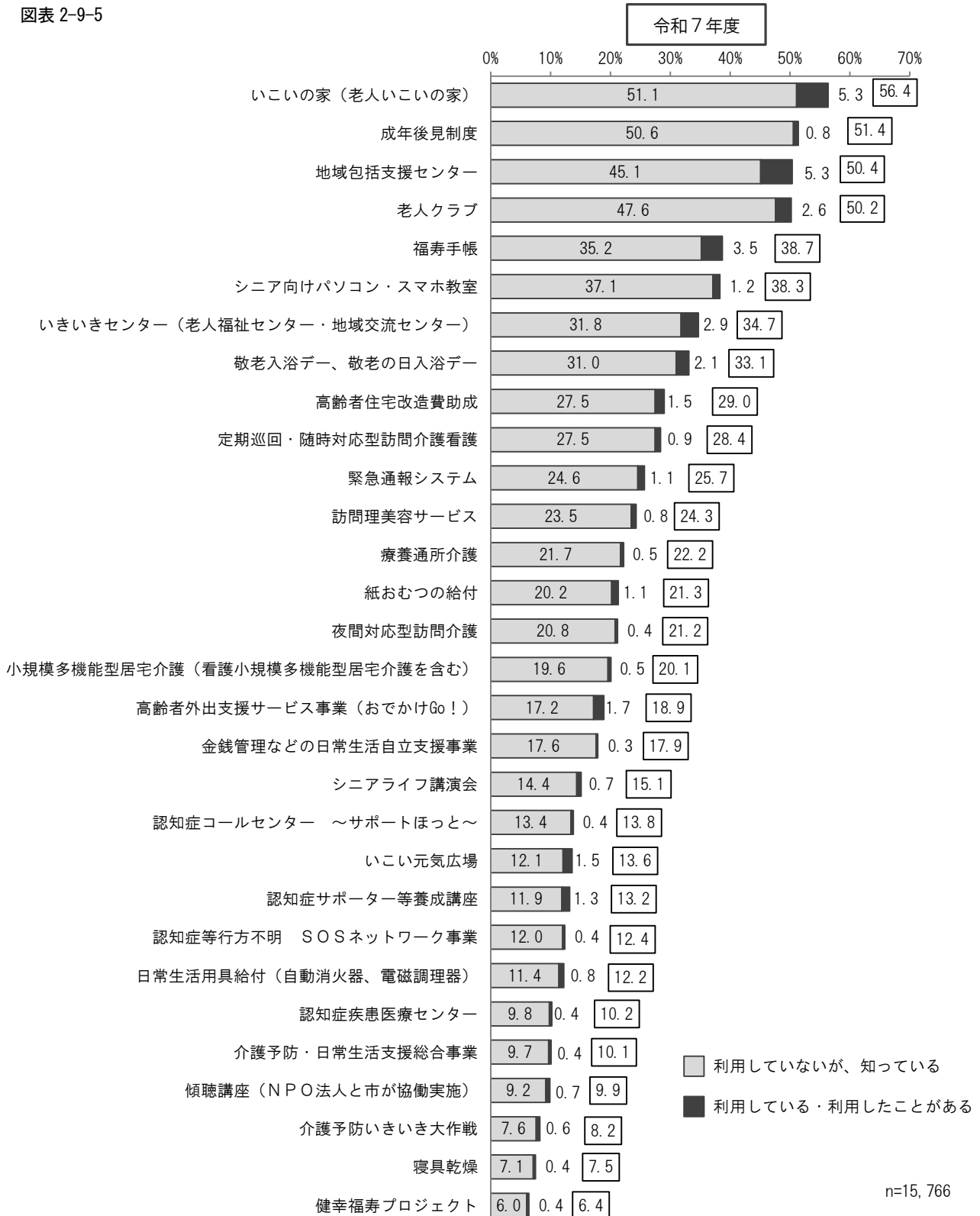
項目	回答者数(人)	テレビ・ラジオ	携帯電話・スマートフォン	新聞	市政だより	家族	知人・友人	パソコン	町内掲示板・回覧板	地域の情報誌	公共施設に配架・掲示されているチラシ・ポスター	その他	
全体	15,766	67.5	58.0	47.9	42.2	35.0	34.2	27.4	26.6	16.6	12.1	1.0	
男性	65～69歳	1,936	62.4	79.5	35.7	25.3	33.3	26.9	56.7	14.3	11.2	8.1	0.6
	70～74歳	1,854	67.6	68.6	44.6	32.3	34.4	26.6	45.0	20.2	13.4	11.6	1.1
	75～79歳	1,874	69.6	54.2	54.4	36.0	29.8	25.2	37.8	24.4	14.2	10.9	1.3
	80～84歳	1,148	73.3	40.2	65.4	40.9	32.6	23.6	27.2	27.4	14.4	11.7	0.9
	85～89歳	480	75.0	31.5	66.9	43.3	33.1	24.2	23.8	31.5	14.4	12.1	0.8
	90歳以上	118	77.8	20.3	70.3	43.6	39.5	14.7	13.8	36.3	21.2	8.1	0.5
女性	65～69歳	1,924	61.6	80.6	32.8	44.4	37.9	43.7	25.8	24.4	16.7	12.1	1.1
	70～74歳	1,952	66.7	67.0	43.0	47.4	37.4	43.3	17.7	29.6	17.6	16.0	0.9
	75～79歳	2,247	67.7	49.8	52.9	53.8	35.8	41.6	12.2	33.5	23.1	13.9	0.8
	80～84歳	1,415	69.7	35.8	54.0	55.4	35.2	41.0	6.1	37.0	21.1	12.5	0.9
	85～89歳	600	71.6	25.2	56.2	50.0	36.7	38.3	5.3	32.3	18.5	12.3	1.9
	90歳以上	185	71.1	12.8	50.7	42.7	52.2	30.6	0.5	22.5	13.1	10.3	-

※「無回答」は掲載を省略

問33 あなたは、以下の事業やサービスについて知って（利用して）いますか。
（それぞれの事業やサービスごとに1つを選択）

▶ 「いこいの家」の『認知度』は5割を超えて最も高くなっており、「成年後見制度」「地域包括支援センター」「老人クラブ」は約5割となっている一方、市の高齢者施策として実施している事業の『認知度』について、その多くは1割から2割程度にとどまっている

図表 2-9-5



※『認知度』＝「利用していないが、知っている」＋「利用している・利用したことがある」

※『認知度』の高い順に並び替えている

※「知らない」「無回答」は掲載を省略

▶ 「地域包括支援センター」の『認知度』が増加し約5割となっている

図表 2-9-6

単位：%

項目	令和7年度 n=15,766				令和4年度 n=14,894			
	知らない	知っているが、利用していないが、知っている	利用している・利用したことがある	『認知度』	知らない	知っているが、利用していないが、知っている	利用している・利用したことがある	『認知度』
いこいの家（老人いこいの家）	37.8	51.1	5.3	56.4	36.0	54.8	5.5	60.3
成年後見制度	42.2	50.6	0.8	51.4	46.0	48.8	0.8	49.6
地域包括支援センター	45.5	45.1	5.3	50.4	52.1	39.0	4.8	43.8
老人クラブ	43.8	47.6	2.6	50.2	-	-	-	-
福寿手帳	54.8	35.2	3.5	38.7	58.3	34.2	3.0	37.2
シニア向けパソコン・スマホ教室	55.3	37.1	1.2	38.3	57.7	36.8	1.0	37.8
いきいきセンター（老人福祉センター・地域交流センター）	58.7	31.8	2.9	34.7	58.1	34.3	2.9	37.2
敬老入浴デー、敬老の日入浴デー	60.8	31.0	2.1	33.1	-	-	-	-
高齢者住宅改造費助成	64.7	27.5	1.5	29.0	62.5	32.1	1.5	33.6
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	65.1	27.5	0.9	28.4	65.4	29.3	0.7	30.0
緊急通報システム	68.4	24.6	1.1	25.7	70.4	22.6	1.0	23.6
訪問理美容サービス	70.3	23.5	0.8	24.3	68.8	26.8	0.5	27.3
療養通所介護	70.8	21.7	0.5	22.2	71.6	23.1	0.3	23.4
紙おむつの給付	73.5	20.2	1.1	21.3	72.1	23.1	1.1	24.2
夜間対応型訪問介護	72.1	20.8	0.4	21.2	71.8	23.7	0.3	24.0
（看護）小規模多機能型居宅介護	73.0	19.6	0.5	20.1	74.6	20.1	0.4	20.5
高齢者外出支援サービス事業（おでかけGo!）	75.4	17.2	1.7	18.9	72.8	20.4	2.5	22.9
金銭管理などの日常生活自立支援事業	75.1	17.6	0.3	17.9	76.8	18.3	0.2	18.5
シニアライブ講演会	77.8	14.4	0.7	15.1	78.4	16.3	0.3	16.6
認知症コールセンター～サポートほっと～	79.7	13.4	0.4	13.8	81.0	14.3	0.3	14.6
いこい元気広場	79.8	12.1	1.5	13.6	83.7	9.9	1.0	10.9
認知症サポーター等養成講座	80.0	11.9	1.3	13.2	82.7	12.0	0.8	12.8
認知症等行方不明SOSネットワーク事業	80.5	12.0	0.4	12.4	83.2	11.5	0.2	11.7
日常生活用具給付（自動消火器、電磁調理器）	82.0	11.4	0.8	12.2	81.6	13.1	1.0	14.1
認知症疾患医療センター	82.5	9.8	0.4	10.2	85.9	8.2	0.2	8.4
介護予防・日常生活支援総合事業	82.9	9.7	0.4	10.1	86.0	8.0	0.1	8.1
傾聴講座（NPO法人と市が協働実施）	82.7	9.2	0.7	9.9	85.1	8.9	0.5	9.4
介護予防いきいき大作戦	84.8	7.6	0.6	8.2	88.9	5.3	0.2	5.5
寝具乾燥	87.0	7.1	0.4	7.5	87.4	8.0	0.2	8.2
健幸福寿プロジェクト	86.6	6.0	0.4	6.4	89.2	4.9	0.1	5.0

※「無回答」は掲載を省略

※『認知度』＝「利用していないが、知っている」＋「利用している・利用したことがある」

※「敬老入浴デー、敬老の日入浴デー」「老人クラブ」は令和7年度からの選択肢

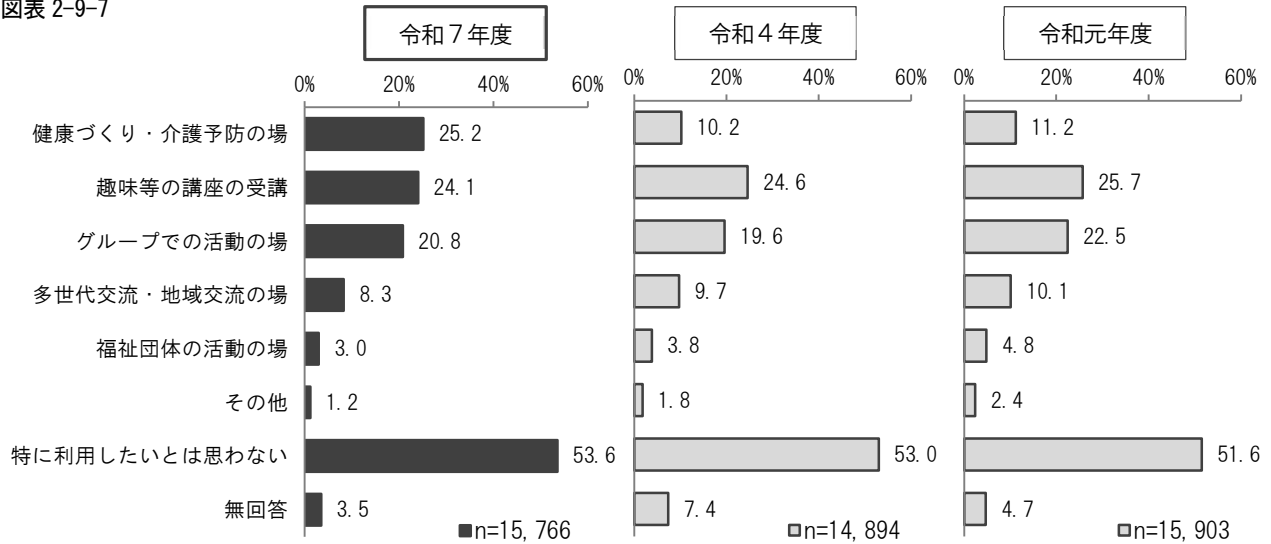
※「パソコン教室」は令和7年度から「シニア向けパソコン・スマホ教室」に名称変更

※「すこやか福寿手帳」は令和7年度から「福寿手帳」に名称変更

問34 あなたは、いこいの家（老人いこいの家）やいきいきセンター（老人福祉センター・地域交流センター）をどのようなことで利用したいと思いますか。（あてはまるものすべてを選択）

▶ 「特に利用したいとは思わない」人の割合が増加傾向となっており、5割を超えている

図表 2-9-7



※「趣味や娯楽等のグループでの活動の場」は令和7年度から「グループでの活動の場」に変更

※「介護予防の場（ミナモトイビスなどの福祉の拠点）」は令和7年度から「健康づくり・介護予防の場」に変更

▶ 65～79歳の男性について、「特に利用したいとは思わない」人の割合が6割を上回っている

図表 2-9-8

単位：%

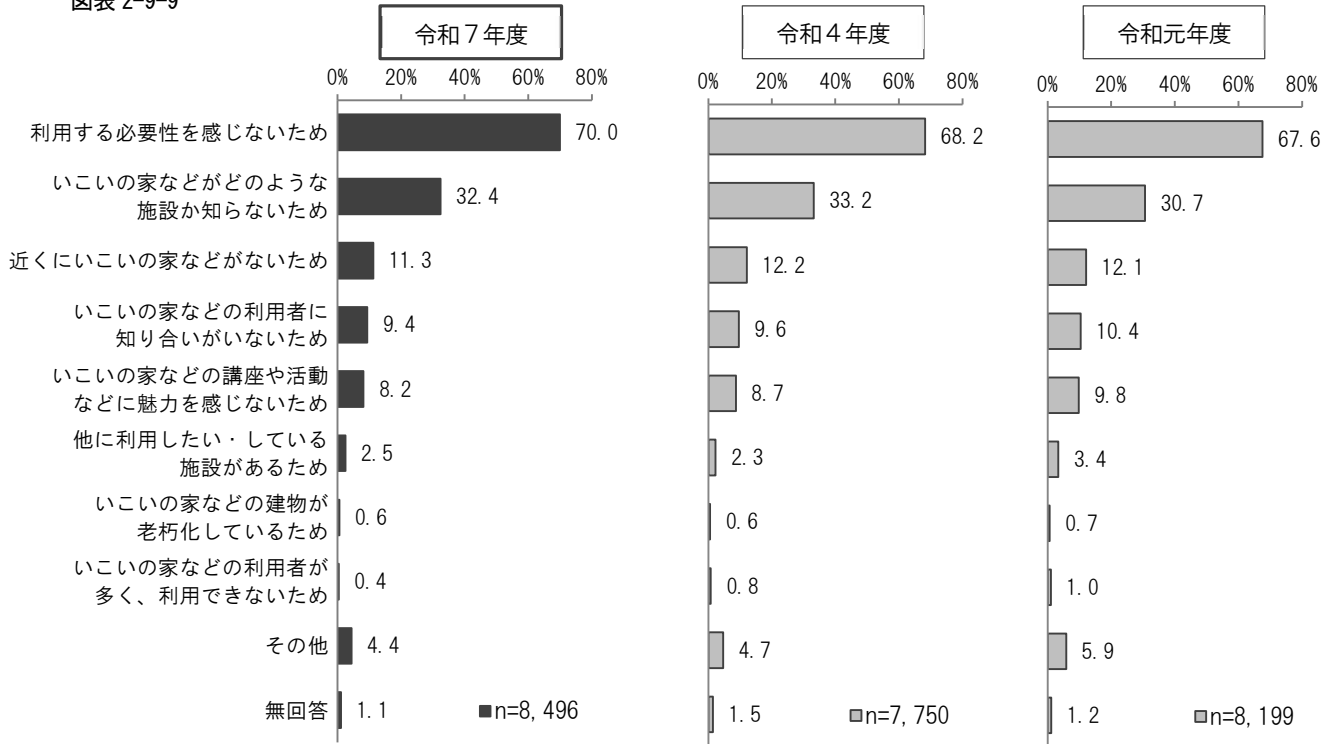
項目	回答者数(人)	健康づくり・介護予防の場	趣味等の講座の受講	グループでの活動の場	多世代交流・地域交流の場	福祉団体の活動の場	その他	特に利用したいとは思わない	
全体	15,766	25.2	24.1	20.8	8.3	3.0	1.2	53.6	
男性	65～69歳	1,936	20.7	22.2	14.1	9.6	2.7	1.5	62.7
	70～74歳	1,854	19.4	18.7	13.5	7.5	1.8	0.6	63.9
	75～79歳	1,874	20.0	18.6	14.2	7.0	2.8	1.1	60.6
	80～84歳	1,148	21.8	16.9	16.2	7.2	2.8	1.1	58.6
	85～89歳	480	18.2	17.5	18.3	5.1	2.9	3.6	54.7
	90歳以上	118	16.6	9.8	14.6	6.7	4.1	3.7	60.9
女性	65～69歳	1,924	30.9	32.3	24.2	10.7	4.1	0.8	49.2
	70～74歳	1,952	30.0	32.0	27.5	8.5	3.0	0.7	47.8
	75～79歳	2,247	29.6	26.9	26.9	8.4	3.3	1.6	47.4
	80～84歳	1,415	28.9	25.9	27.3	8.7	2.9	1.7	40.4
	85～89歳	600	30.9	21.1	27.3	8.2	3.8	1.8	43.7
	90歳以上	185	13.1	13.8	12.6	4.3	3.8	1.6	63.4

※「無回答」は掲載を省略

問34-1 「特に利用したいとは思わない」と答えた方におうかがいします。
その理由について、ご回答ください。（あてはまるものすべてを選択）

▶ いこいの家やいきいきセンターを特に利用したいと思わない理由については、7割が「利用する必要性を感じないため」となっている

図表 2-9-9



図表 2-9-10

単位：%

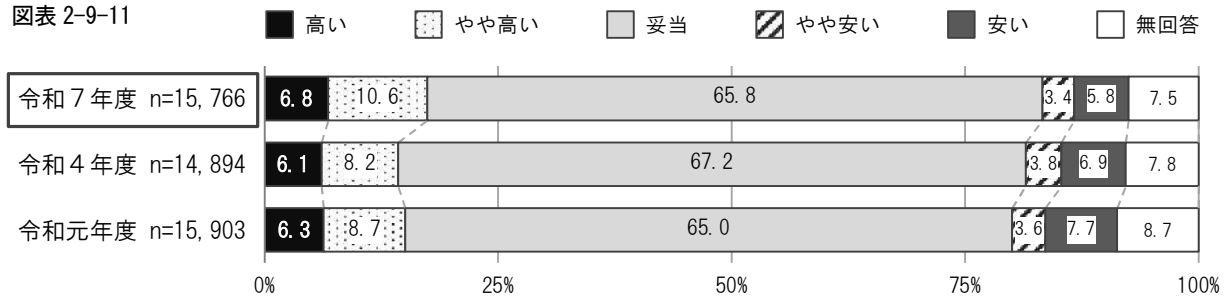
項目	回答者数(人)	利用する必要性を感じないため	どのような施設か知らないため	近くにないため	利用者に知り合いがないため	講座や活動などに魅力を感じないため	他に利用したい・している施設があるため	建物が老朽化しているため	利用者が多く、利用できないため
全体	8,496	70.0	32.4	11.3	9.4	8.2	2.5	0.6	0.4
男性	65~69歳	1,228	74.5	35.1	7.1	5.9	6.9	1.1	0.2
	70~74歳	1,177	72.1	38.4	10.6	9.9	6.9	1.2	0.3
	75~79歳	1,143	70.1	39.7	10.9	9.2	9.3	1.8	0.5
	80~84歳	658	70.6	35.3	14.1	11.7	10.1	1.7	1.0
	85~89歳	264	66.5	36.6	13.1	11.7	7.3	1.1	1.0
	90歳以上	67	73.7	33.8	8.8	11.7	3.8	-	-
女性	65~69歳	949	72.5	26.6	11.0	7.8	7.3	3.6	0.0
	70~74歳	929	68.8	28.3	12.0	10.9	8.3	3.8	0.2
	75~79歳	1,096	67.4	26.4	12.8	9.6	8.6	4.2	0.5
	80~84歳	580	63.4	28.2	14.7	9.9	8.4	3.7	1.0
	85~89歳	261	60.7	24.0	13.0	11.6	12.3	4.7	1.1
	90歳以上	119	69.7	19.9	10.8	12.9	9.0	1.8	0.5

※「その他」「無回答」は掲載を省略

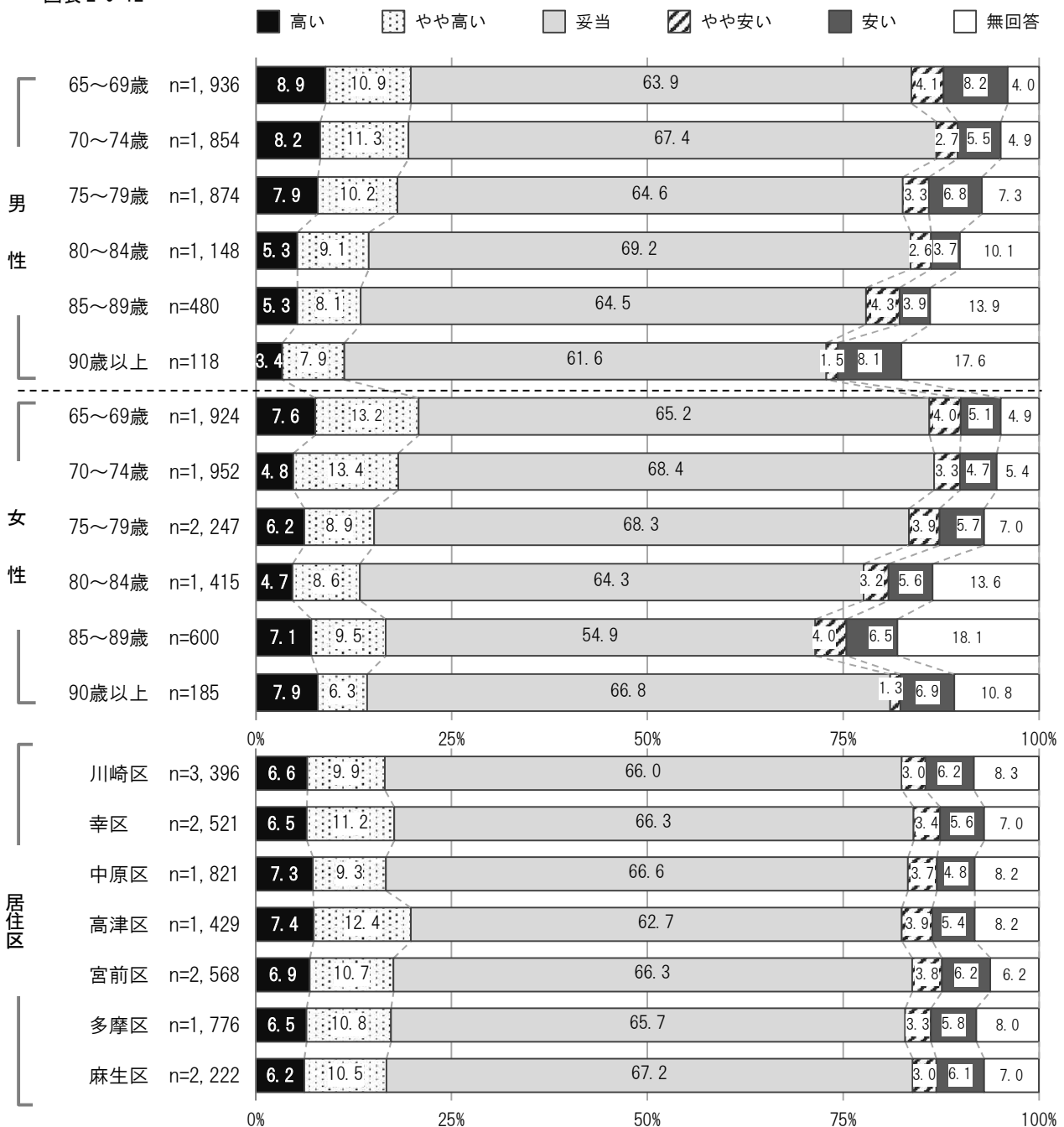
問35 現在、高齢者特別乗車証明書、高齢者フリーパスの制度は、市税で一部を負担していますが、利用者の負担金をどのように考えますか。（1つを選択）

▶ 利用者の負担金について、「高い」「やや高い」と考える人の割合が前回調査より増加し、合わせて2割弱となっている

図表 2-9-11



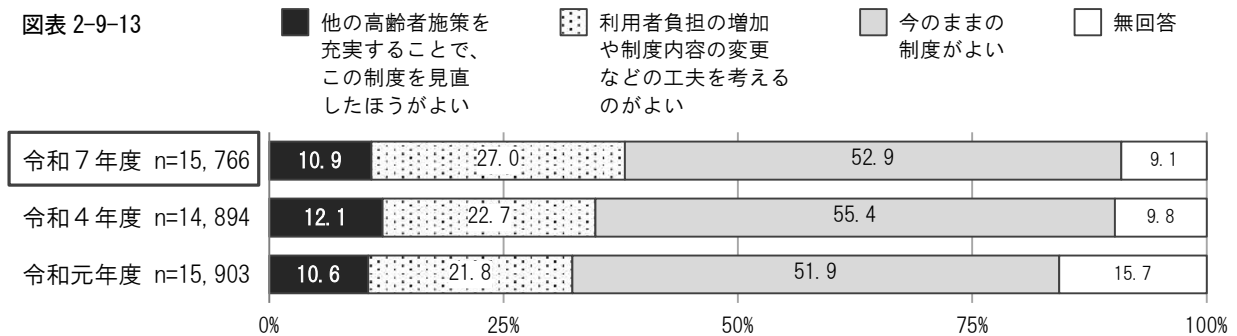
図表 2-9-12



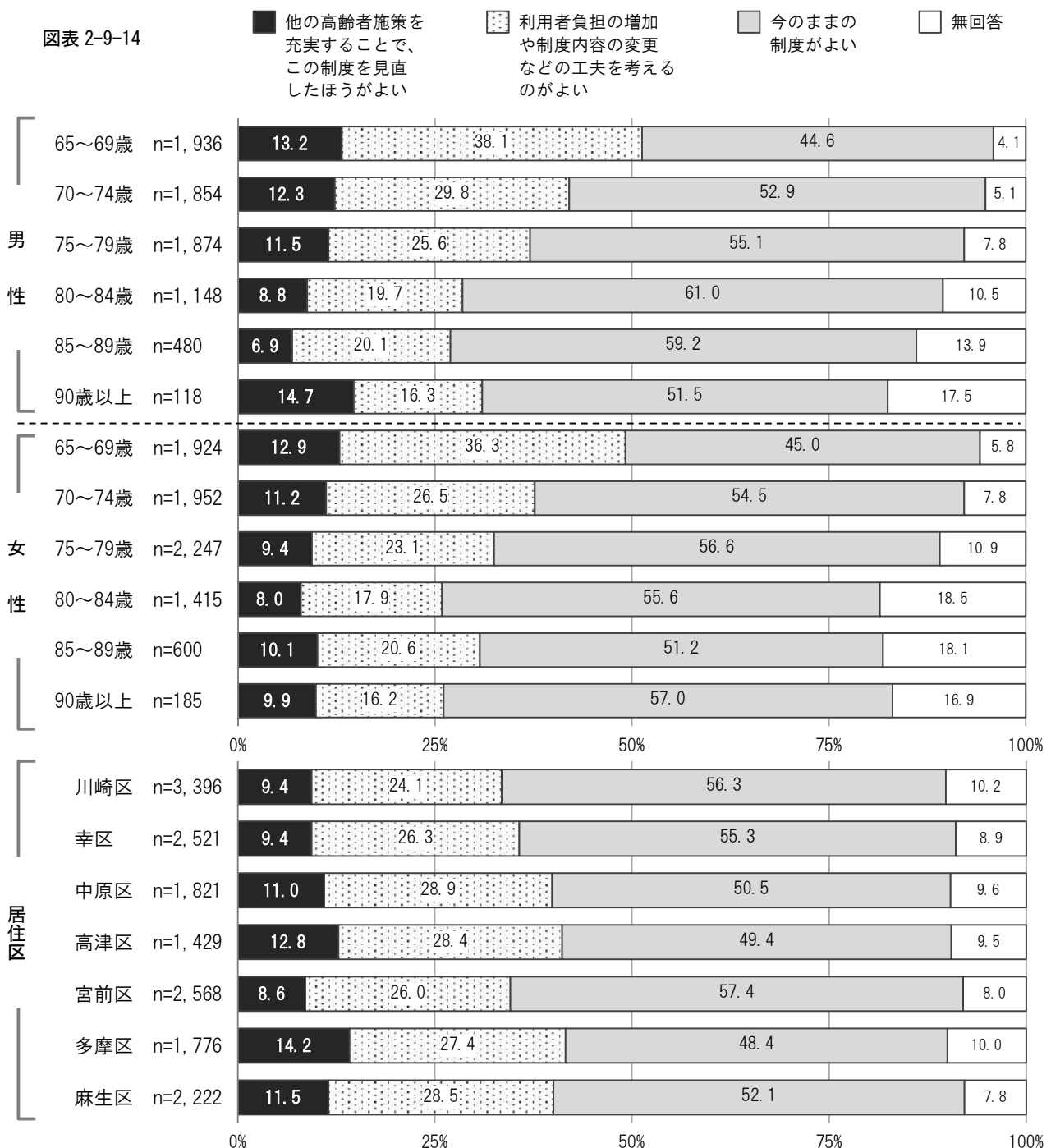
問36 将来的に高齢者が増加していく中で、今後、この高齢者特別乗車証明書、高齢者フリーパスの制度をどのように思いますか。（1つを選択）

▶ 「利用者負担の増加や制度内容の変更などの工夫を考えるのがよい」と思う人の割合が前回調査より増加し、3割弱となっている

図表 2-9-13



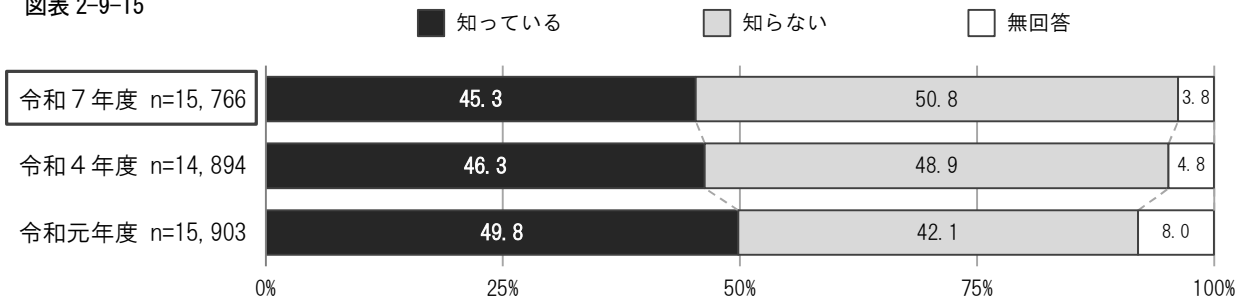
図表 2-9-14



問37 「介護予防」とは、要介護状態（寝たきりや認知症）にならないようにするための取組ですが、あなたは知っていますか。（1つを選択）

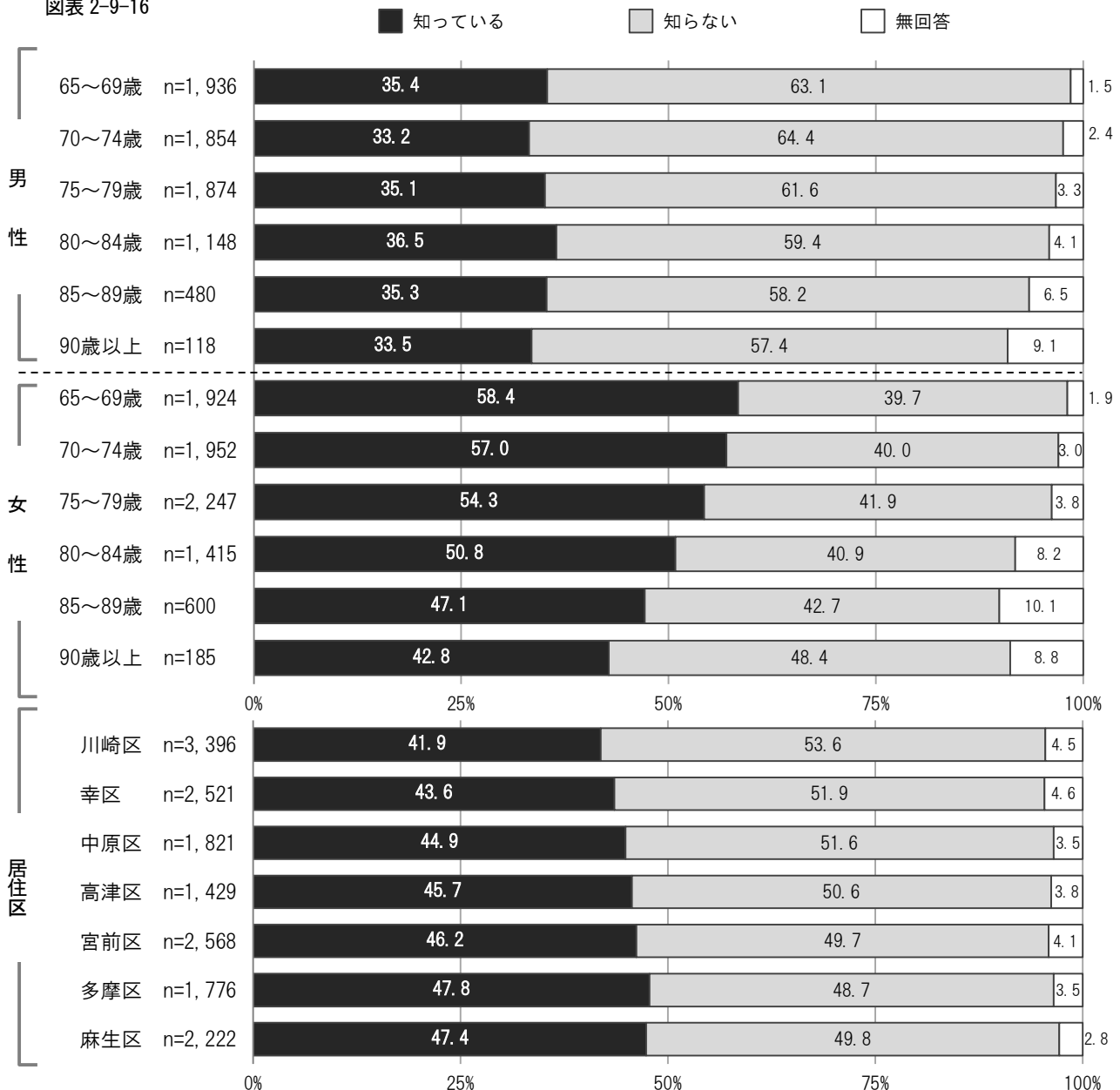
▶ 介護予防について、「知っている」人の割合が前回調査より微減し、4割を超えるにとどまっている

図表 2-9-15



▶ 男性は介護予防を「知っている」人の割合が4割を下回っている一方、女性は「知っている」人の割合が4割を超え、65～69歳で約6割となっている

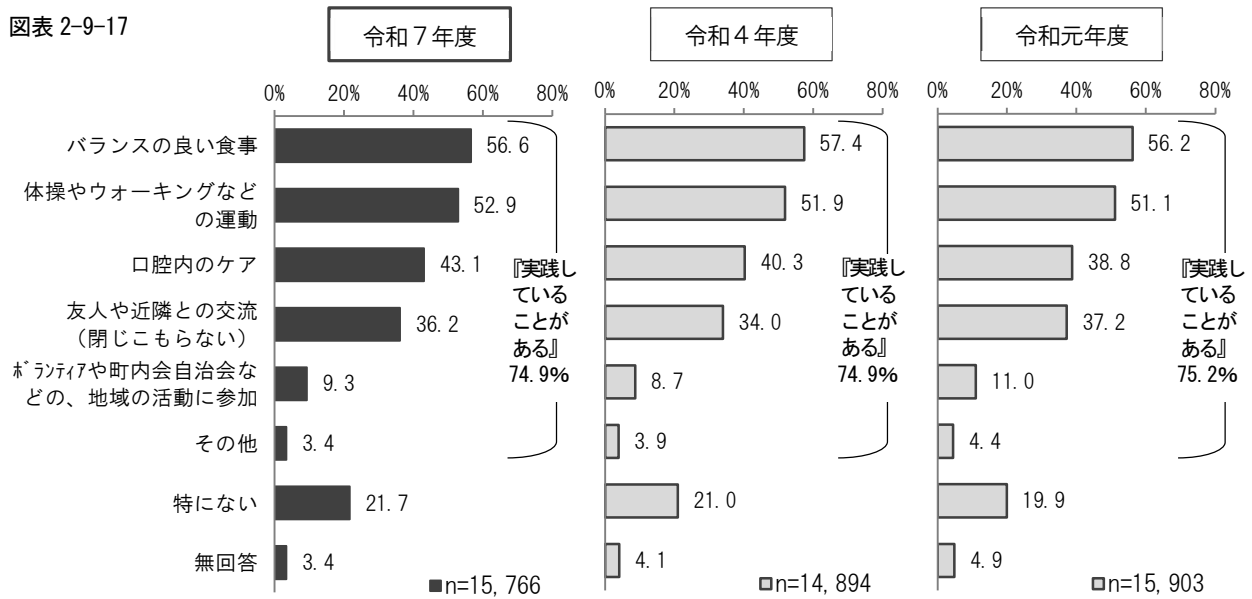
図表 2-9-16



問38 あなたは、介護予防の取組で、何か実践していることがありますか。
(あてはまるものすべてを選択)

▶ 介護予防の取組で実践していることがある人の割合は7割を超えており、「口腔内のケア」を実践している人の割合が増加傾向となっている

図表 2-9-17



※『実践していることがある』=100%-「特にない」-「無回答」

▶ 実践している人の割合は65～84歳の女性が高く、居住区別では「麻生区」で実践している人の割合が高くなっている

図表 2-9-18

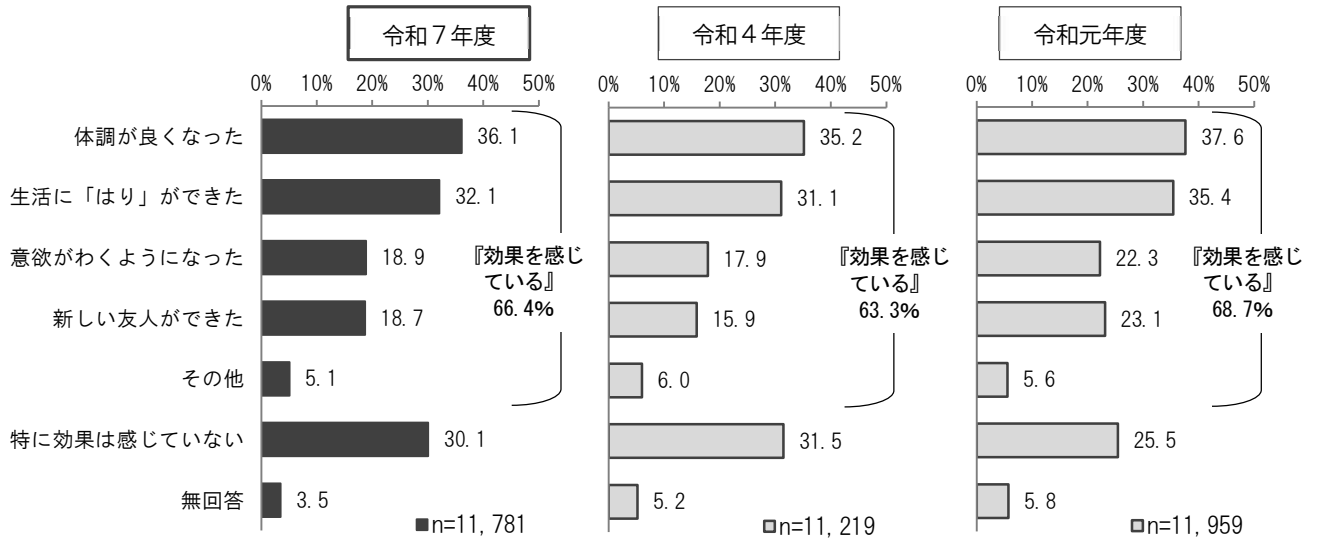
項目		回答者数(人)	バランスの良い食事	運動	体操やウォーキングなどの運動	口腔内のケア	友人や近隣との交流(閉じこもらない)	ボランティアなどの地域への参加	その他	特にない
全体		15,766	56.6	52.9	43.1	36.2	9.3	3.4	21.7	
男性	65～69歳	1,936	47.0	48.2	34.1	22.9	6.0	3.1	32.0	
	70～74歳	1,854	47.0	48.1	32.6	25.0	8.4	3.1	31.7	
	75～79歳	1,874	47.6	50.2	33.9	26.6	9.5	2.7	26.8	
	80～84歳	1,148	51.4	51.6	31.6	27.2	10.2	3.1	24.8	
	85～89歳	480	51.7	46.5	28.3	25.9	8.7	3.8	22.9	
	90歳以上	118	41.9	31.8	25.2	14.8	7.7	3.3	31.1	
女性	65～69歳	1,924	62.9	54.6	53.5	42.6	8.6	4.8	17.7	
	70～74歳	1,952	65.4	59.4	55.5	47.1	10.1	2.8	15.2	
	75～79歳	2,247	66.0	58.9	53.3	48.5	11.3	3.8	14.5	
	80～84歳	1,415	63.4	55.4	48.9	47.7	10.3	2.9	13.1	
	85～89歳	600	62.6	52.0	43.5	44.1	12.1	3.7	14.4	
	90歳以上	185	53.7	36.5	39.9	34.8	6.0	5.1	27.4	
居住区	川崎区	3,396	49.7	47.1	38.1	32.9	9.1	3.0	25.2	
	幸区	2,521	54.1	50.6	40.4	34.1	10.9	3.3	22.4	
	中原区	1,821	56.6	53.3	43.9	35.9	9.3	3.7	22.0	
	高津区	1,429	56.5	52.6	42.3	34.9	8.1	3.1	21.2	
	宮前区	2,568	57.5	54.0	43.1	39.4	8.8	3.7	21.6	
	多摩区	1,776	59.8	54.7	44.8	37.5	9.9	3.3	20.8	
	麻生区	2,222	62.5	58.1	49.1	38.6	9.4	3.4	18.5	

※「無回答」は掲載を省略

問38-1 前問で「実践していることがある」と答えた方におうかがいします。取組を通して、どのような効果を感じていますか。（あてはまるものすべてを選択）

▶ 介護予防の取組を実践している人のうち、何らかの効果を感じている人の割合は前回調査より増加し、6割を超えている

図表 2-9-19



※『効果を感じている』=100%-「特に効果は感じていない」-「無回答」

▶ 65～89歳の男性について、「体調が良くなった」と実感する割合が高くなっており、70～89歳の女性は、「生活に『はり』ができた」と実感する割合が高くなっている

図表 2-9-20

単位：%

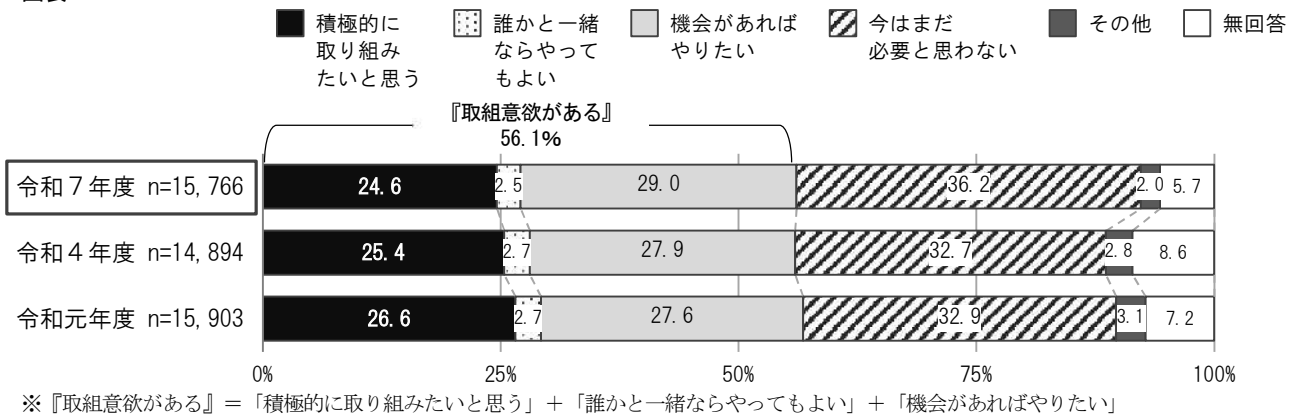
項目	回答者数(人)	体調が良くなった	生活に「はり」ができた	意欲がわくようになった	新しい友人ができた	その他	特に効果は感じていない	
全体	11,781	36.1	32.1	18.9	18.7	5.1	30.1	
男性	65～69歳	1,310	41.7	24.0	15.8	10.7	3.6	36.7
	70～74歳	1,200	39.9	26.9	18.0	14.5	3.7	33.6
	75～79歳	1,298	38.3	27.5	17.2	14.5	4.1	33.1
	80～84歳	805	40.6	27.0	19.3	16.4	4.9	30.2
	85～89歳	322	41.5	28.7	20.4	13.5	3.9	27.8
	90歳以上	67	24.6	21.5	7.9	4.7	9.4	47.6
女性	65～69歳	1,555	33.2	33.5	18.3	18.6	6.7	31.5
	70～74歳	1,615	33.3	37.5	20.3	21.4	5.7	28.3
	75～79歳	1,857	34.3	36.1	20.8	24.4	6.2	27.2
	80～84歳	1,145	31.2	38.2	20.1	26.2	5.8	23.6
	85～89歳	459	32.9	40.2	20.3	24.5	4.3	24.3
	90歳以上	122	35.6	27.8	17.8	14.0	1.4	24.9

※「無回答」は掲載を省略

問39 あなたは今後、介護予防に取り組みたいと思いますか。（1つを選択）

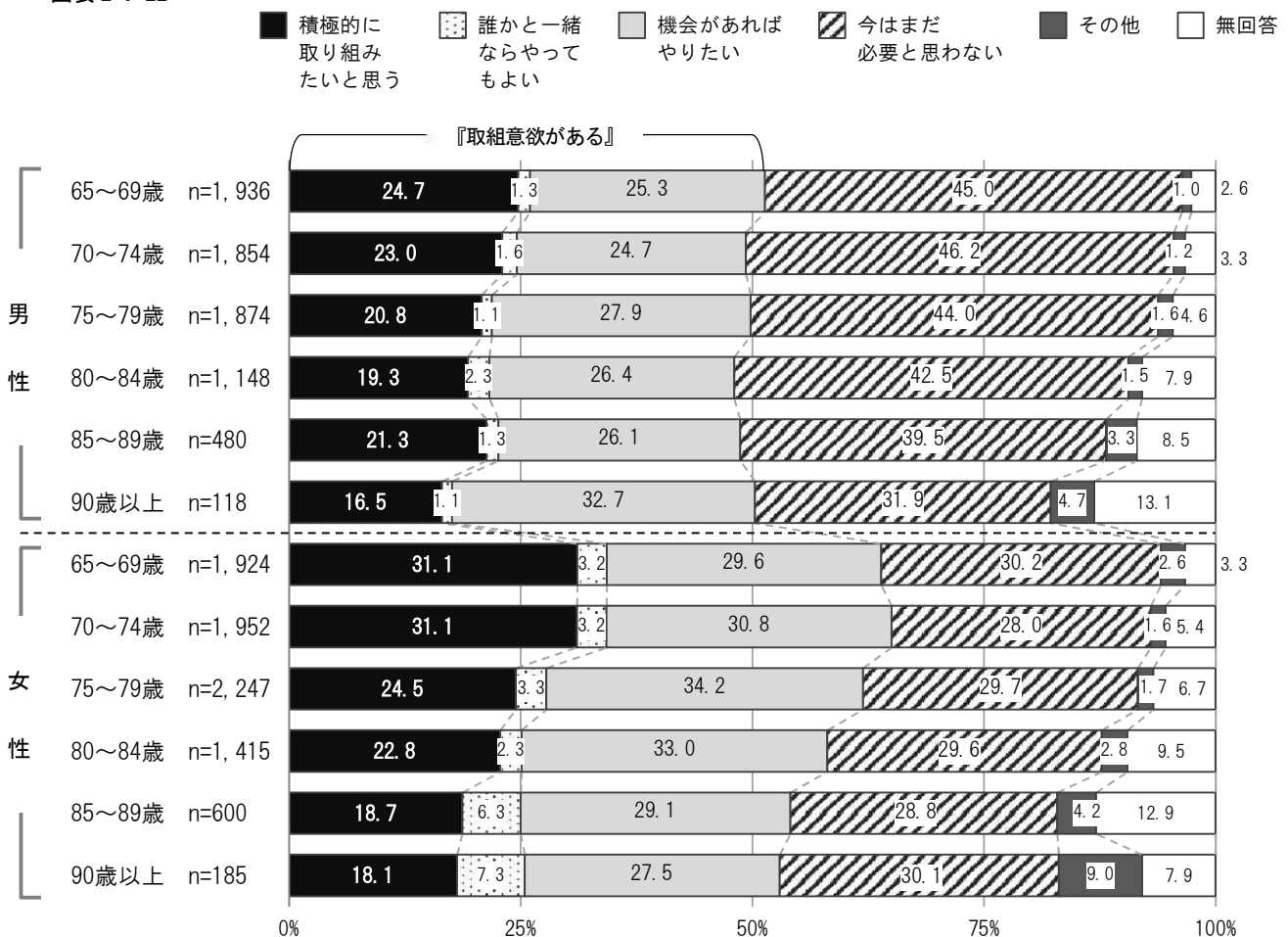
▶ 介護予防に『取組意欲がある』人の割合は前回調査より変化はなく、5割を超えている

図表 2-9-21



▶ 65～79歳の女性について、介護予防に『取組意欲がある』人の割合が高く、6割を上回っている

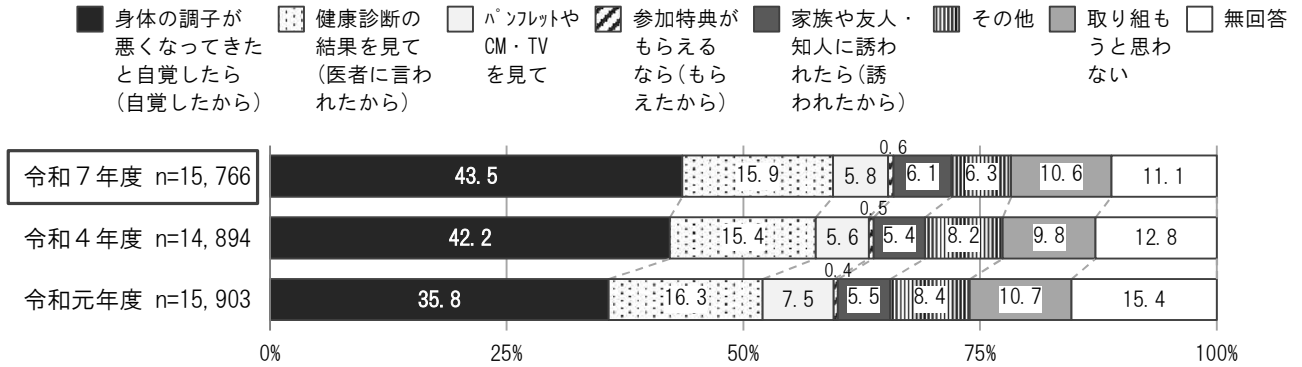
図表 2-9-22



問40 あなたは、どのようなきっかけで、介護予防に取り組もうと思いますか（取り組み始めましたか）。（1つを選択）

▶ 「身体の調子が悪くなってきたと自覚したら（自覚したから）」介護予防に取り組もうと思う割合が前回調査より微増し、4割を超えている

図表 2-9-23



図表 2-9-24

単位：%

項目	回答者数（人）	身体が悪くなってきたと自覚したら（自覚したから）	健康診断の結果を見て（医者に言われたから）	パンフレットやCM・TVを見て	参加特典がもらえるなら（もらえたから）	家族や友人・知人に誘われたら（誘われたから）	その他	取り組もうと思わない	
全体	15,766	43.5	15.9	5.8	0.6	6.1	6.3	10.6	
男性	65～69歳	1,936	47.1	20.3	2.8	1.0	4.3	5.5	14.0
	70～74歳	1,854	47.4	19.3	3.8	0.9	4.5	5.2	13.1
	75～79歳	1,874	44.2	16.4	4.0	0.2	4.2	5.5	15.2
	80～84歳	1,148	39.0	18.6	3.8	0.3	5.7	5.1	13.5
	85～89歳	480	40.5	14.1	4.9	0.4	4.9	6.6	14.8
	90歳以上	118	41.9	11.5	2.3	-	3.8	7.3	19.0
女性	65～69歳	1,924	45.9	17.1	8.2	1.2	6.2	8.1	5.9
	70～74歳	1,952	44.7	12.9	8.1	1.1	7.9	6.7	6.7
	75～79歳	2,247	42.4	13.3	8.5	0.3	8.2	6.7	7.4
	80～84歳	1,415	39.6	13.4	7.5	0.3	7.3	6.0	8.0
	85～89歳	600	36.1	10.8	4.7	0.1	8.4	6.4	10.1
	90歳以上	185	28.5	13.6	4.4	0.4	8.7	9.4	17.2
居住区	川崎区	3,396	43.0	15.2	5.7	0.6	5.2	5.4	13.1
	幸区	2,521	42.7	16.3	5.9	0.8	6.3	5.4	10.7
	中原区	1,821	43.7	16.7	5.6	0.6	6.3	6.9	10.7
	高津区	1,429	43.9	16.0	5.6	0.6	7.0	6.0	9.2
	宮前区	2,568	44.7	15.7	6.4	0.4	6.3	6.3	10.4
	多摩区	1,776	43.1	15.1	5.7	0.8	6.2	6.5	10.9
	麻生区	2,222	43.4	16.7	5.9	0.7	6.0	7.2	8.7

※「無回答」は掲載を省略

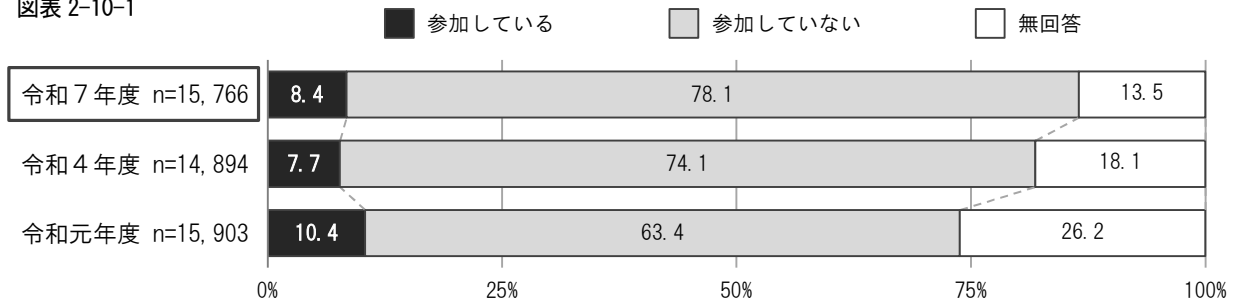
10 地域での活動について

問41 次の①～④の会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。なお、老人クラブ・町内会・自治会の活動をのぞきます。（それぞれ1つを選択）

▶ いずれの会・グループ等についても『参加していない』人の割合は増加傾向となっている

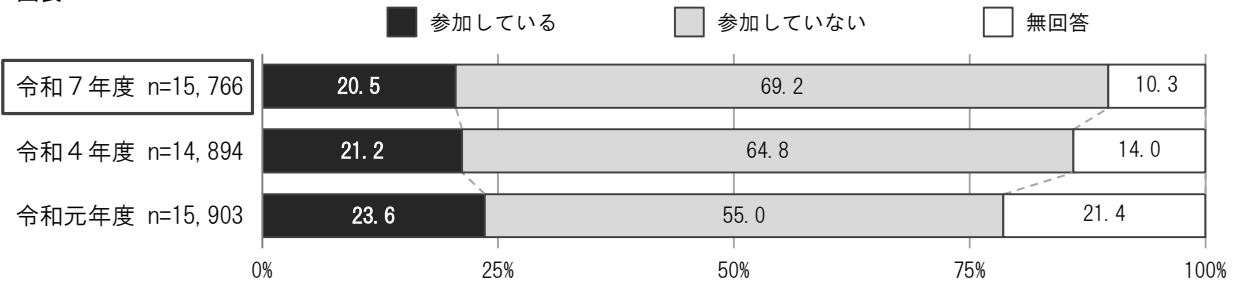
① ボランティアのグループ

図表 2-10-1



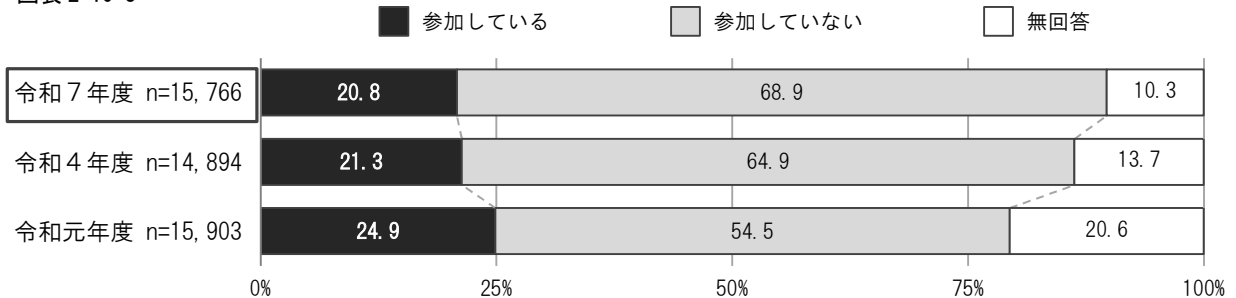
② スポーツ関係のグループやクラブ

図表 2-10-2



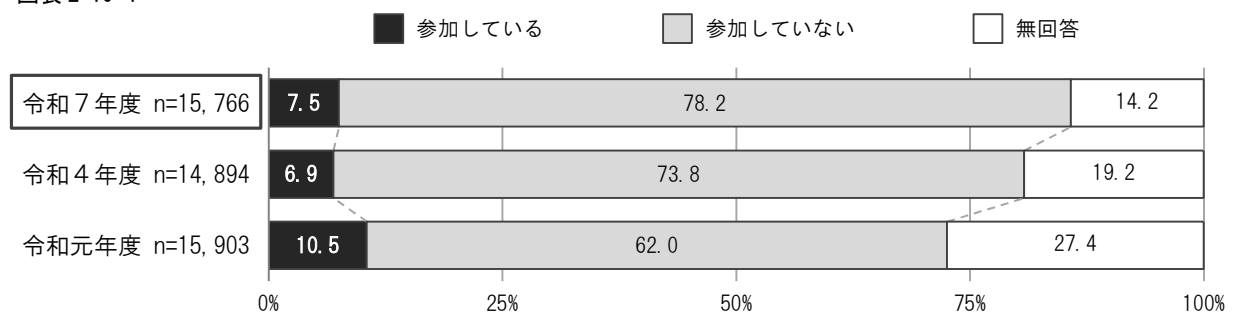
③ 趣味関係のグループ

図表 2-10-3



④ 学習・教養サークル

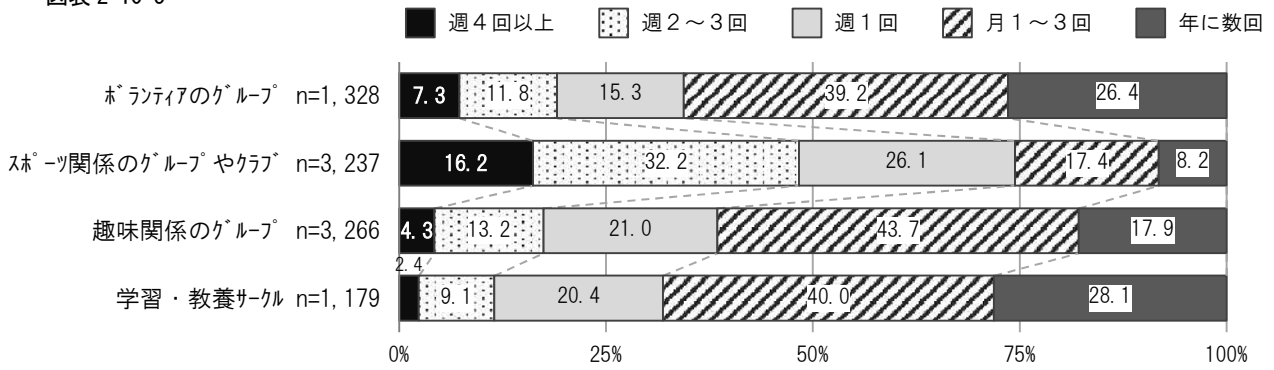
図表 2-10-4



※参加している = 「週4回以上」 + 「週2～3回」 + 「週1回」 + 「月1～3回」 + 「年に数回」の回答にて集計

▶ 「スポーツ関係のグループやクラブ」に『参加している』人の参加頻度は、「週4回以上」と「週2～3回」を合わせて約5割となっている

図表 2-10-5

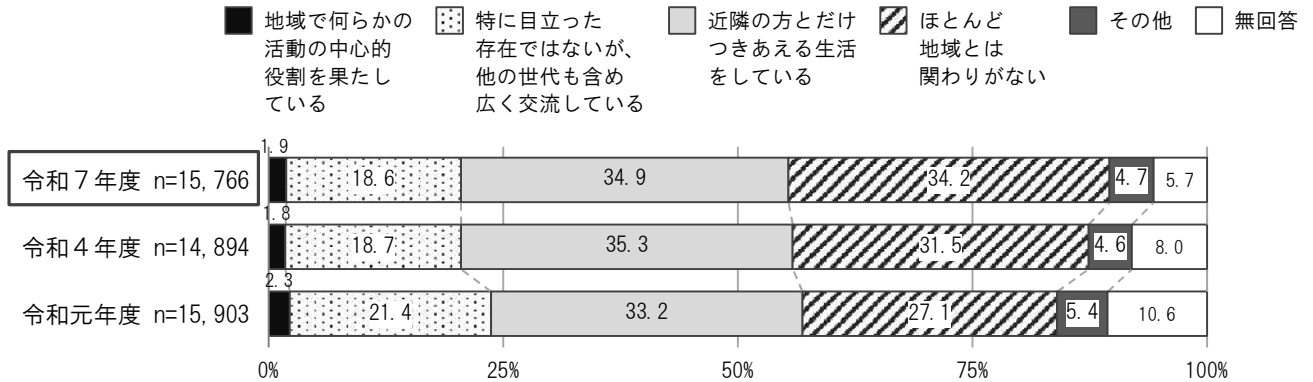


11 今後の暮らし方について

問42 あなたは、今から数年後（おおむね5年後）の地域社会との関わりについて、どのように考えていますか。（1つを選択）

▶ 数年後は「ほとんど地域とは関わりがない」と考えている人の割合が増加傾向にあり、3割を超えている

図表 2-11-1



▶ 65～74歳の男性について、数年後は「ほとんど地域とは関わりがない」と考えている人の割合が高くなっており、65～74歳の女性では「特に目立った存在ではないが、他の世代も含め広く交流している」と考えている人の割合が高くなっている

図表 2-11-2

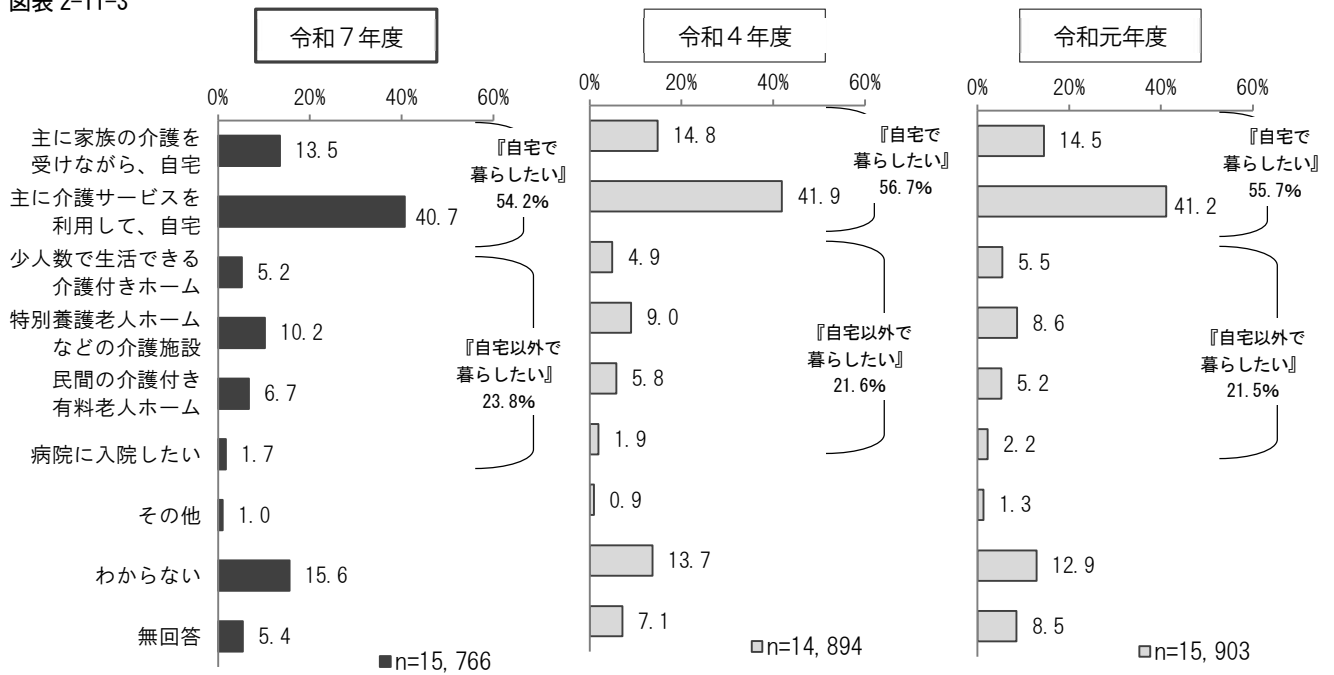
単位：%

項目		回答者数(人)	地域で何らかの活動の中心的役割を果たしている	特に目立った存在ではないが、他の世代も含め広く交流している	近隣の方とだけつきあえる生活をしている	ほとんど地域とは関わりがない	その他	無回答
全体		15,766	1.9	18.6	34.9	34.2	4.7	5.7
男性	65～69歳	1,936	2.9	18.1	28.0	45.8	3.4	1.8
	70～74歳	1,854	3.0	15.6	31.7	43.8	3.1	2.9
	75～79歳	1,874	2.4	14.8	35.3	38.8	4.1	4.6
	80～84歳	1,148	2.0	13.0	38.1	34.9	4.5	7.5
	85～89歳	480	2.6	9.6	33.9	36.0	7.6	10.2
	90歳以上	118	-	8.1	30.9	41.2	8.5	11.4
女性	65～69歳	1,924	1.6	25.8	30.2	33.3	6.0	3.0
	70～74歳	1,952	1.5	25.1	34.6	29.1	4.6	5.1
	75～79歳	2,247	1.0	22.4	39.1	25.6	5.1	6.8
	80～84歳	1,415	1.5	15.7	42.8	24.4	5.6	10.1
	85～89歳	600	0.7	12.8	42.8	22.1	6.2	15.5
	90歳以上	185	-	9.1	33.5	39.1	4.8	13.7

問43 あなたは、介護が必要になった場合、どのようにしたいですか。（1つを選択）

▶ 介護が必要になった場合、どのようにしたいかの割合について、『自宅で暮らしたい』人の割合が最も高く、5割を超えている

図表 2-11-3



※『自宅で暮らしたい』＝「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」＋「主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい」
 ※『自宅以外で暮らしたい』＝「少人数で生活できる介護付きホームで暮らしたい」＋「特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい」＋「民間の介護付き有料老人ホームに入りたい」＋「病院に入院したい」

- ▶ 80歳以上の男性について、『自宅で暮らしたい』と考えている人の割合が高くなっており、居住区別では「宮前区」「多摩区」「麻生区」で割合が高くなっている
- ▶ 「一人暮らし高齢者」について、『自宅以外で暮らしたい』と考えている人の割合が高くなっている

図表 2-11-4

単位：％

項目		回答者数(人)	主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい	主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい	少数で生活できる介護付きホーム(住宅)で暮らしたい	特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい	民間の介護付き有料老人ホームに入りたい	病院に入院したい	『自宅で暮らしたい』	『自宅以外で暮らしたい』
全体		15,766	13.5	40.7	5.2	10.2	6.7	1.7	54.2	23.8
男性	65～69歳	1,936	14.1	37.4	4.4	10.4	7.7	1.2	51.5	23.7
	70～74歳	1,854	15.9	37.4	4.6	11.7	6.8	1.6	53.3	24.7
	75～79歳	1,874	17.3	39.1	3.5	10.2	6.7	1.5	56.4	21.9
	80～84歳	1,148	21.6	38.5	2.4	9.0	5.4	2.1	60.1	18.9
	85～89歳	480	25.3	32.2	2.6	10.8	4.7	1.7	57.5	19.8
	90歳以上	118	28.3	29.7	-	7.6	13.8	4.6	58.0	26.0
女性	65～69歳	1,924	6.9	44.0	8.1	9.4	8.3	0.7	50.9	26.5
	70～74歳	1,952	9.0	44.8	7.3	9.5	7.0	1.0	53.8	24.8
	75～79歳	2,247	9.3	45.6	5.9	11.3	6.5	2.3	54.9	26.0
	80～84歳	1,415	11.2	42.6	6.2	10.1	5.6	1.9	53.8	23.8
	85～89歳	600	17.5	37.3	3.4	8.5	4.4	3.6	54.8	19.9
	90歳以上	185	25.6	29.1	0.9	10.6	3.9	7.6	54.7	23.0
居住区	川崎区	3,396	13.6	38.2	5.4	9.8	4.6	2.5	51.8	22.3
	幸区	2,521	14.3	40.3	5.0	10.7	5.6	2.2	54.6	23.5
	中原区	1,821	12.1	40.2	6.0	11.5	7.6	1.7	52.3	26.8
	高津区	1,429	12.2	41.3	5.2	9.9	7.3	1.4	53.5	23.8
	宮前区	2,568	14.6	41.8	5.4	9.0	6.2	1.3	56.4	21.9
	多摩区	1,776	13.9	41.6	5.2	11.1	6.9	1.5	55.5	24.7
	麻生区	2,222	13.4	42.1	4.2	9.8	9.0	1.2	55.5	24.2
家族構成	一人暮らし高齢者	3,338	5.0	37.8	6.8	12.1	7.6	2.6	42.8	29.1
	夫婦世帯	6,807	15.5	41.9	4.4	9.3	8.3	1.0	57.4	23.0
	子や孫など同居	4,469	17.1	41.8	5.2	9.8	4.0	1.9	58.9	20.9
	その他の世帯	835	10.6	38.1	6.4	12.0	5.9	2.5	48.7	26.8

※「その他」「わからない」「無回答」は掲載を省略

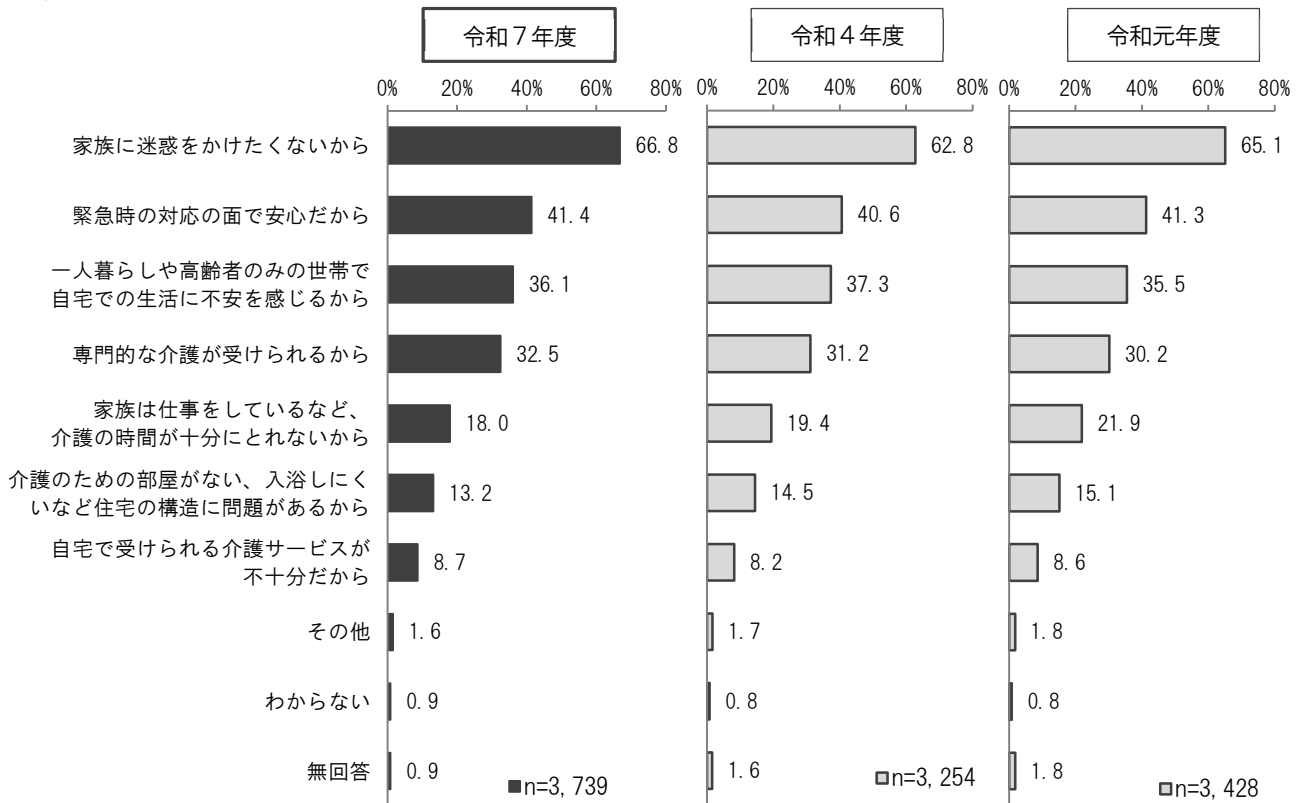
※『自宅で暮らしたい』＝「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」＋「主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい」

※『自宅以外で暮らしたい』＝「少数で生活できる介護付きホームで暮らしたい」＋「特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい」＋「民間の介護付き有料老人ホームに入りたい」＋「病院に入院したい」

問43-1 前問で「少人数の介護付きホーム（住宅）」「特別養護老人ホーム等介護施設入所」「介護付き有料老人ホーム」「病院に入院」と答えた方におうかがいします。
 なぜ自宅以外で生活したいとお考えですか。（あてはまるもの3つまでを選択）

▶ 自宅以外で生活したいと考える理由として「家族に迷惑をかけたくないから」と考える人の割合が前回調査より増加し、7割弱となっている

図表 2-11-5



図表 2-11-6

単位：%

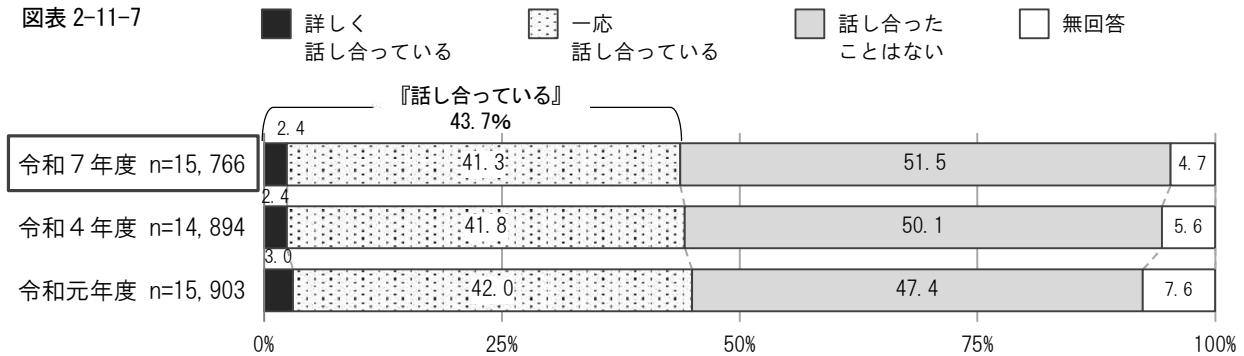
項 目		回答者数 (人)	家族に迷惑をかけたくないから	緊急時の対応の面で安心だから	一人暮らしや高齢者のみの世帯で 自宅での生活に不安を感じるから	専門的な介護が受けられるから	家族は仕事をしているなど、 介護の時間が十分にとれないから	介護のための部屋がない、入浴しにくい など住宅の構造に問題があるから	自宅で受けられる介護サービスが 不十分だから
全 体		3,739	66.8	41.4	36.1	32.5	18.0	13.2	8.7
男 性	65～69 歳	457	68.6	33.8	30.4	29.6	11.5	12.5	10.4
	70～74 歳	450	65.7	34.0	34.6	37.2	11.7	13.3	7.9
	75～79 歳	407	60.5	45.9	37.8	35.4	12.8	13.2	11.0
	80～84 歳	232	55.2	38.6	36.7	35.8	10.1	16.1	15.6
	85～89 歳	96	64.6	42.6	33.7	41.6	19.3	12.9	6.9
	90 歳以上	28	65.5	36.6	37.7	46.4	6.1	11.1	4.8
女 性	65～69 歳	519	72.3	36.0	32.8	25.9	22.7	14.0	6.6
	70～74 歳	483	71.7	48.2	39.9	29.6	21.0	13.2	8.7
	75～79 歳	567	67.0	45.4	36.6	33.6	23.0	14.4	8.3
	80～84 歳	328	68.1	45.0	41.8	33.8	23.6	10.5	5.9
	85～89 歳	122	66.0	52.6	40.6	32.4	24.5	10.6	4.7
	90 歳以上	41	54.2	44.5	27.2	28.7	30.0	6.5	11.8
家 族 構 成	一人暮らし高齢者	964	42.8	55.2	55.4	33.3	11.9	8.5	7.4
	夫婦世帯	1,551	73.4	39.3	40.6	34.2	10.6	12.9	9.4
	子や孫など同居	940	81.3	31.0	9.4	27.9	35.6	18.4	8.5
	その他の世帯	219	64.2	46.6	35.7	39.1	20.7	12.8	10.2
居 住 区	川崎区	756	62.6	43.0	37.1	31.6	21.6	13.5	7.1
	幸区	593	62.1	46.2	33.3	30.3	20.9	15.7	8.3
	中原区	484	65.7	36.2	38.4	30.7	17.7	15.0	7.9
	高津区	340	63.3	41.8	35.2	37.5	13.2	14.1	11.5
	宮前区	580	69.4	39.8	37.4	30.5	18.8	13.2	9.3
	多摩区	441	70.4	41.4	36.7	32.4	19.7	11.0	8.7
	麻生区	536	73.5	42.8	33.5	34.9	14.4	10.3	8.3

※「その他」「わからない」「無回答」は掲載を省略

問44 あなたは、人生の最終段階における医療・介護について、ご家族の方と話し合っていますか。（1つを選択）

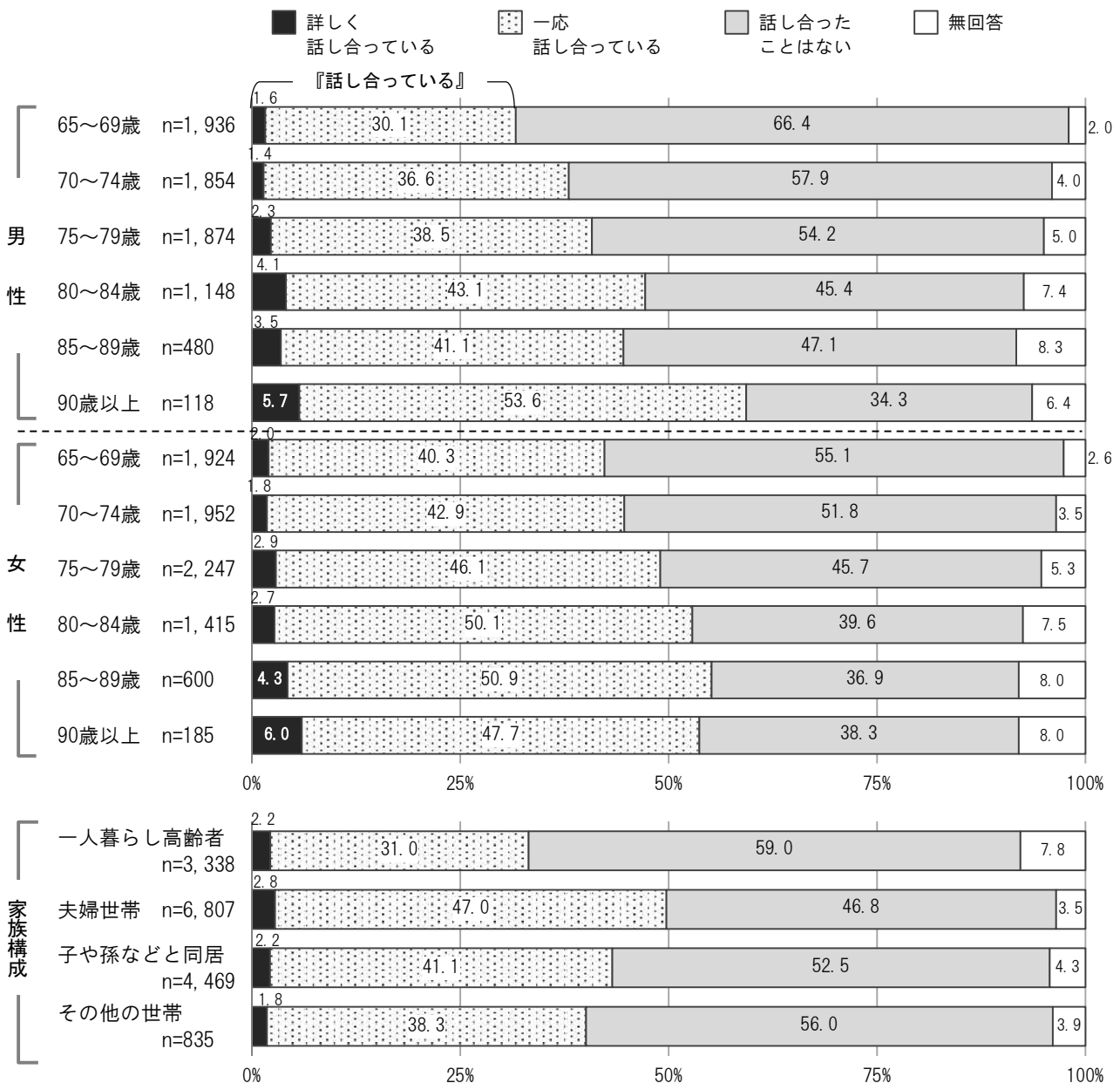
▶ 人生の最終段階における医療・介護について、『話し合っている』割合は前回調査より微減している

図表 2-11-7



※『話し合っている』 = 『詳しく話し合っている』 + 『一応話し合っている』

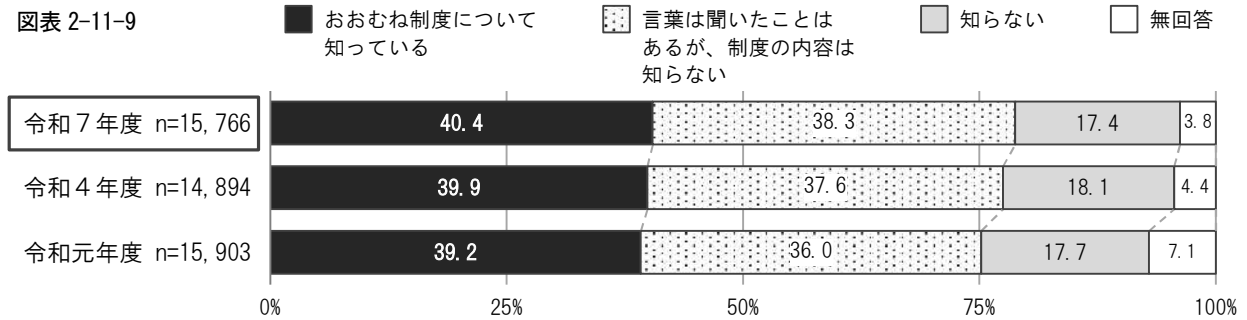
図表 2-11-8



問45 あなたは、成年後見制度を知っていますか。（1つを選択）

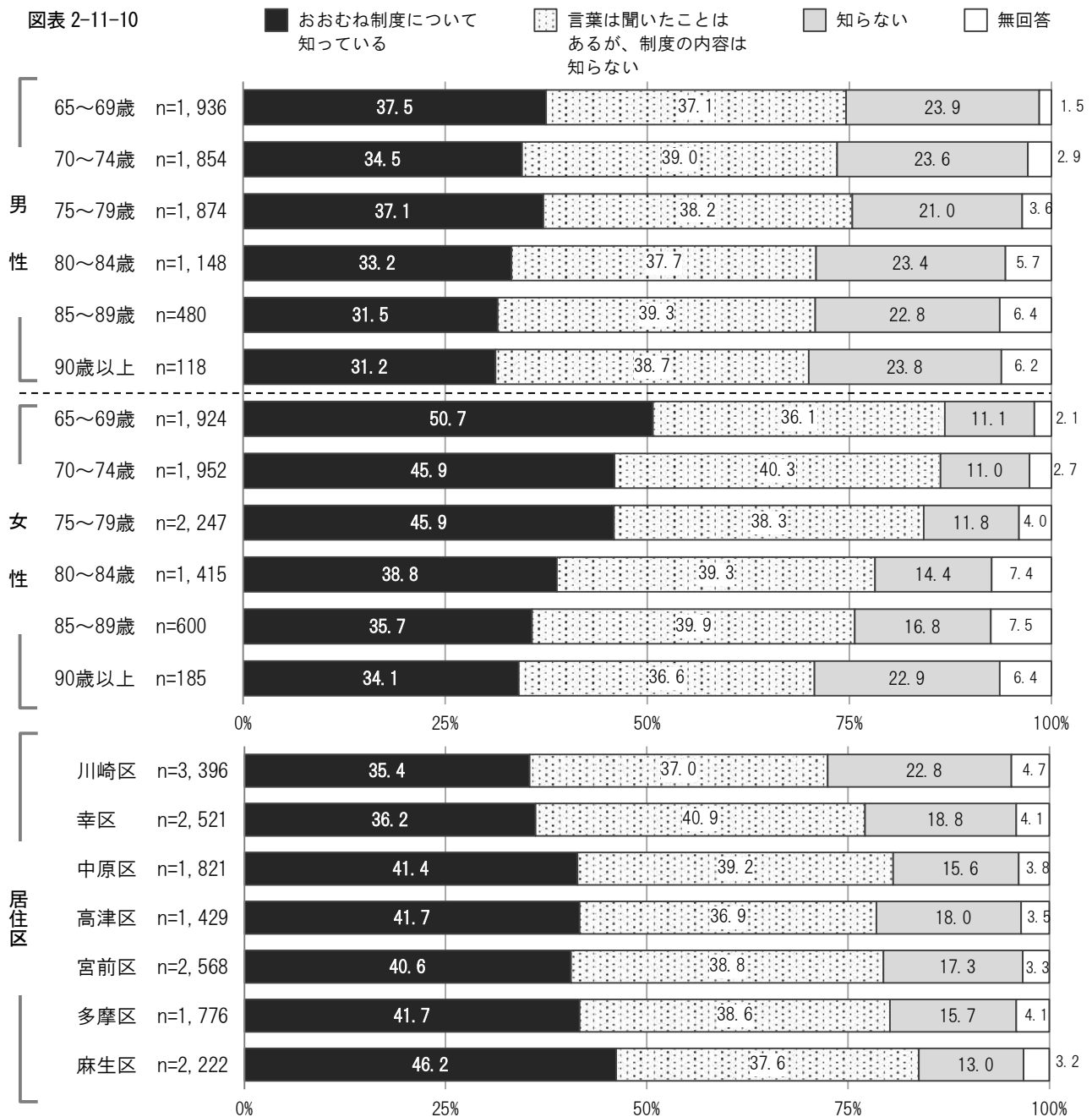
▶ 成年後見制度について、「おおむね制度について知っている」人の割合は前回調査より微増し、約4割となっている

図表 2-11-9



▶ 65～69歳の女性について、「おおむね知っている」割合が約5割となっており、居住区別では「麻生区」で知っている人の割合が高くなっている

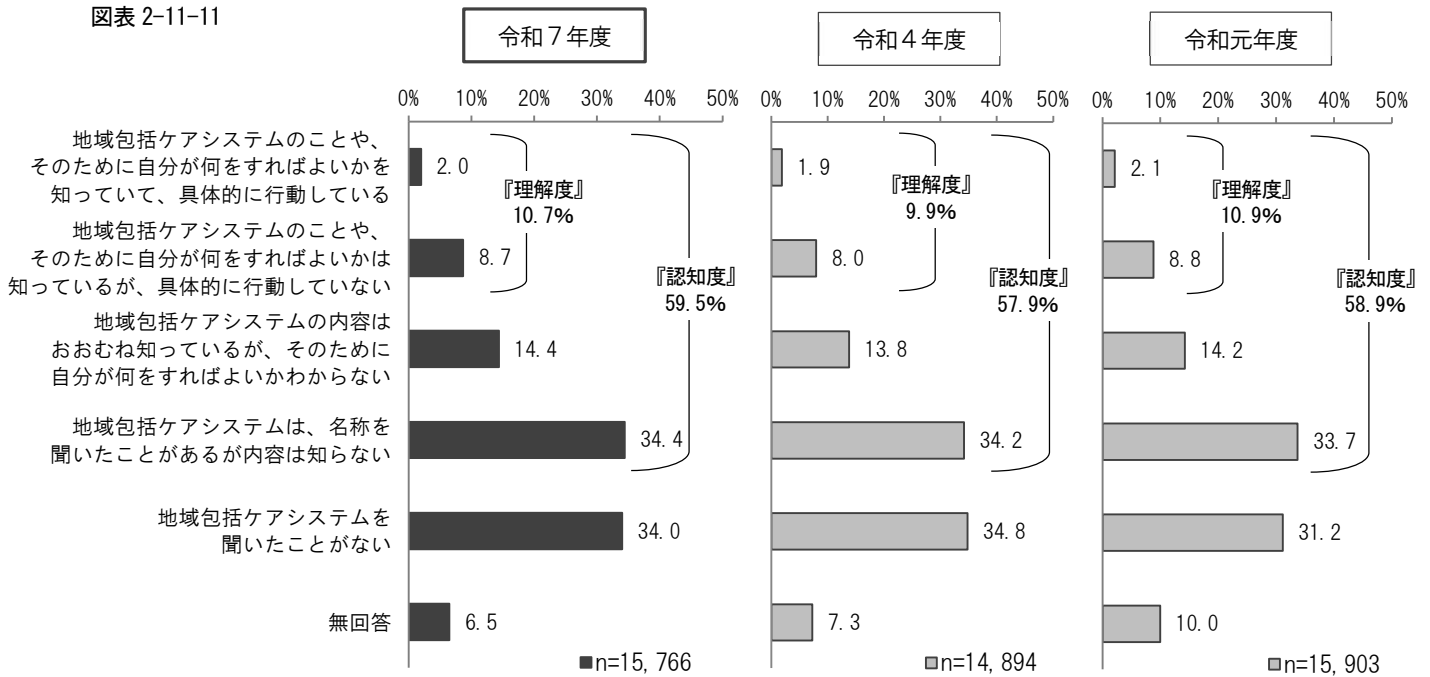
図表 2-11-10



問46 川崎市では、超高齢社会の到来を見据えて、「地域包括ケアシステム」の構築を進めています。あなたの「地域包括ケアシステム」の理解度や行動について、あてはまるものはどれですか。（1つを選択）

▶ 地域包括ケアシステムの『理解度』『認知度』の割合がいずれも前回調査より微増している

図表 2-11-11



※『理解度』＝「地域包括ケアシステムのことや、そのために自分が何をすればよいかを知っている、具体的に行動している」＋「地域包括ケアシステムのことや、そのために自分が何をすればよいかは知っているが、具体的に行動していない」
 ※『認知度』＝『理解度』＋「地域包括ケアシステムの内容はおおむね知っているが、そのために自分が何をすればよいかわからない」＋「地域包括ケアシステムは、名称を聞いたことがあるが内容は知らない」

▶ 65～84歳の女性について、地域包括ケアシステムの『認知度』の割合が高くなっている

図表 2-11-12

単位：％

項目	回答者数(人)	地域包括ケアシステムのことや、そのために自分が何をすればよいかを知っていて、具体的に行動している	地域包括ケアシステムのことや、そのために自分が何をすればよいかは知っているが、具体的に行動していない	地域包括ケアシステムの内容はおおむね知っているが、そのために自分が何をすればよいかわからない	地域包括ケアシステムは、名称を聞いたことがあるが内容は知らない	地域包括ケアシステムを聞いたことがない	『理解度』	『認知度』	
全体	15,766	2.0	8.7	14.4	34.4	34.0	10.7	59.5	
男性	65～69歳	1,936	0.7	4.9	9.4	31.9	51.2	5.6	46.9
	70～74歳	1,854	1.0	5.3	9.6	32.7	47.4	6.3	48.6
	75～79歳	1,874	2.0	6.3	9.8	37.0	38.2	8.3	55.1
	80～84歳	1,148	1.6	6.0	11.7	36.5	35.8	7.6	55.8
	85～89歳	480	2.0	6.7	10.7	36.4	30.8	8.7	55.8
	90歳以上	118	3.3	13.4	7.0	36.0	31.4	16.7	59.7
女性	65～69歳	1,924	2.5	12.4	19.2	34.0	29.2	14.9	68.1
	70～74歳	1,952	1.8	10.3	17.6	36.2	29.3	12.1	65.9
	75～79歳	2,247	2.5	11.6	19.1	35.4	23.5	14.1	68.6
	80～84歳	1,415	3.2	11.1	19.1	33.2	21.1	14.3	66.6
	85～89歳	600	4.3	8.3	16.4	30.7	25.0	12.6	59.7
	90歳以上	185	2.1	14.5	8.7	26.2	31.8	16.6	51.5
居住区	川崎区	3,396	1.9	9.1	13.5	32.7	34.4	11.0	57.2
	幸区	2,521	1.9	9.4	15.0	32.6	33.7	11.3	58.9
	中原区	1,821	1.8	7.3	13.4	35.0	35.8	9.1	57.5
	高津区	1,429	2.1	8.8	13.4	33.5	36.4	10.9	57.8
	宮前区	2,568	1.4	9.2	15.0	33.7	34.0	10.6	59.3
	多摩区	1,776	2.0	7.0	15.2	38.0	32.2	9.0	62.2
	麻生区	2,222	2.9	9.8	15.6	35.3	31.3	12.7	63.6

※「無回答」は掲載を省略

※『理解度』＝「地域包括ケアシステムのことや、そのために自分が何をすればよいかを知っていて、具体的に行動している」＋「地域包括ケアシステムのことや、そのために自分が何をすればよいかは知っているが、具体的に行動していない」

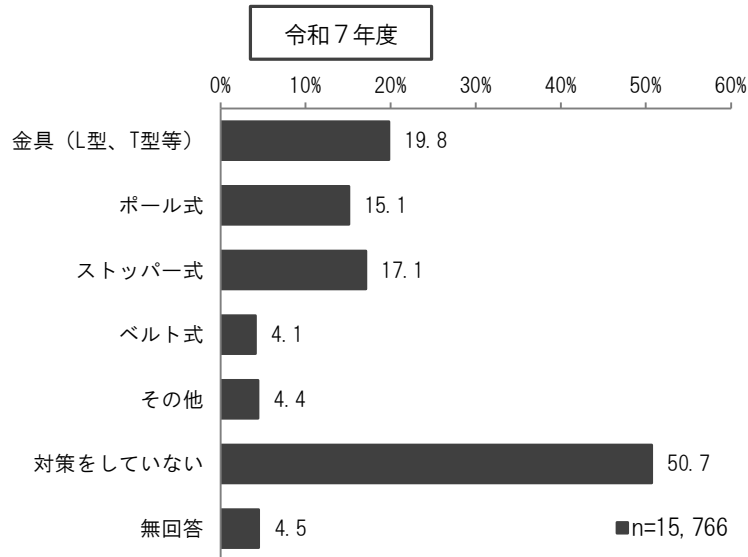
※『認知度』＝「理解度」＋「地域包括ケアシステムの内容はおおむね知っているが、そのために自分が何をすればよいかわからない」＋「地域包括ケアシステムは、名称を聞いたことがあるが内容は知らない」

【令和7年度新規設問】

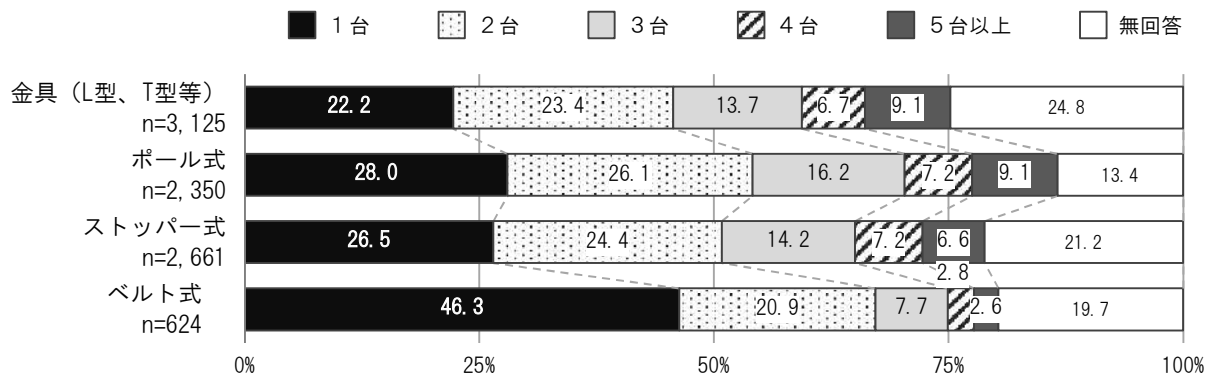
問47 あなたは地震に備えて次に挙げる家具転倒防止対策を行っていますか。（あてはまるものすべてを選択、数字を入力）

▶ 地震に備えた家具転倒防止対策について、「対策をしていない」人は約5割となっている

図表 2-11-13



図表 2-11-14

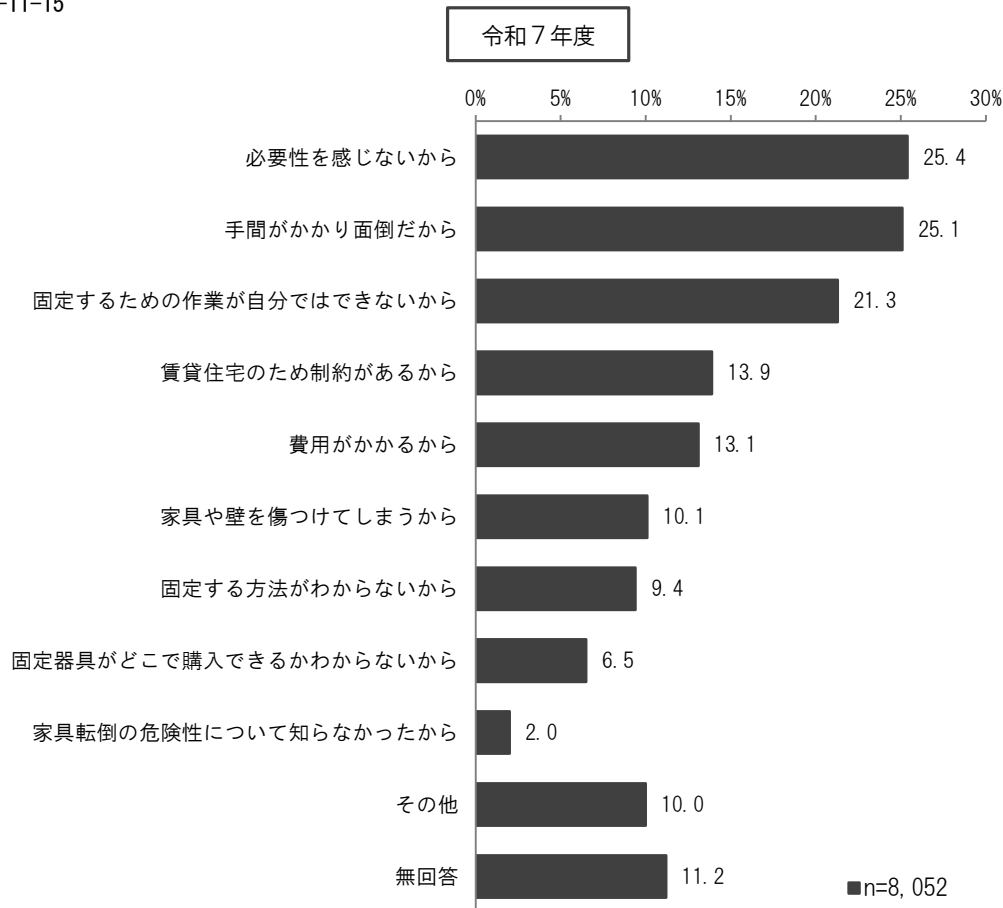


【令和7年度新規設問】

問47-1 前問で「対策をしていない」と答えた方におうかがいします。対策していない理由について次の中からお選びください。（あてはまるものすべてを選択）

▶ 対策をしていない理由について、「必要性を感じないから」「手間がかかり面倒だから」の割合が高く、次いで「固定するための作業が自分ではできないから」となっている

図表 2-11-15

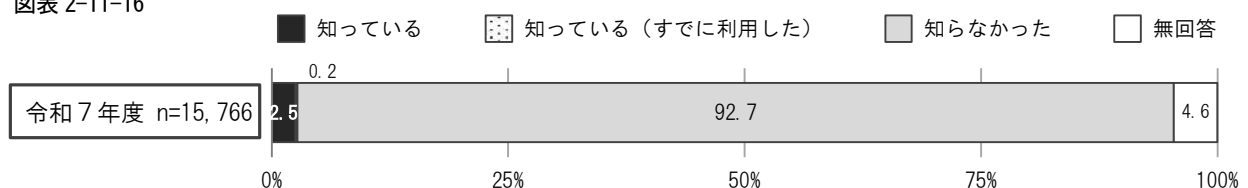


【令和7年度新規設問】

問48 川崎市内在住で、自ら家具転倒防止金具を取付けることが困難な世帯を対象に金具を無料で取り付ける制度を知っていますか。（1つを選択）

▶ 自ら家具転倒防止金具を取付けることが困難な世帯を対象に金具を無料で取り付ける制度について「知らなかった」人が9割を超えている

図表 2-11-16

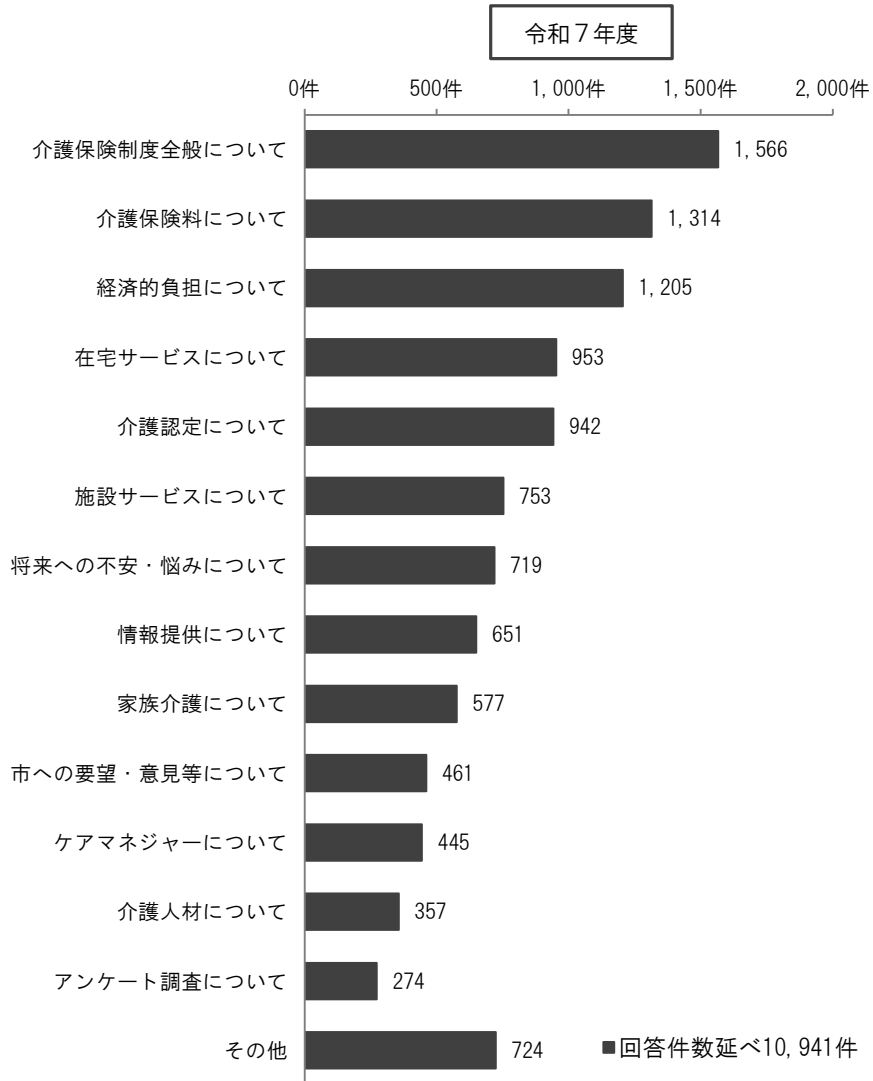


12 介護保険制度や市の高齢者保健福祉サービスについての自由意見の件数

介護保険制度や市の高齢者保健福祉サービスについて、ご意見があればお聞かせください。

▶ 「介護保険制度全般」「介護保険料」「経済的負担」についてのご意見が多くなっている

図表 2-12-1



※1人の意見の中に複数の意見がある場合は重複してカウントしている。

